



2022年度 前期
学生による授業改善アンケート集計結果

日本赤十字看護大学 さいたま看護学部

目次

1. 授業改善アンケート質問項目一覧	【講義】	3
2.	【演習】	4
3. 授業改善アンケート結果	【講義－全体】	5
4. 授業改善アンケート結果	【講義－科目別】	6
5. 教員からのコメント一覧	【講義】	49
6. 授業改善アンケート結果	【演習－全体】	54
7. 授業改善アンケート結果	【演習－科目別】	55
8. 教員からのコメント一覧	【演習】	75

アンケート質問項目一覧【講義】 匿名式

1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
4	授業の内容はわかりやすかった	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
5	授業の内容は興味のあるものだった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	この授業は自分にとって価値があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
7	対面：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom：授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa：教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
9	対面：授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom：授業の進行速度は適切だった。 Glexa：授業の構成及び内容量は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	対面：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom：教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa：教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私の授業への出席率は、(5：9割以上、4：8～7割程度、3：6～5割程度、2：4割程度、1：3割以下)だった。	5(9割以上)、4(8～7割程度)、3(6～5割程度)、2(4割程度)、1(3割以下)
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
16	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

アンケート質問項目一覧【演習】 匿名式

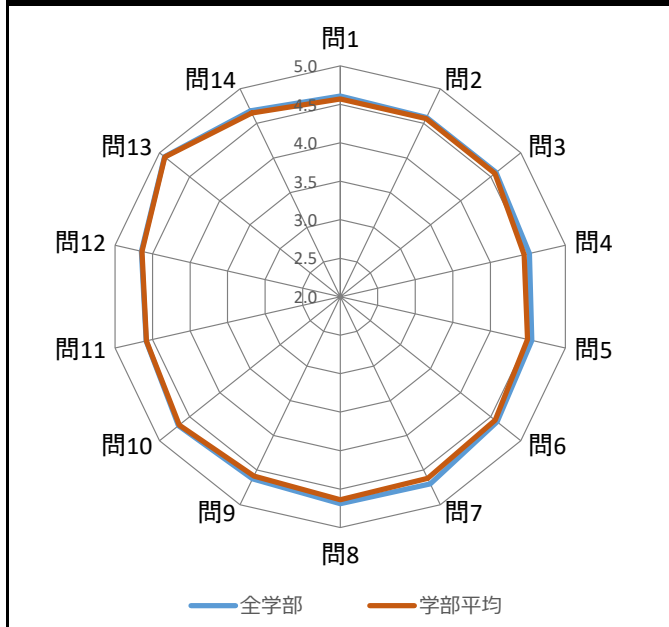
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
9	演習の時間配分は適切だった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
10	教員の熱意が伝わってきた。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行えるようになった。	5(強くそう思う)、4(そう思う)、3(どちらともいえない)、2(そうは思わない)、1(全くそう思わない)、0(該当なし)
16	この授業で良いと思った点があれば聞かせてください。	(自由記載)
17	この授業で改善したほうが良いと思った点について建設的な意見を聞かせてください。	(自由記載)

学部名	さいたま看護学部		履修者数	2560	回答率	
			紙	2350	92%	92%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	1529 (Blue), 679 (Green), 93 (Yellow)						4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	1527 (Blue), 681 (Green), 99 (Yellow)						4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	1520 (Blue), 677 (Green), 123 (Yellow)						4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	1375 (Blue), 732 (Green), 181 (Yellow)						4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	1426 (Blue), 725 (Green), 144 (Yellow)						4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	1544 (Blue), 649 (Green), 115 (Yellow)						4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	1622 (Blue), 599 (Green), 86 (Yellow)						4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1670 (Blue), 565 (Green), 73 (Yellow)						4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	1573 (Blue), 624 (Green), 110 (Yellow)						4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	1698 (Blue), 556 (Green), 79 (Yellow)						4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	1551 (Blue), 638 (Green), 129 (Yellow)						4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	1642 (Blue), 582 (Green), 96 (Yellow)						4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	2154 (Blue), 182 (Green)						4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	1647 (Blue), 597 (Green), 85 (Yellow)						4.65	4.68
問1~14全問平均								4.61	4.64

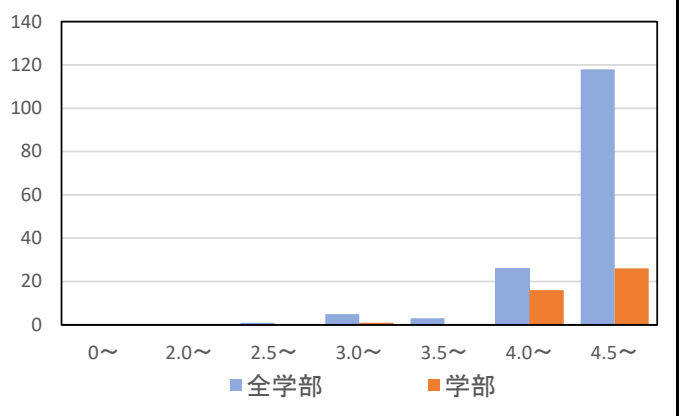
■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強くそう思う
(Green)	4	そう思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布

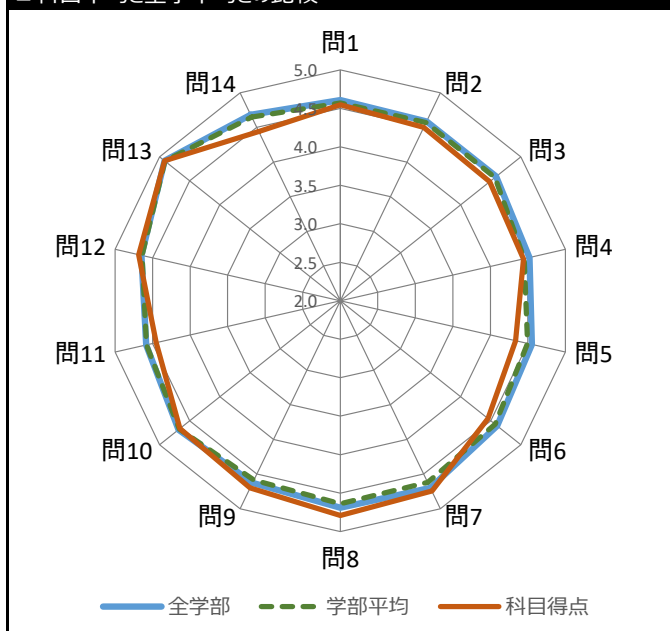


科目名	赤十字概論	[2A0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	角田 敦彦		回答数	紙	86	97.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
97.7%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 49 blue, 35 green]						4.55	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 48 blue, 33 green, 5 yellow]						4.50	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 45 blue, 36 green, 4 yellow]						4.48	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 47 blue, 30 green, 9 yellow]						4.44	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 41 blue, 35 green, 9 yellow]						4.34	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 47 blue, 31 green, 8 yellow]						4.45	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 64 blue, 22 green]						4.74	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 68 blue, 18 green]						4.79	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 62 blue, 22 green]						4.70	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 58 blue, 27 green]						4.66	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 46 blue, 33 green, 7 yellow]						4.45	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 60 blue, 25 green]						4.69	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 79 blue, 7 yellow]						4.92	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 48 blue, 29 green, 8 yellow]						4.44	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.58	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

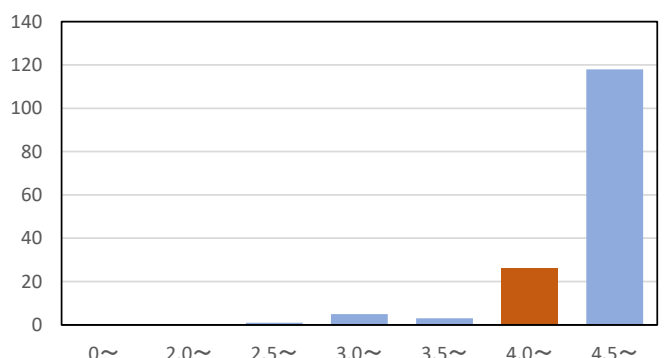


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

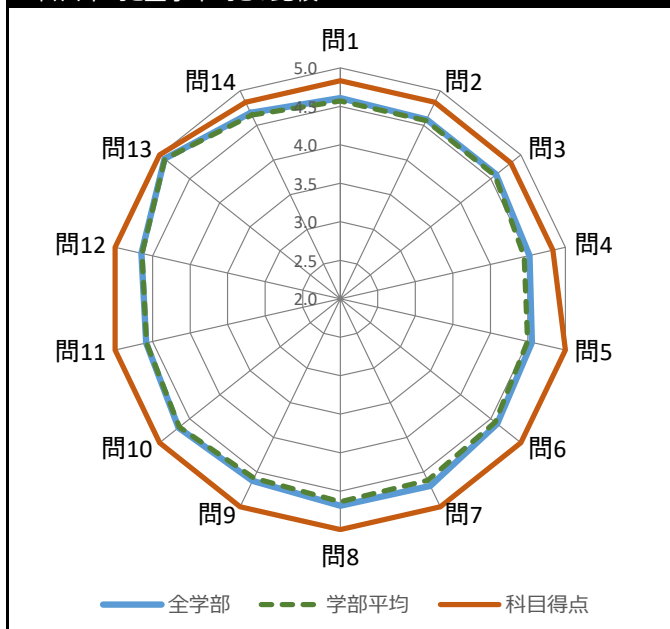


科目名	赤十字国際活動論	[2A0020]	履修者数	6	回答率	
教員名	角田 敦彦		回答数	紙	6	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 5 responses for '5' and 1 for '4']						4.83	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 5 responses for '5' and 1 for '4']						4.83	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 5 responses for '5' and 1 for '4']						4.83	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 5 responses for '5' and 1 for '4']						4.83	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 6 responses for '5']						5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 5 responses for '5' and 1 for '4']						4.83	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.94	4.61	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

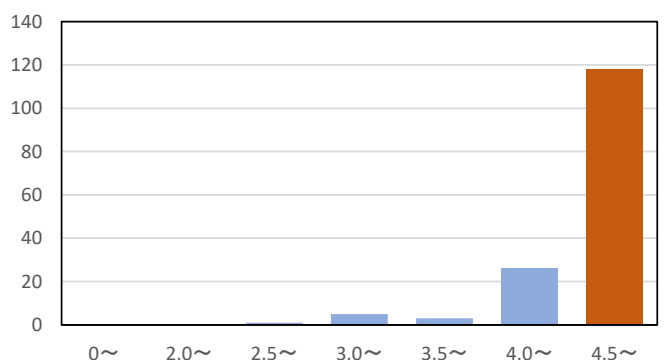


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

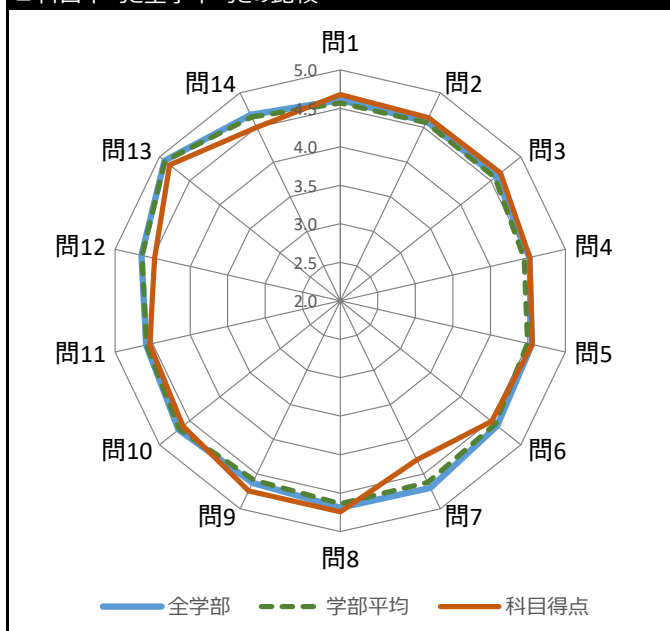


科目名	心理学概論	[2B0030]	履修者数	87	回答率	
教員名	遠藤 公久		回 紙	78	89.7%	89.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 55% blue, 21% green, 2% orange, 1% yellow]						4.68	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 56% blue, 17% green, 4% orange, 3% yellow]						4.64	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 55% blue, 20% green, 1% orange, 1% yellow]						4.66	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 48% blue, 25% green, 4% orange, 3% yellow]						4.53	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 50% blue, 22% green, 3% orange, 3% yellow]						4.56	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 48% blue, 24% green, 4% orange, 3% yellow]						4.51	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 47% blue, 18% green, 6% orange, 3% yellow, 4% red]						4.29	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 62% blue, 12% green, 4% orange, 3% yellow]						4.74	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 60% blue, 16% green, 3% orange, 3% yellow]						4.74	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 55% blue, 17% green, 5% orange, 3% yellow]						4.62	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 50% blue, 20% green, 8% orange, 3% yellow]						4.54	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 47% blue, 22% green, 8% orange, 3% yellow]						4.47	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 67% blue, 10% green, 3% orange, 3% yellow]						4.83	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 49% blue, 21% green, 7% orange, 3% yellow]						4.50	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.59	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

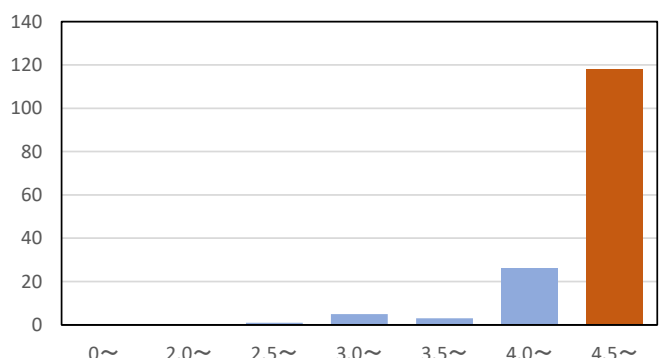


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

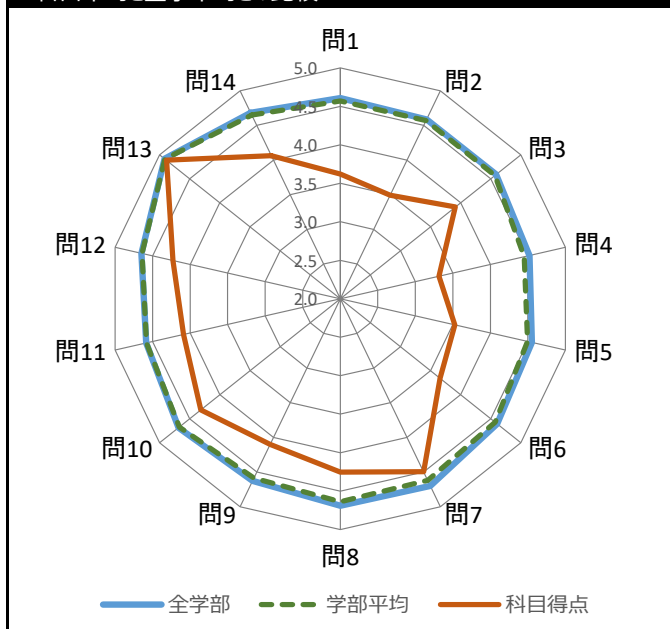


科目名	社会保障論	[2C0030]	履修者数	86	回答率	
教員名	森山 幹夫		回 紙	79	91.9%	91.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	30	13	19	10	7		3.62	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	28	14	15	13	9		3.49	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	28	26	18	4	3		3.91	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	26	6	26	9	12		3.32	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	27	14	20	7	10		3.53	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	28	17	20	7	7		3.66	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	49	23	5				4.49	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	43	19	13				4.25	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	35	26	11	5			4.10	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	46	19	9	3			4.32	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	37	21	14	5			4.09	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	41	23	8	6			4.23	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	72	5					4.89	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	32	27	14	5			4.06	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.00	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

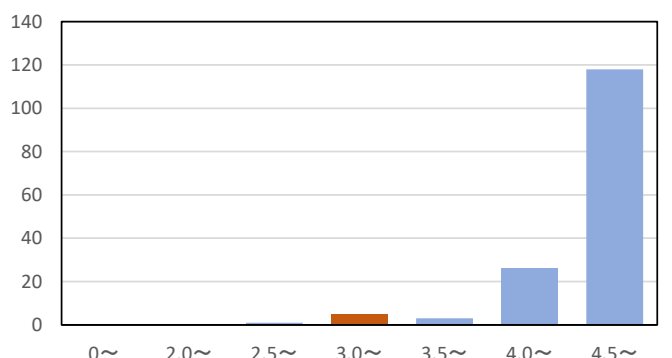


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

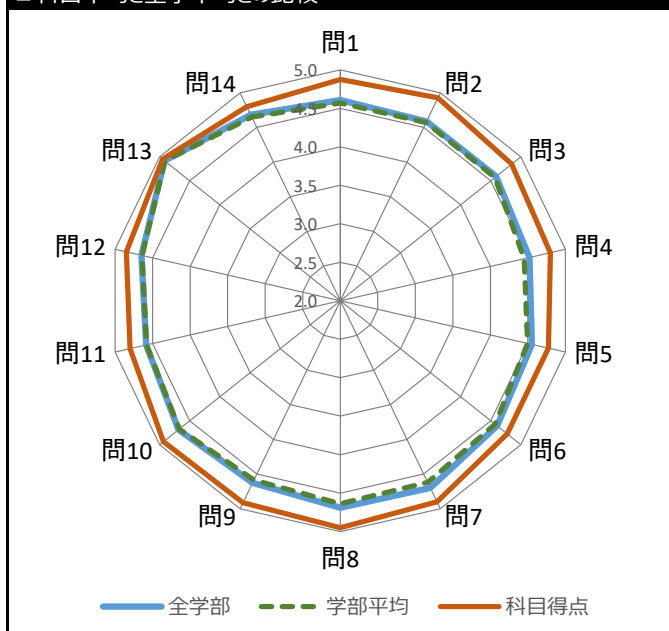


科目名	生物学	[2D0020]	履修者数	87	回答率	
教員名	有賀 早苗		回 紙	80	92.0%	92.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 71 correct, 8 incorrect]						4.88	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 74 correct, 6 incorrect]						4.93	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 69 correct, 10 incorrect]						4.85	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 67 correct, 10 incorrect, 3 no answer]						4.80	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 64 correct, 14 incorrect]						4.78	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 64 correct, 14 incorrect]						4.78	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 73 correct, 6 incorrect]						4.90	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 77 correct, 1 incorrect]						4.95	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 74 correct, 5 incorrect]						4.91	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 75 correct, 5 incorrect]						4.94	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 67 correct, 10 incorrect, 3 no answer]						4.80	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 69 correct, 10 incorrect]						4.85	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 76 correct, 4 incorrect]						4.95	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 67 correct, 10 incorrect, 3 no answer]						4.80	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.86	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

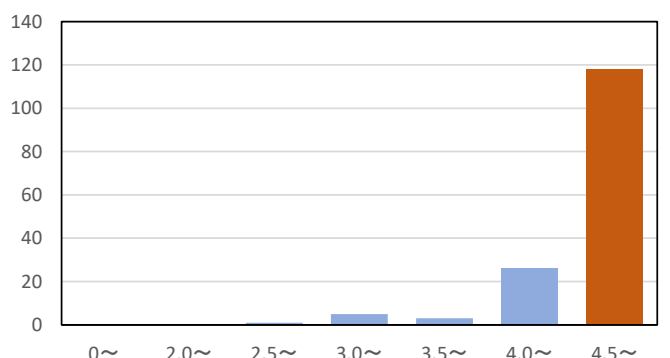


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

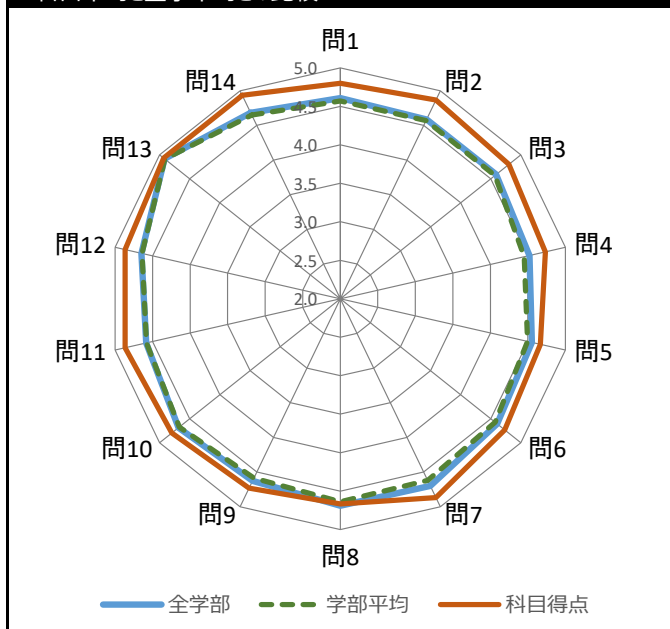


科目名	化学	[2D0030]	履修者数	16	回答率	
教員名	三好 洋		回 紙	15	93.8%	93.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 12 blue, 3 green]						4.80	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 12 blue, 3 green]						4.80	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 11 blue, 4 green]						4.73	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 11 blue, 3 green, 1 yellow]						4.67	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 11 blue, 4 green]						4.73	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 11 blue, 3 green, 1 yellow]						4.67	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 12 blue, 2 green, 1 yellow]						4.73	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 13 blue, 1 green, 1 yellow]						4.80	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 13 blue, 2 green]						4.87	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 14 blue, 1 green]						4.93	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.80	4.61	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

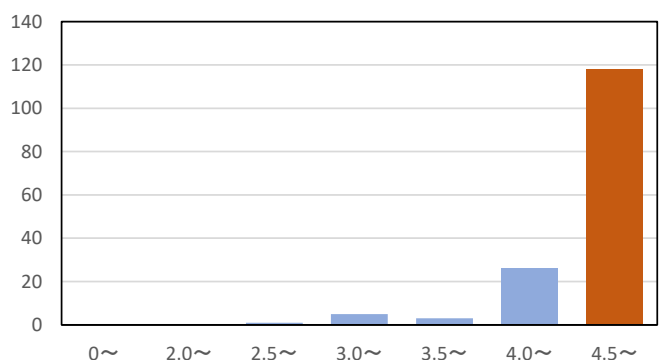


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

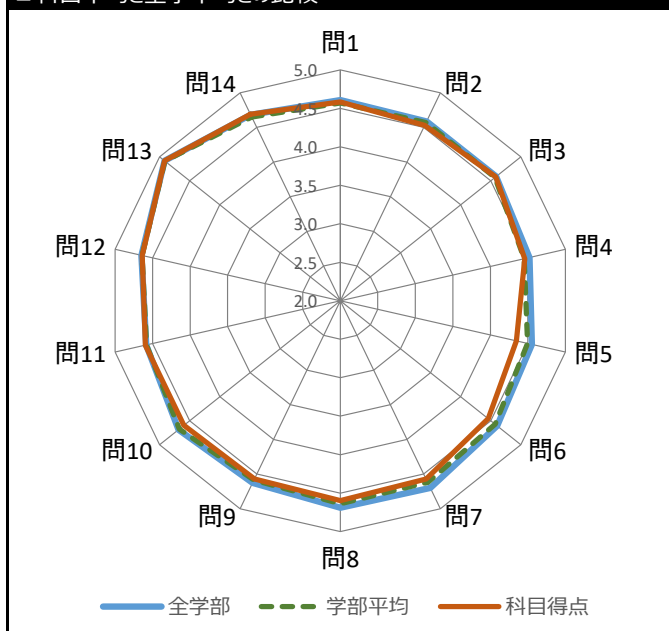


科目名	保健統計学	[2E0030]	履修者数	88	回答率	
教員名	川崎 洋平		回 紙	72	81.8%	81.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 46% Blue, 23% Green, 3% Yellow]						4.58	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 44% Blue, 24% Green, 3% Yellow]						4.53	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 44% Blue, 26% Green, 3% Yellow]						4.58	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 37% Blue, 31% Green, 4% Yellow]						4.46	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 35% Blue, 28% Green, 8% Yellow]						4.35	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 37% Blue, 31% Green, 4% Yellow]						4.46	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 44% Blue, 25% Green, 3% Yellow]						4.57	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 45% Blue, 25% Green, 3% Yellow]						4.60	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 42% Blue, 29% Green, 3% Yellow]						4.57	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 45% Blue, 25% Green, 3% Yellow]						4.60	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 45% Blue, 25% Green, 3% Yellow]						4.60	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 47% Blue, 24% Green, 3% Yellow]						4.64	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 66% Blue, 6% Green, 2% Yellow]						4.92	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 49% Blue, 22% Green, 3% Yellow]						4.69	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.58	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

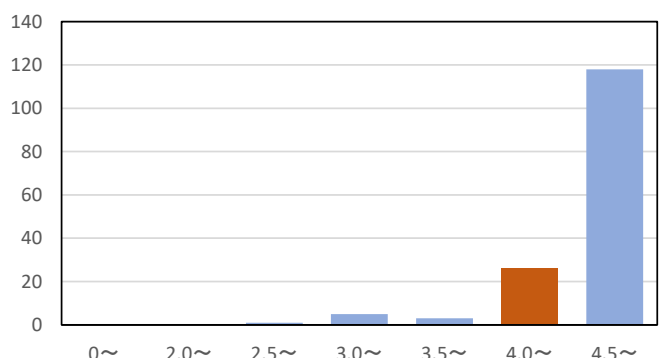


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

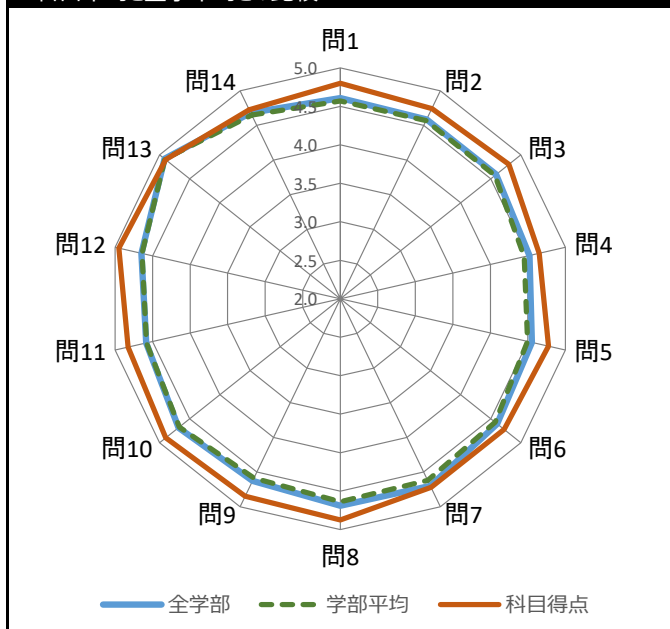


科目名	英語RW I	[2F0021]	履修者数	41	回答率	
教員名	川崎 修一		回答数	紙	40	97.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
97.6%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.80	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.74	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.80	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.65	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.78	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.73	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.72	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.88	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.85	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.90	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.83	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.95	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.90	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.73	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.80	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

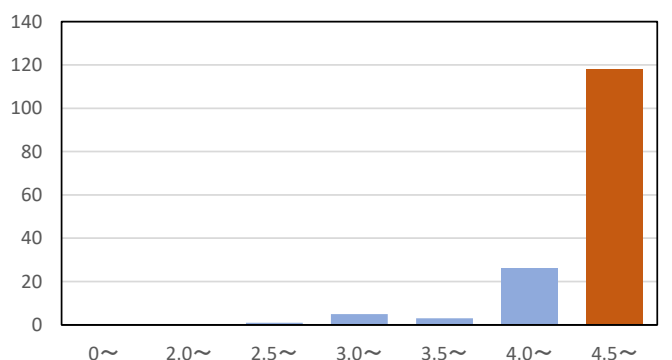


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

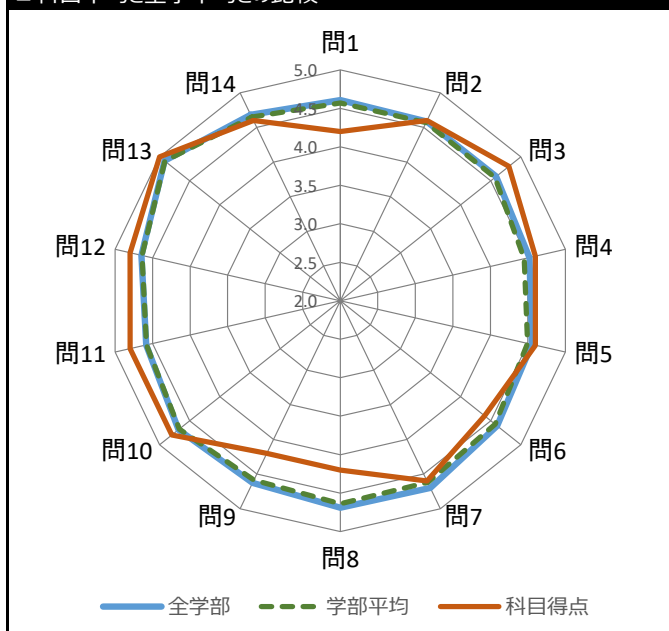


科目名	英語RWⅢ	[2F0040]	履修者数	5	回答率	
教員名	川崎 修一		回答数	紙	5	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
					100.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	2		2		1		4.20	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3			2			4.60	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	4				1		4.80	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	3		2				4.60	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3		2				4.60	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	2	3					4.40	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3			2			4.60	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	1	4					4.20	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	1	4					4.20	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	4			1			4.80	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	4			1			4.80	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4			1			4.80	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	5						5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3		2				4.60	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.59	4.61	4.64

■科目平均と全学平均との比較

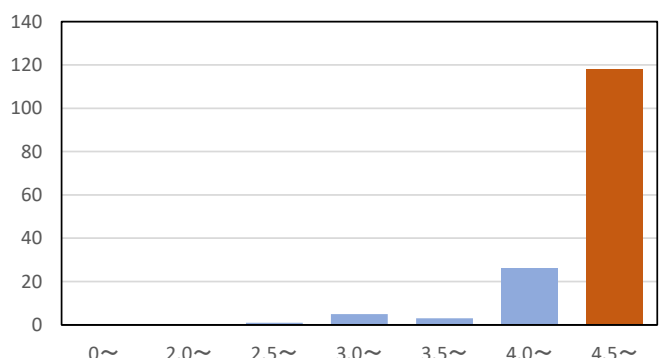


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
(Blue)	5	強く思う
(Green)	4	思う
(Yellow)	3	どちらともいえない
(Orange)	2	そうは思わない
(Red)	1	全くそうは思わない
(Grey)	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

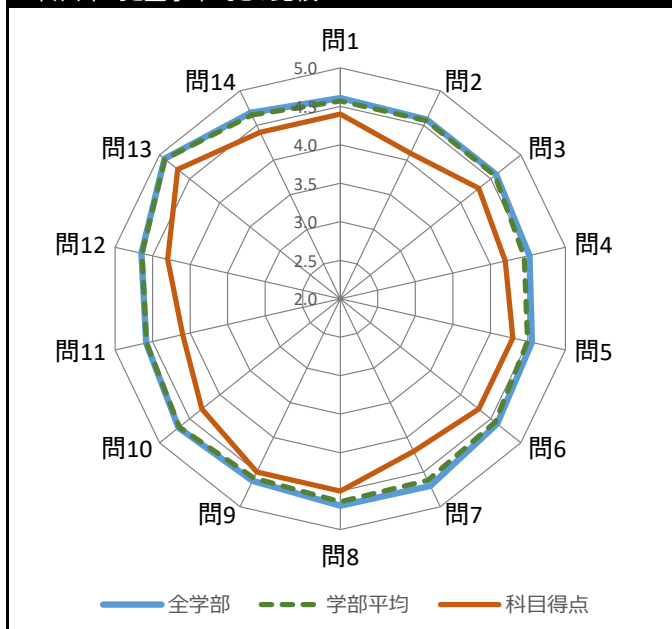


科目名	基礎ゼミ I	[2G0011]	履修者数	11	回答率	
教員名	遠藤 公久		紙	10	90.9%	90.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	4	6					4.40	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	2	7	1				4.10	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3	7					4.30	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	2	8					4.20	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3	7					4.30	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	3	7					4.30	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	4	5	1				4.20	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	5	5					4.50	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	5	5					4.50	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	3	7					4.30	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3	5	2				4.10	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	4	5	1				4.30	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	7	3					4.70	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	4	6					4.40	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.33	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

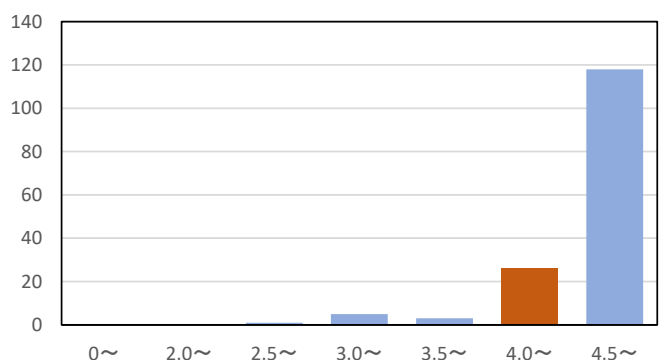


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

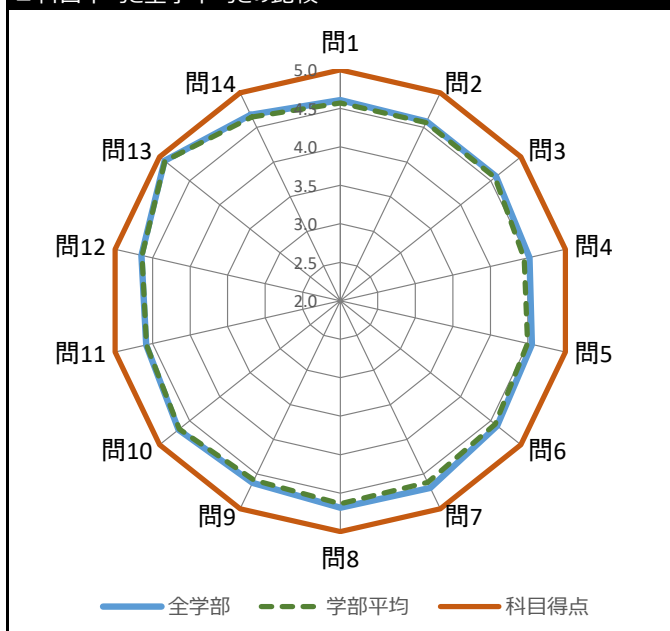


科目名	基礎ゼミ I	[2G0012]	履修者数	11	回答率	
教員名	鷹田 佳典		回答数	紙	11	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	11						5.00	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	11						5.00	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11						5.00	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	11						5.00	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	11						5.00	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	11						5.00	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11						5.00	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11						5.00	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	11						5.00	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	10					1	5.00	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	10					1	5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	10					1	5.00	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	10					1	5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	10					1	5.00	4.65	4.68
問1~14全問平均								5.00	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

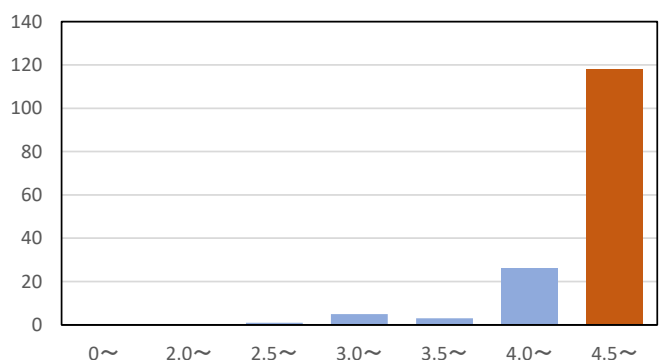


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

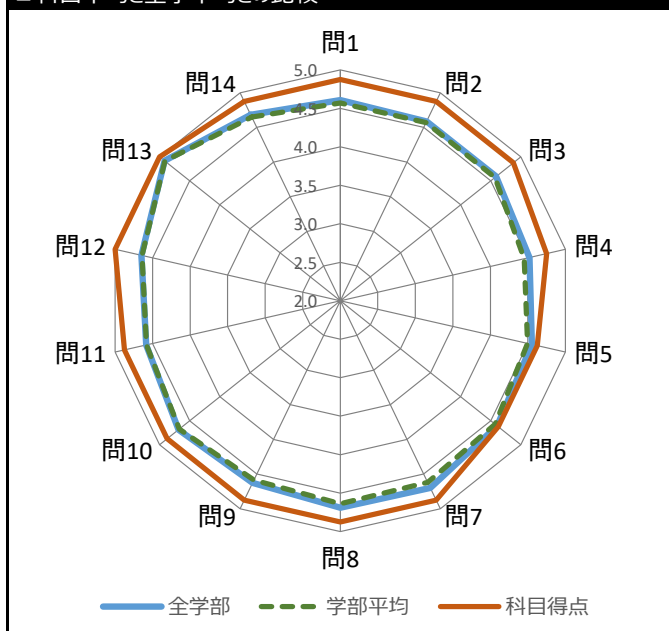


科目名	基礎ゼミ I	[2G0013]	履修者数	11	回答率		
教員名	白井 美穂		回答数	紙	8	72.7%	
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0	0.0%
							72.7%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]							4.88	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]							4.88	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]							4.88	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green]							4.75	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green, 1 yellow]							4.63	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green, 1 yellow]							4.63	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]							4.88	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]							4.88	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]							4.88	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]							4.88	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]							4.88	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 8 blue]							5.00	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 8 blue]							5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue, 1 green]							4.88	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.85	4.61	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

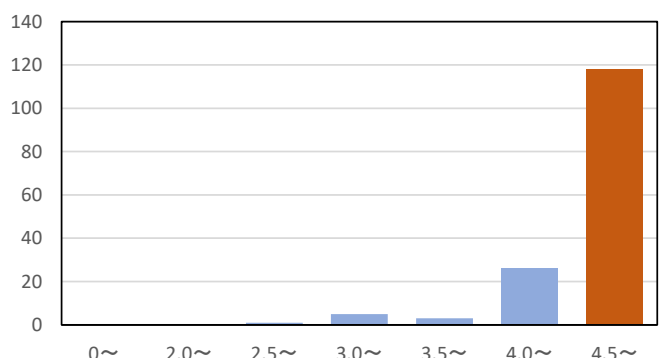


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

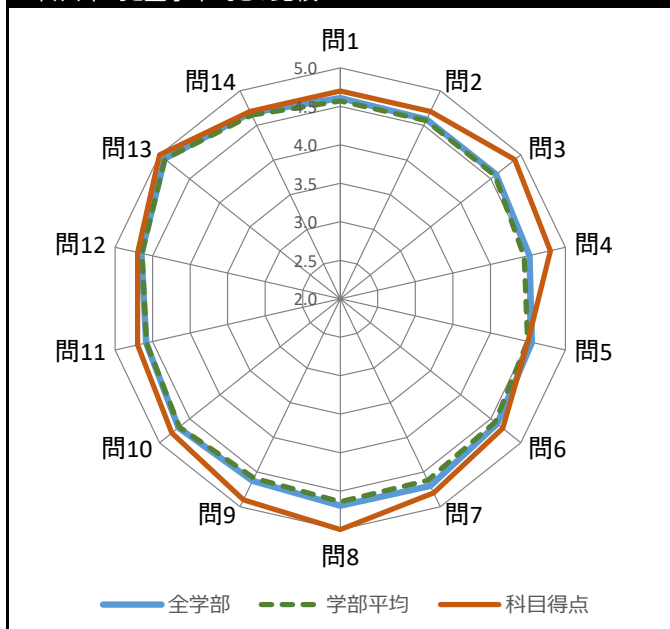


科目名	基礎ゼミ I	[2G0014]	履修者数	11	回答率	
教員名	角田 敦彦		回答数	紙	10	90.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
90.9%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 6 blue, 3 green, 1 yellow]						4.50	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 10 blue]						5.00	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 9 blue, 1 green]						4.90	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 8 blue, 2 green]						4.80	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 10 blue]						5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue, 3 green]						4.70	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.78	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

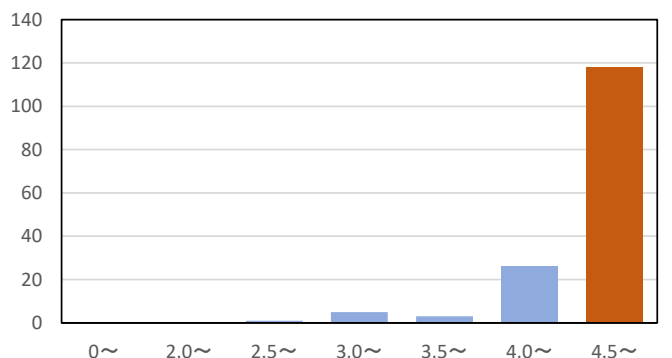


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

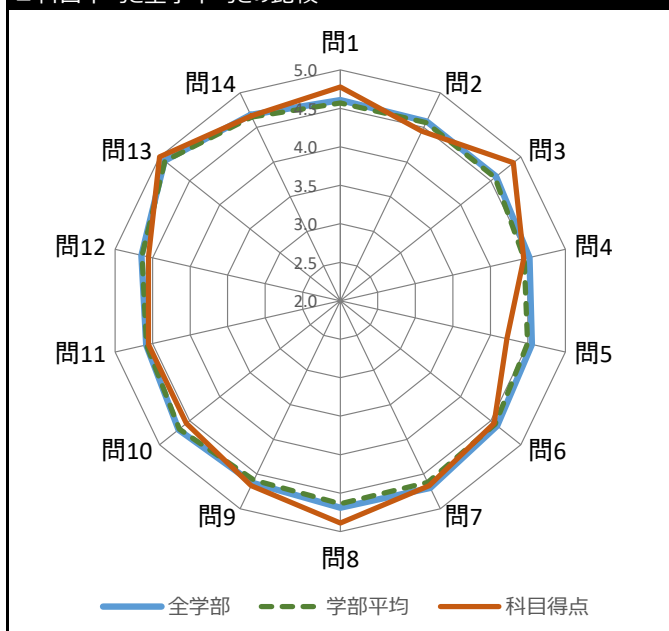


科目名	基礎ゼミ I	[2G0015]	履修者数	11	回答率	
教員名	渋谷 真樹		回答数	紙	9	81.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
81.8%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 8 blue, 1 yellow]						4.78	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green, 2 yellow]						4.44	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green, 1 yellow]						4.88	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 6 blue, 1 green, 2 yellow]						4.44	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 4 blue, 3 green, 2 yellow]						4.22	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green, 1 yellow]						4.56	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 7 blue, 1 green, 1 yellow]						4.67	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 8 blue, 1 green]						4.89	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 7 blue, 1 green, 1 yellow]						4.67	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 6 blue, 2 green, 1 yellow]						4.56	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 6 blue, 2 green, 1 yellow]						4.56	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 7 blue, 2 yellow]						4.56	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 9 blue]						5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue, 1 green, 1 yellow]						4.67	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.63	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

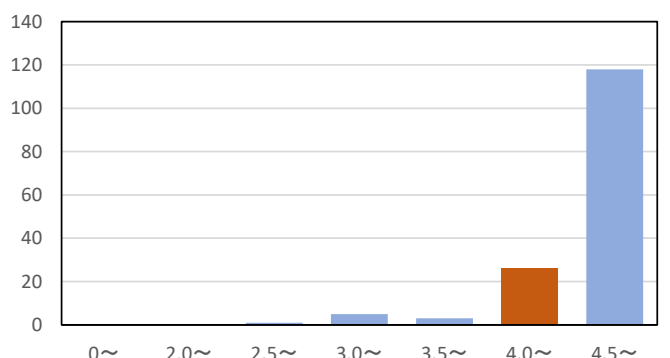


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

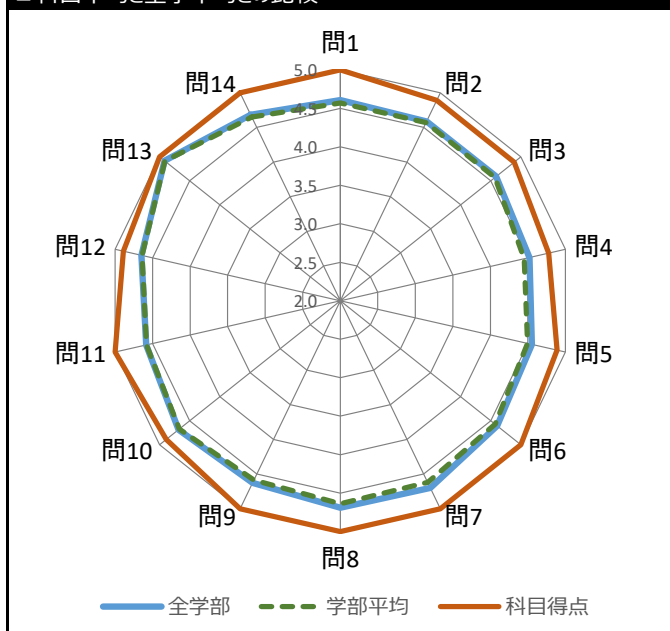


科目名	基礎ゼミ I	[2G0016]	履修者数	11	回答率	
教員名	井上 明宏		回答数	紙	9	81.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
81.8%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	9							5.00	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	8					1		4.89	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	8					1		4.89	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	7				2			4.78	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	8					1		4.89	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	9							5.00	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	9							5.00	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	9							5.00	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	9							5.00	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	8					1		4.89	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	9							5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	8					1		4.89	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	9							5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	9							5.00	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.94	4.61	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

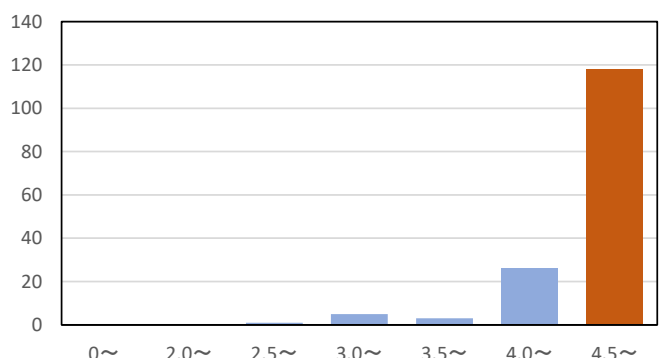


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

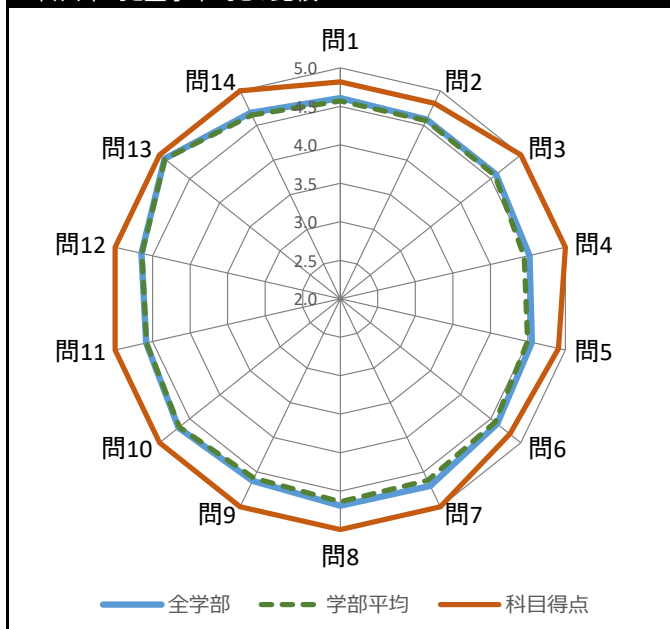


科目名	基礎ゼミ I	[2G0017]	履修者数	11	回答率	
教員名	有賀 早苗		回答数	紙	11	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	10						1	4.82	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	9						2	4.82	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	11							5.00	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	11							5.00	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	10						1	4.91	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	10						1	4.82	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	11							5.00	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	11							5.00	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	11							5.00	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	11							5.00	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	11							5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	11							5.00	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	11							5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11							5.00	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.95	4.61	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

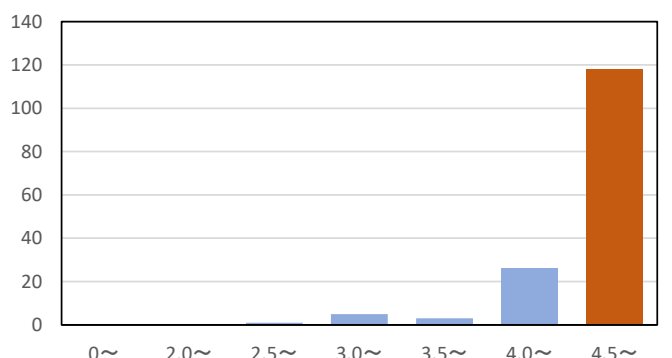


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

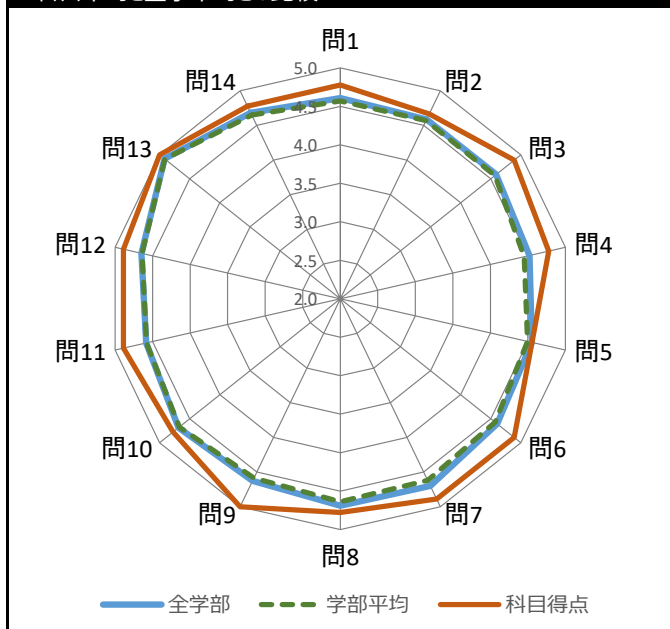


科目名	基礎ゼミ I	[2G0018]	履修者数	11	回答率	
教員名	越後 敬子		回答数	紙	9	81.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
81.8%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 6 blue, 3 green]						4.67	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 8 blue, 1 green]						4.89	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 6 blue, 2 green, 1 yellow]						4.56	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 8 blue, 1 green]						4.89	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 8 blue, 1 green]						4.89	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 9 blue]						5.00	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 8 blue, 1 green]						4.89	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 8 blue, 1 green]						4.89	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 9 blue]						5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 7 blue, 2 green]						4.78	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.83	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

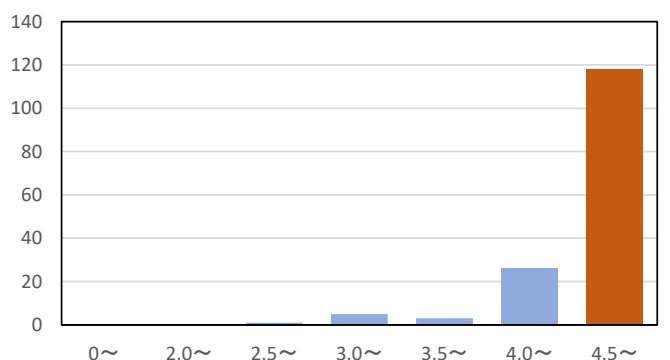


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

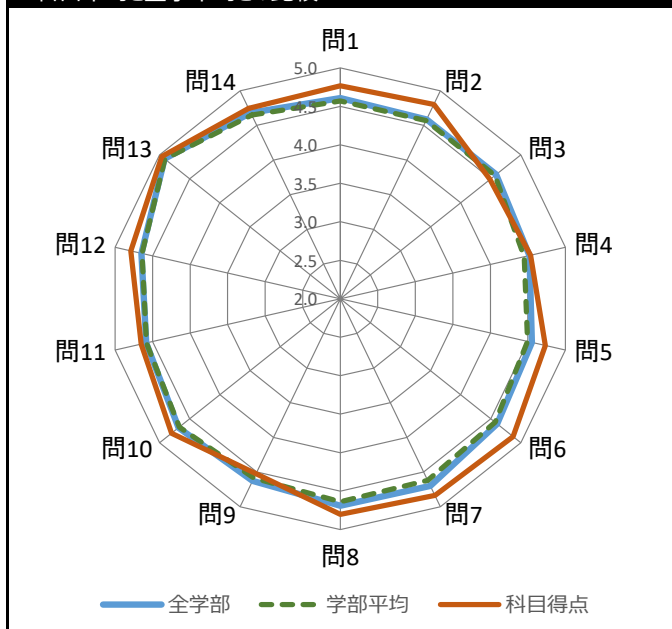


科目名	人体の構造と機能 I	[2H0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	白井 美穂		紙	86	97.7%	97.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	68						17	4.77	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	69						17	4.80	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	52				25		8	4.49	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	50				32		4	4.53	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	64						21	4.73	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	75						11	4.87	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	72						14	4.84	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	69						17	4.80	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	52				28		5	4.52	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	71						13	4.80	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	59				24		3	4.65	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	69						16	4.79	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	83						3	4.97	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	65						20	4.74	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.74	4.61	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

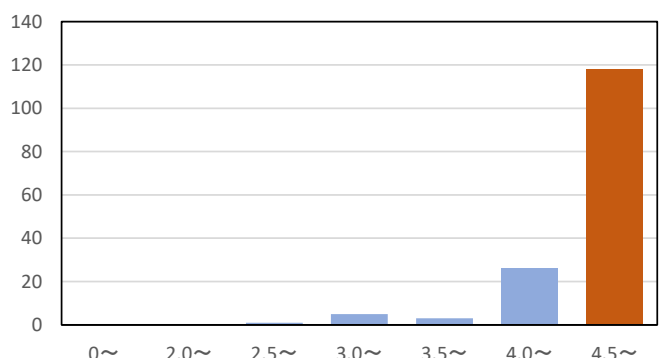


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Light Orange	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

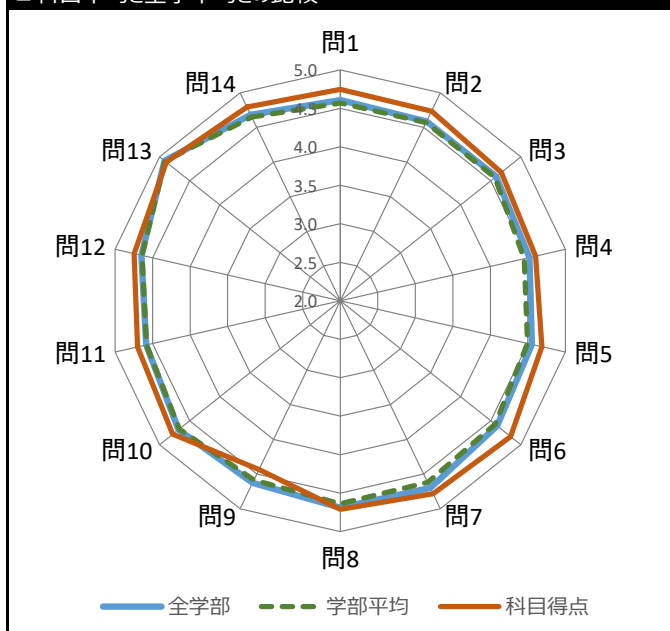


科目名	人体の構造と機能Ⅱ	[2H0020]	履修者数	88	回答率	
教員名	白井 美穂		回 紙	83	94.3%	94.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 64% blue, 18% green]						4.75	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 64% blue, 16% green, 3% yellow]						4.73	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 62% blue, 17% green]						4.67	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 54% blue, 27% green]						4.60	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 60% blue, 20% green, 3% yellow]						4.69	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 70% blue, 12% green]						4.83	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 67% blue, 14% green]						4.78	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 65% blue, 12% green, 6% yellow]						4.71	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 49% blue, 23% green, 9% yellow]						4.43	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 67% blue, 14% green]						4.78	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 62% blue, 18% green]						4.70	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 65% blue, 16% green]						4.75	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 75% blue, 7% green]						4.89	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 67% blue, 15% green]						4.80	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.72	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

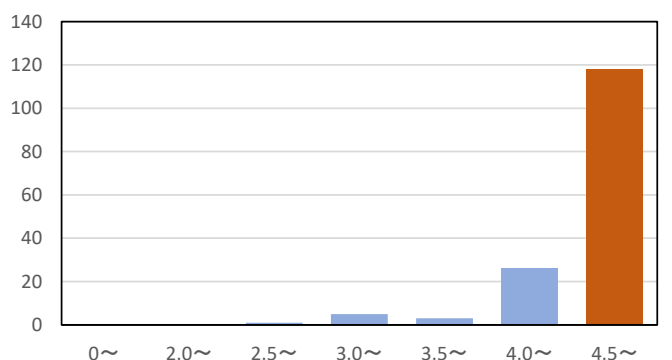


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

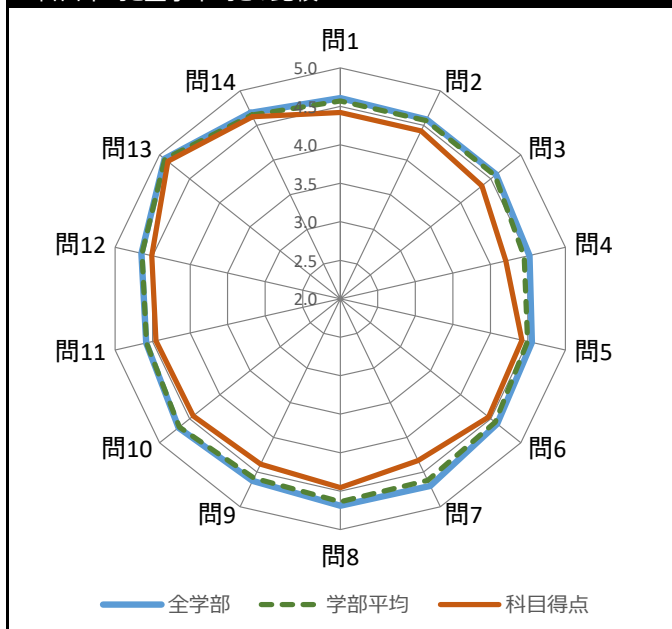


科目名	疾病の成り立ちと回復の促進 II	[2H0050]	履修者数	88	回答率	
教員名	岡田 彩子		回 紙	88	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 45% Blue, 35% Green, 8% Yellow]						4.42	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 44% Blue, 37% Green, 7% Yellow]						4.42	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 43% Blue, 33% Green, 12% Yellow]						4.35	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 35% Blue, 37% Green, 15% Yellow]						4.20	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 45% Blue, 35% Green, 8% Yellow]						4.42	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 47% Blue, 35% Green, 6% Yellow]						4.47	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 42% Blue, 34% Green, 9% Yellow]						4.33	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 50% Blue, 31% Green, 5% Yellow]						4.45	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 44% Blue, 36% Green, 6% Yellow]						4.39	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 46% Blue, 35% Green, 7% Yellow]						4.44	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 48% Blue, 32% Green, 8% Yellow]						4.45	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 49% Blue, 35% Green, 4% Yellow]						4.51	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 77% Blue, 10% Green]						4.86	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 58% Blue, 27% Green, 3% Yellow]						4.63	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.45	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

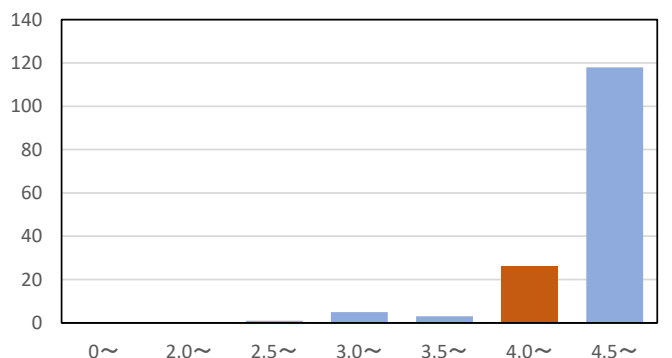


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

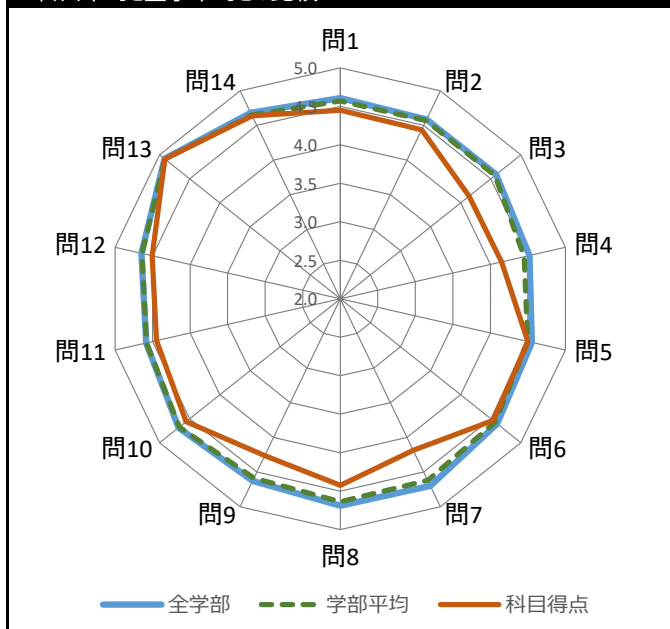


科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	[2H0060]	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原 秀盛		回 紙	80	90.9%	90.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 41% 'Strongly agree', 34% 'Agree', 5% 'Disagree', 20% 'No answer/Unknown']						4.45	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree', 35% 'Agree', 5% 'Disagree', 20% 'No answer/Unknown']						4.44	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 28% 'Strongly agree', 37% 'Agree', 14% 'Disagree', 21% 'No answer/Unknown']						4.14	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 29% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 13% 'Disagree', 22% 'No answer/Unknown']						4.15	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 42% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 2% 'Disagree', 20% 'No answer/Unknown']						4.50	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 3% 'Disagree', 20% 'No answer/Unknown']						4.54	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 33% 'Strongly agree', 35% 'Agree', 7% 'Disagree', 4% 'No answer/Unknown', 21% 'No answer/Unknown']						4.19	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree', 25% 'Agree', 7% 'Disagree', 22% 'No answer/Unknown']						4.43	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 36% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 9% 'Disagree', 3% 'No answer/Unknown', 20% 'No answer/Unknown']						4.26	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 47% 'Strongly agree', 31% 'Agree', 2% 'Disagree', 20% 'No answer/Unknown']						4.56	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree', 36% 'Agree', 4% 'Disagree', 20% 'No answer/Unknown']						4.45	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 43% 'Strongly agree', 33% 'Agree', 3% 'Disagree', 21% 'No answer/Unknown']						4.51	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 73% 'Strongly agree', 7% 'Disagree', 20% 'No answer/Unknown']						4.91	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 53% 'Strongly agree', 25% 'Agree', 2% 'Disagree', 20% 'No answer/Unknown']						4.64	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.44	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

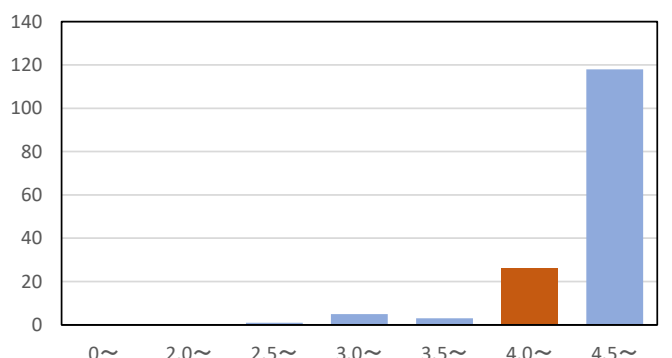


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

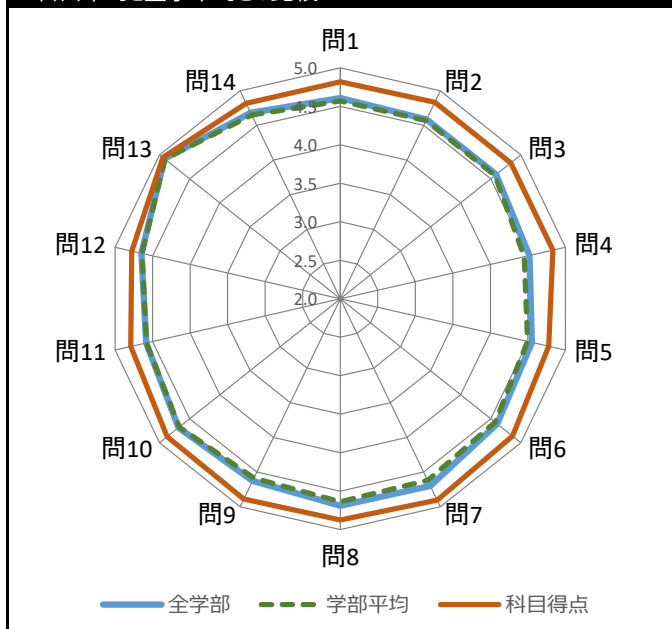


科目名	疾病の成り立ちと回復の促進VI	[2H0090]	履修者数	86	回答率	
教員名	林 公輔		回答数	紙	72	83.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
83.7%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.82	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.83	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.83	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.83	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.78	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.86	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.90	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.88	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.89	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.88	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.79	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.78	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.94	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.82	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.85	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

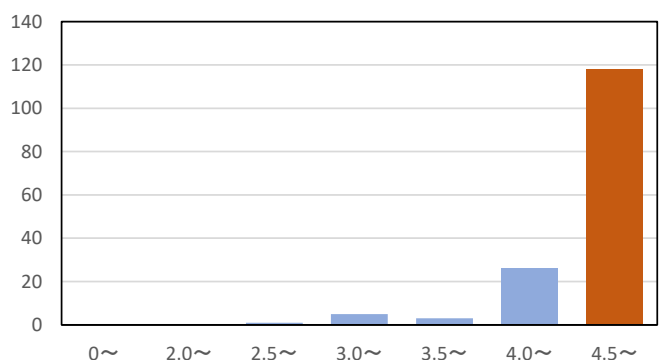


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

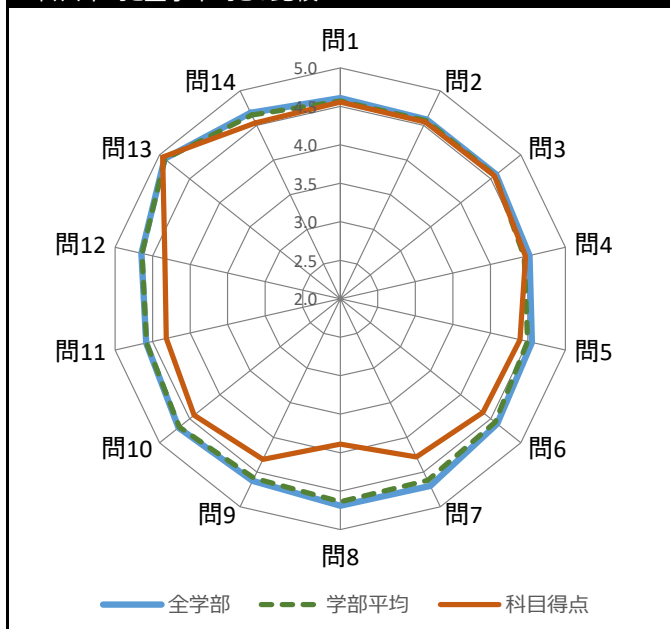


科目名	リハビリテーション医学	[2H0120]	履修者数	87	回答率	
教員名	荒尾 敏弘		紙	82	94.3%	94.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 52 (Blue), 23 (Green), 5 (Yellow)]						4.56	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart: 52 (Blue), 24 (Green), 5 (Yellow)]						4.55	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 54 (Blue), 21 (Green), 6 (Yellow)]						4.56	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart: 51 (Blue), 19 (Green), 9 (Yellow)]						4.47	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart: 49 (Blue), 22 (Green), 6 (Yellow), 3 (Orange)]						4.40	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart: 49 (Blue), 21 (Green), 5 (Yellow), 4 (Orange)]						4.37	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart: 47 (Blue), 17 (Green), 12 (Yellow), 3 (Orange)]						4.28	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart: 41 (Blue), 16 (Green), 8 (Yellow), 9 (Orange), 8 (Red)]						3.89	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 45 (Blue), 25 (Green), 7 (Yellow), 3 (Orange)]						4.32	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 47 (Blue), 26 (Green), 7 (Yellow)]						4.43	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart: 44 (Blue), 22 (Green), 14 (Yellow)]						4.32	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked Bar Chart: 46 (Blue), 17 (Green), 15 (Yellow)]						4.34	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart: 77 (Blue), 4 (Green)]						4.95	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart: 55 (Blue), 19 (Green), 6 (Yellow)]						4.54	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.43	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

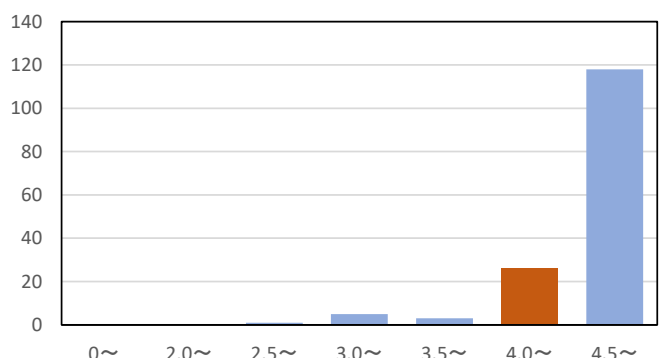


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

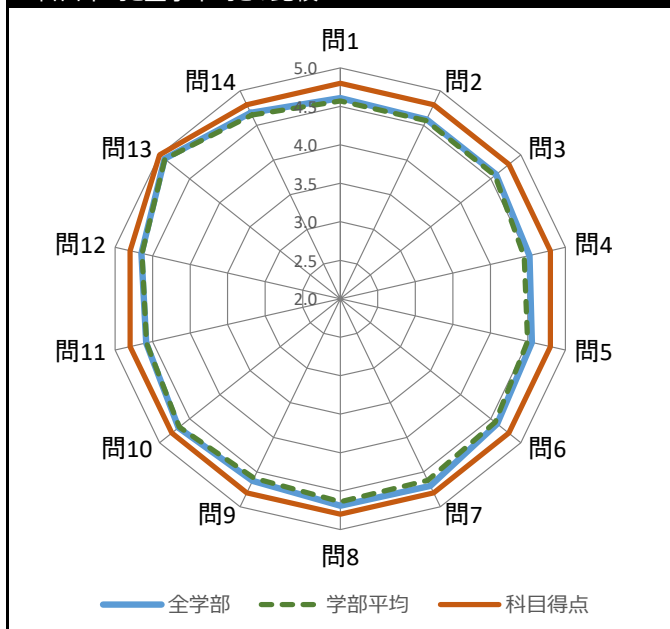


科目名	ラボラトリー・プラクティス	[2H0150]	履修者数	5	回答率	
教員名	天野 雅子		回答数	紙	5	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 5 responses for '5']						5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 4 responses for '4' and 1 for '5']						4.80	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.81	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

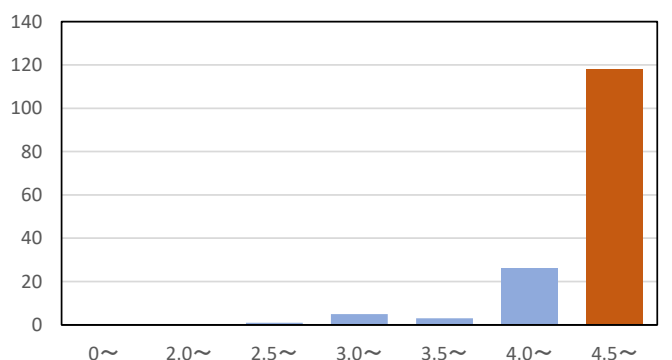


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Red]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

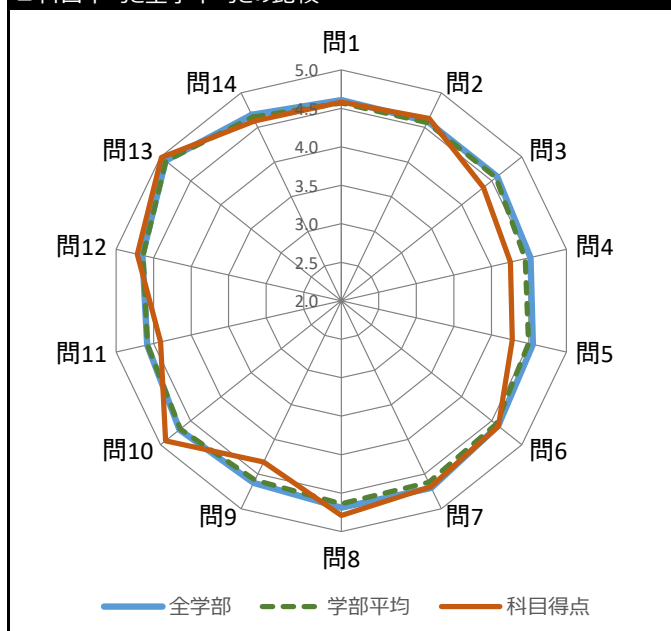


科目名	看護学概論 I	[210010]	履修者数	88	回答率	
教員名	岡田 彩子		紙	86	97.7%	97.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree' and 32% 'Agree']						4.58	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 28% 'Agree']						4.63	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 8% 'Neither', 5% 'Disagree']						4.36	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 40% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 10% 'Neither', 4% 'Disagree']						4.26	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 39% 'Strongly agree', 35% 'Agree', 9% 'Neither', 3% 'Disagree']						4.28	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 5% 'Neither']						4.61	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 3% 'Neither']						4.68	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree', 15% 'Agree']						4.79	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 9% 'Neither', 4% 'Disagree']						4.33	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 79% 'Strongly agree', 7% 'Agree']						4.92	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 50% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 9% 'Neither', 3% 'Disagree']						4.41	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 3% 'Neither']						4.72	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 85% 'Strongly agree']						4.99	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 4% 'Neither']						4.59	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.58	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

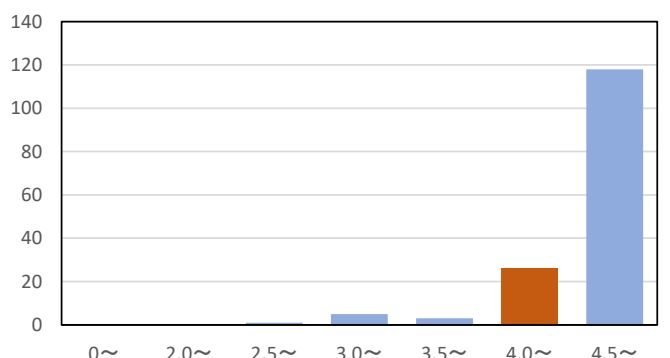


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

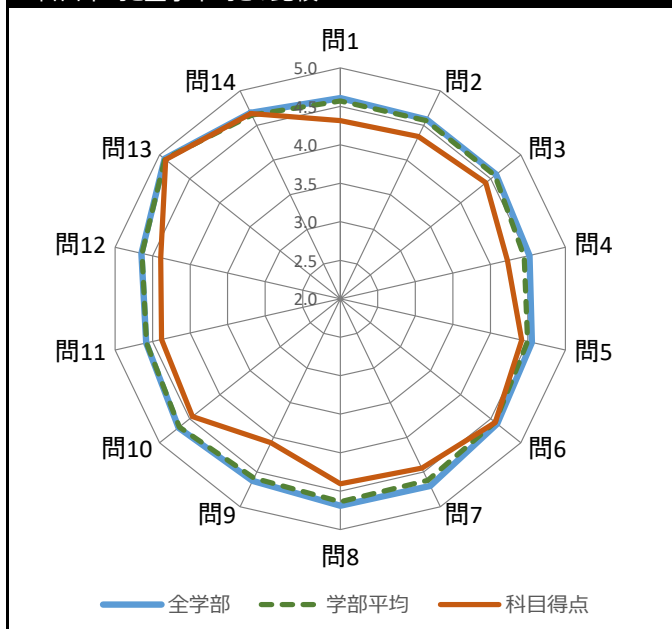


科目名	看護援助論 I (看護過程)	[2K0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原 秀盛		紙	79	89.8%	89.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.32	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.34	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.42	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.23	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.42	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.58	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.44	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.41	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.08	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.46	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.38	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.39	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.90	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.67	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.43	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

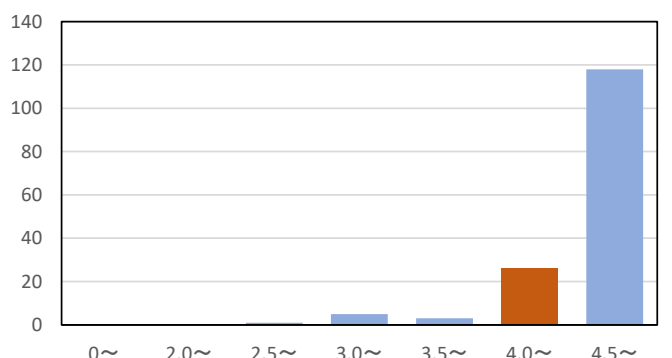


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

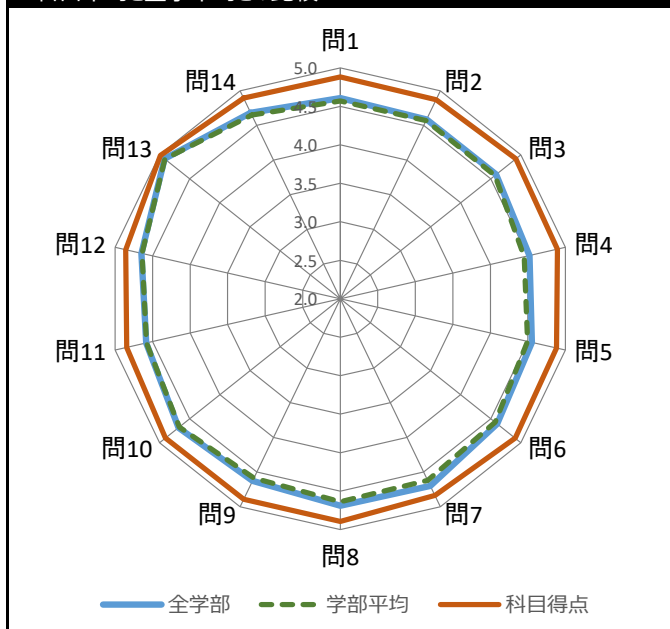


科目名	看護援助論Ⅲ(感染防御と清潔)	[2K0030]	履修者数	88	回答率	
教員名	喜多 里己		回答数	紙	85	96.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
96.6%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.88	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.87	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.92	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.89	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.88	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.91	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.84	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.89	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.89	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.91	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.85	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.86	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.99	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.89	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.89	4.61	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

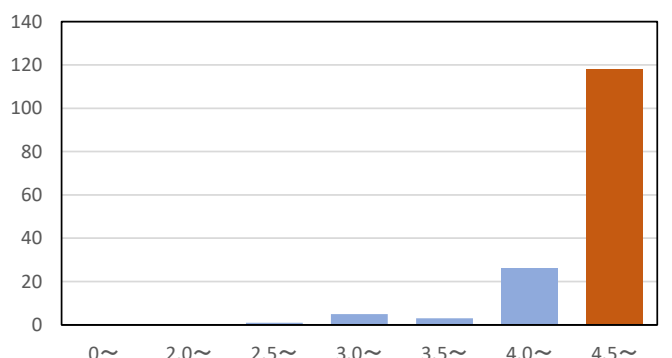


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

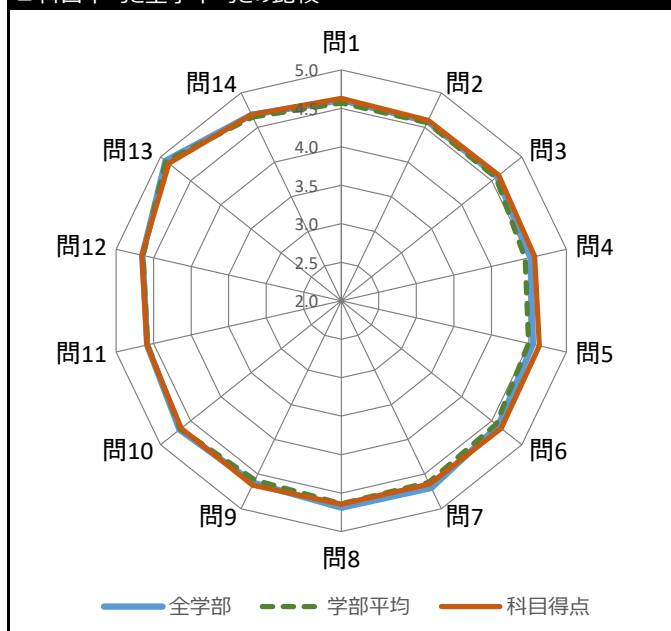


科目名	看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)	[2K0040]	履修者数	87	回答率	
教員名	楠田 智子		回 紙	73	83.9%	83.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.63	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.60	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.62	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.58	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.64	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.66	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.64	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.64	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.66	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.66	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.59	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.66	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.86	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.68	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.65	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

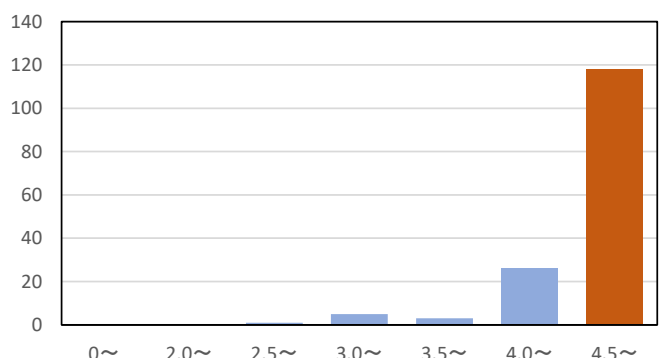


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

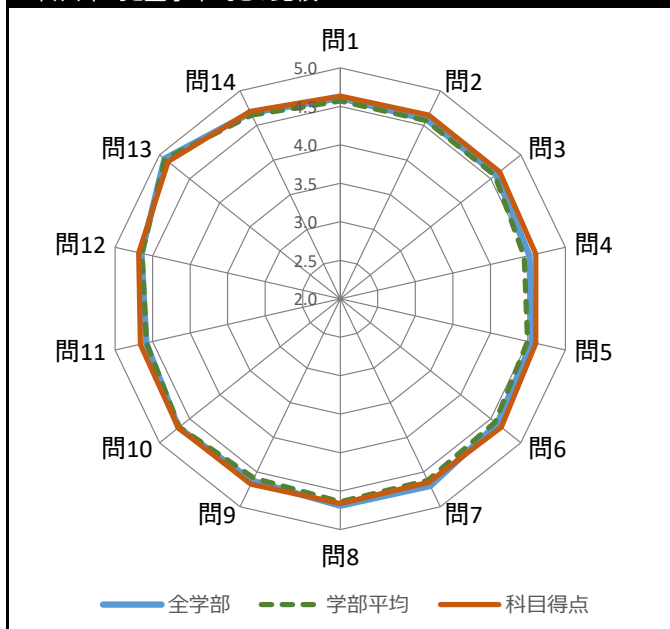


科目名	看護援助論Ⅴ(活動と休息)	[2K0050]	履修者数	88	回答率	
教員名	住谷 ゆかり		回答数	紙	71	80.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.63	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.65	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.65	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.61	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.61	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.68	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.65	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.66	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.68	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.69	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.66	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.69	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.86	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.70	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.67	4.61	4.64

■科目平均と全学部平均との比較

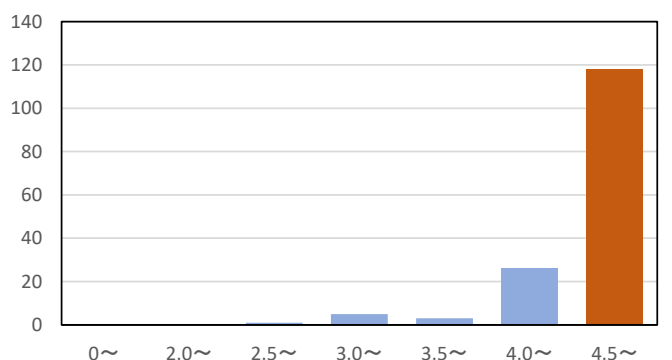


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点≤3.5

■問4(授業の内容)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

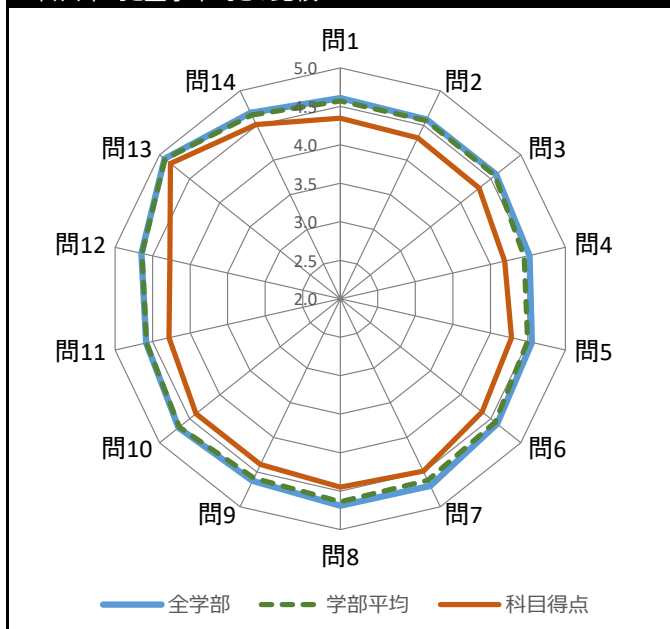


科目名	看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)	[2K0070]	履修者数	88	回答率	
教員名	松本 佳子		回 紙	78	88.6%	88.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	38	31	7				4.35	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	37	31	8				4.32	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	34	35	8				4.31	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	30	35	11				4.19	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	35	32	9				4.28	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	37	34	5				4.36	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	43	31	3				4.49	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	42	30	5				4.45	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	39	30	7				4.39	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	39	32	6				4.40	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	35	32	9				4.28	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	36	31	7	4			4.27	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	66	10					4.82	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	48	23	6				4.51	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.39	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

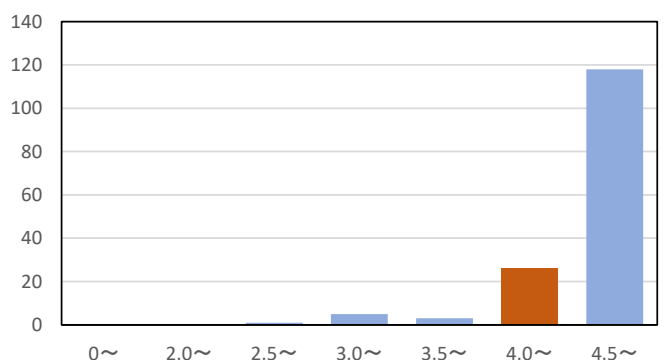


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

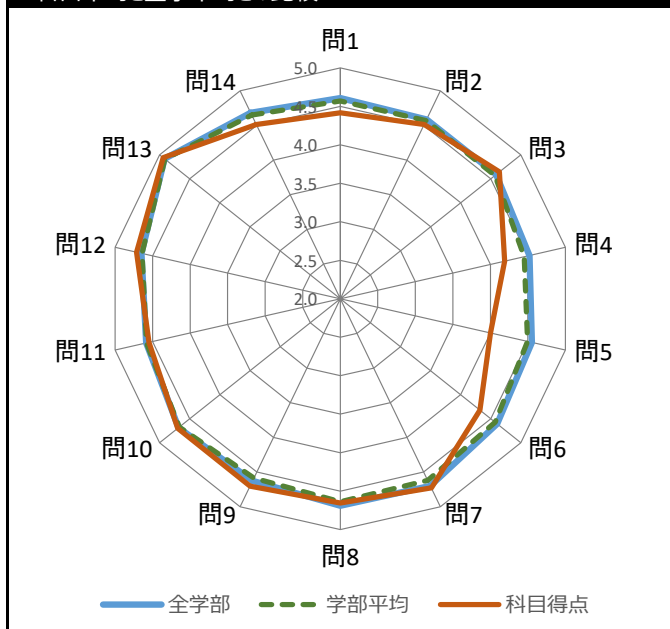


科目名	コミュニティ論 I	[2L0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	鷹田 佳典		回 紙	84	95.5%	95.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.42	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.51	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.64	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.19	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.00	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.32	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.73	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.65	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.70	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.70	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.55	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.71	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.94	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.51	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.54	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

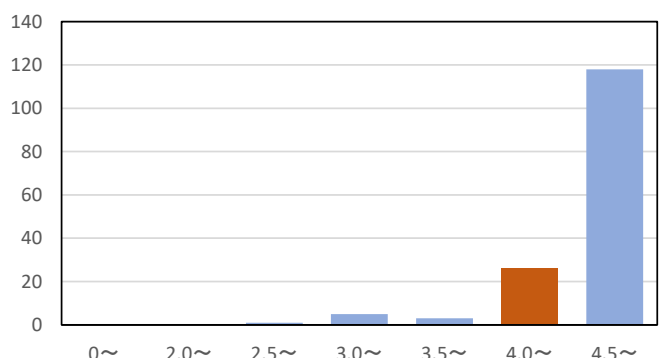


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

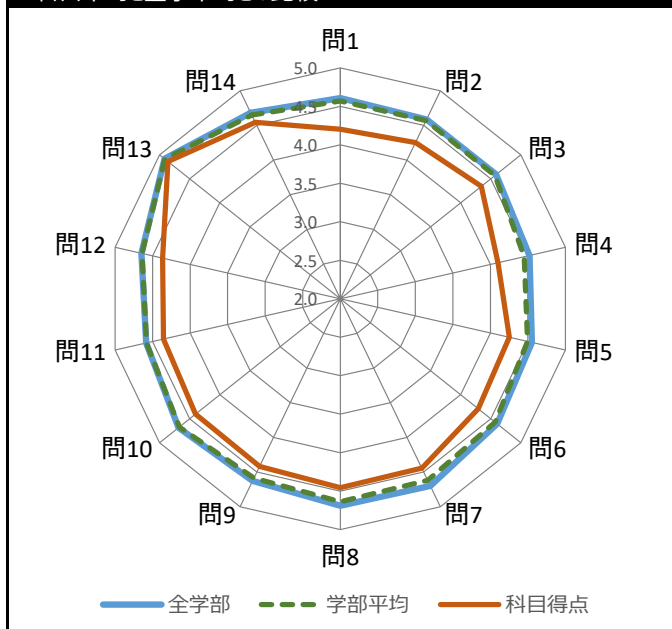


科目名	コミュニティ論Ⅱ	[2L0020]	履修者数	88	回答率	
教員名	成木 弘子		回答数	紙	79	89.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
89.8%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart]						4.20	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar Chart]						4.25	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar Chart]						4.34	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar Chart]						4.10	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar Chart]						4.25	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar Chart]						4.29	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar Chart]						4.44	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar Chart]						4.46	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar Chart]						4.42	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart]						4.41	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar Chart]						4.35	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Stacked Bar Chart]						4.37	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar Chart]						4.86	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar Chart]						4.54	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.38	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

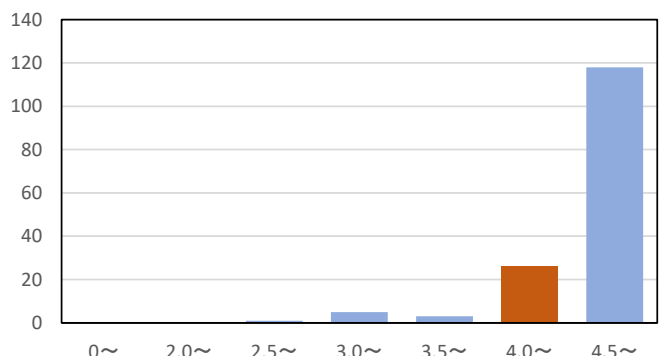


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

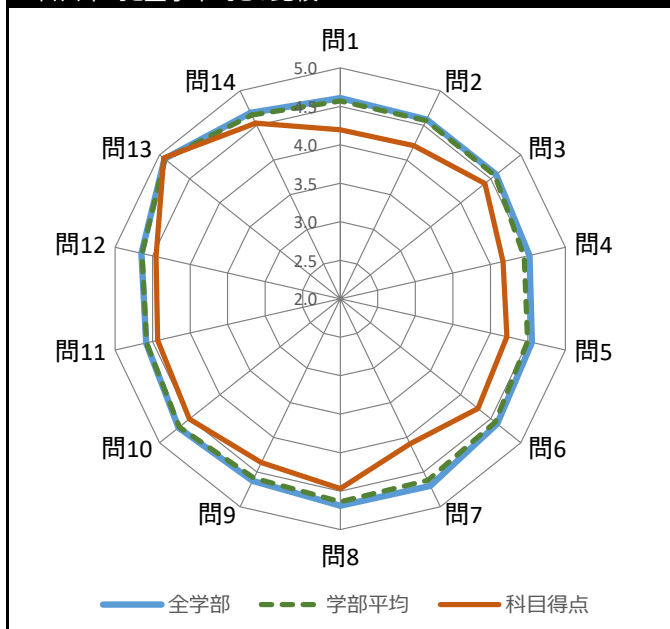


科目名	コミュニティケアⅢ(在宅看護学)	[2L0060]	履修者数	87	回答率	
教員名	藤川 あや		回 紙	77	88.5%	88.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	41	20	6	10			4.19	4.57	4.61	
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	42	18	9	7			4.21	4.57	4.59	
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	43	25	6	3			4.40	4.57	4.59	
4	授業の内容はわかりやすかった。	39	19	12	7			4.17	4.45	4.52	
5	授業の内容は興味のあるものだった。	41	21	8	5			4.22	4.50	4.55	
6	この授業は自分にとって価値があった。	40	25	5	5			4.29	4.57	4.61	
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	41	16	9	5	5		4.09	4.62	4.70	
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	50	19	3	4			4.47	4.64	4.69	
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	47	16	9	5			4.36	4.59	4.63	
10	教員の熱意が伝わってきた。	52	15	7	3			4.51	4.68	4.69	
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	51	14	5	5			4.43	4.58	4.58	
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	51	15	7	3			4.45	4.64	4.65	
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	73							4.93	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	53	15	6	3			4.53	4.65	4.68	
問1~14全問平均								4.38	4.61	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

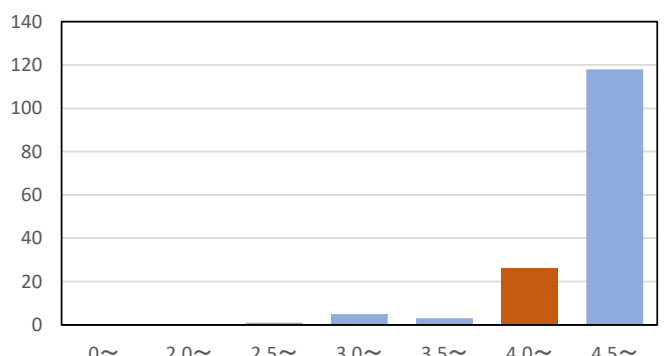


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

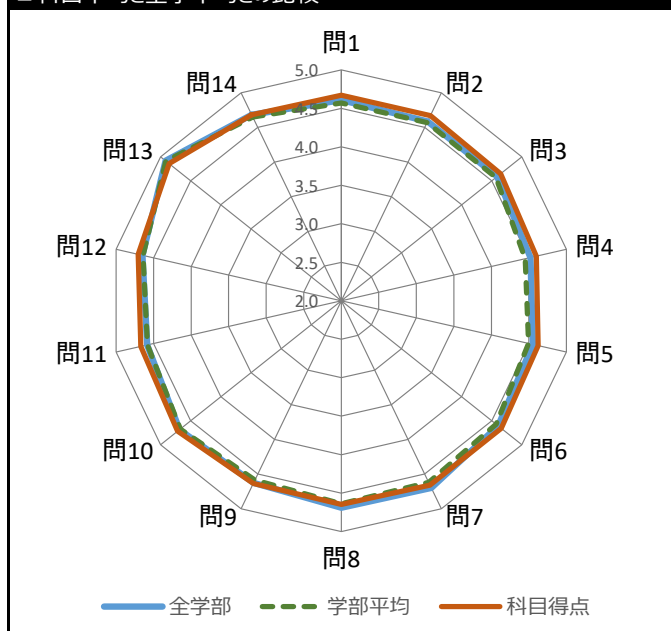


科目名	慢性期ケア	[2M0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	仁昌寺 貴子		回答数	紙	85	96.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
96.6%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.67	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.67	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.65	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.60	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.62	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.66	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.66	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.65	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.64	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.72	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.67	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.71	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.86	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.68	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.67	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

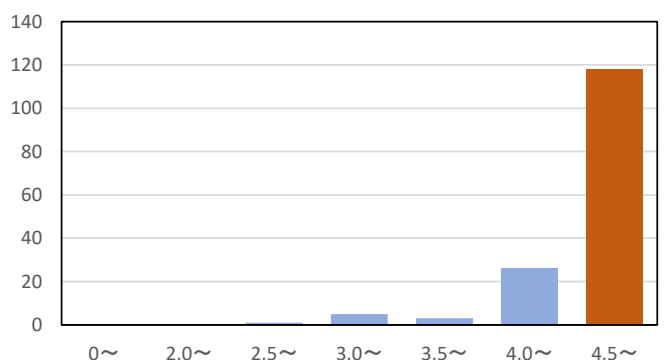


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

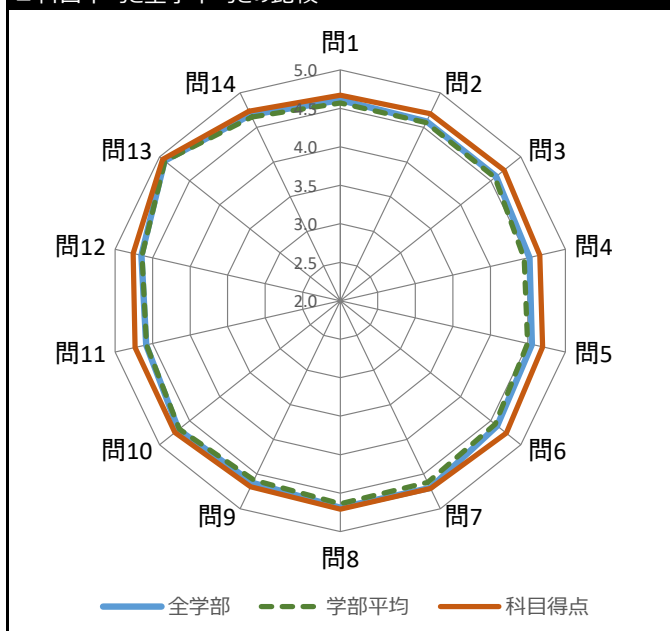


科目名	急性期ケア	[2M0020]	履修者数	87	回答率	
教員名	奥原 秀盛		回 紙	79	90.8%	90.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 53% blue, 26% green]						4.67	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart: 55% blue, 24% green]						4.70	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart: 57% blue, 22% green]						4.72	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart: 53% blue, 25% green]						4.66	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart: 56% blue, 22% green]						4.70	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart: 60% blue, 19% green]						4.76	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart: 57% blue, 21% green]						4.71	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart: 56% blue, 23% green]						4.71	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart: 56% blue, 21% green]						4.68	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 59% blue, 20% green]						4.75	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart: 59% blue, 19% green]						4.73	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart: 60% blue, 19% green]						4.76	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart: 75% blue, 4% green]						4.95	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart: 58% blue, 21% green]						4.73	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.73	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

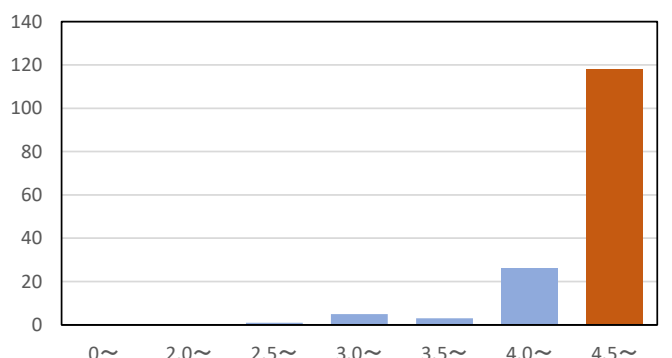


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

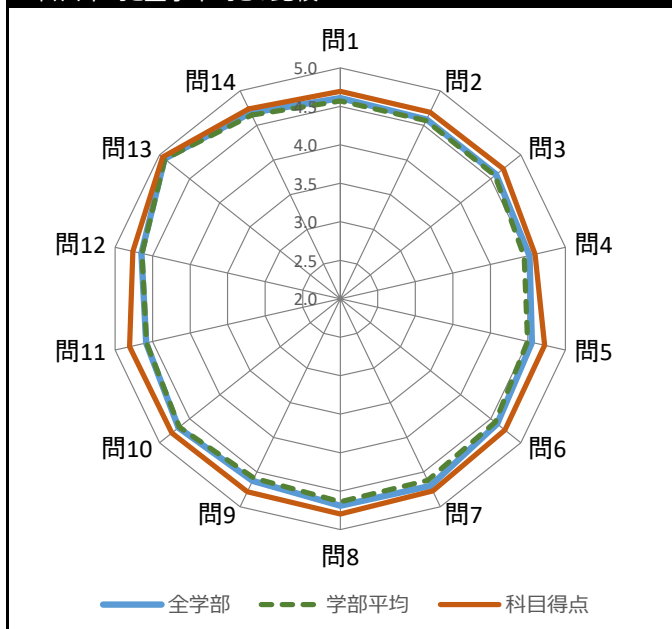


科目名	緩和・終末期ケア	[2M0030]	履修者数	87	回答率	
教員名	奥原 秀盛		紙	84	96.6%	96.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 4% 'Disagree', 18% 'Strongly disagree']						4.70	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 18% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.69	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 5% 'Disagree', 17% 'Strongly disagree']						4.71	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 4% 'Disagree', 19% 'Strongly disagree']						4.60	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 19% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.72	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 4% 'Disagree', 17% 'Strongly disagree']						4.73	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 18% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.77	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 18% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.80	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 18% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.79	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 18% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.80	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 19% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.81	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 18% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.76	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Bar chart showing 80% 'Strongly agree', 4% 'Agree', 16% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.95	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 19% 'Disagree', 0% 'Strongly disagree']						4.74	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.75	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

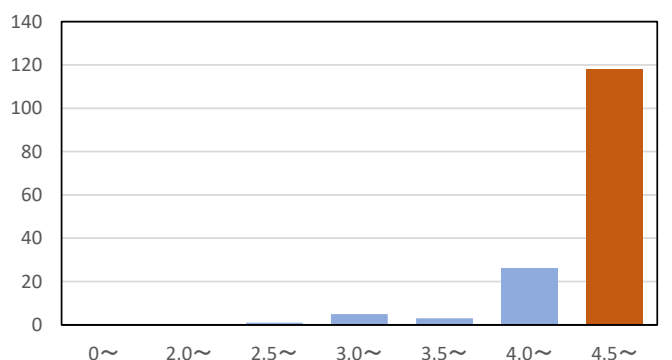


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

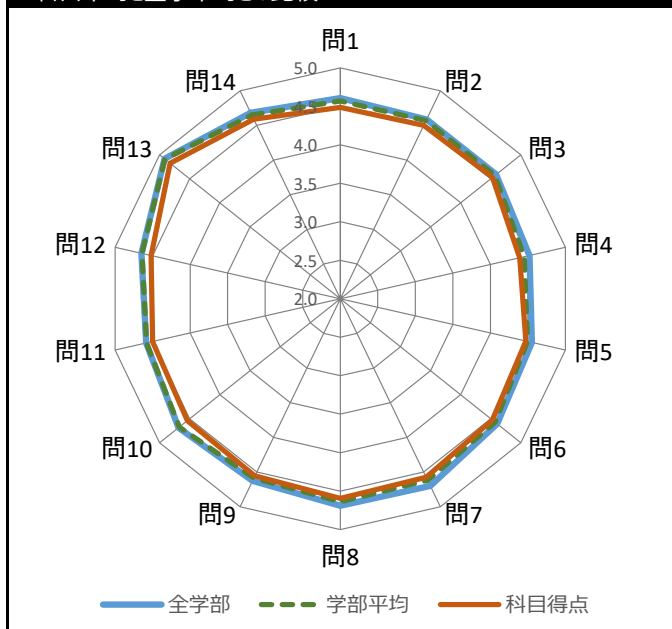


科目名	発達看護学概論	[2N0010]	履修者数	87	回答率	
教員名	喜多 里己		回 紙	74	85.1%	85.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.49	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.50	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.53	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.39	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.47	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.53	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.58	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.59	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.55	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.54	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.50	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.52	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.82	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.59	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.54	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

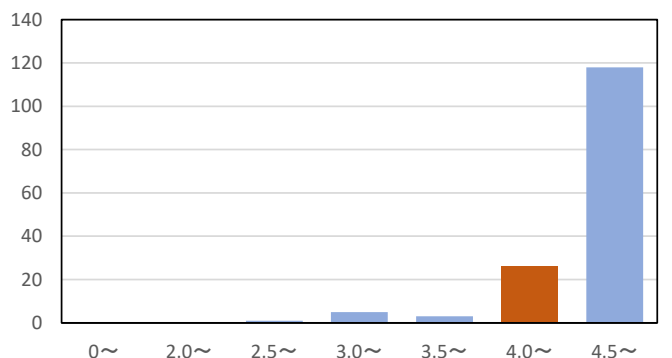


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

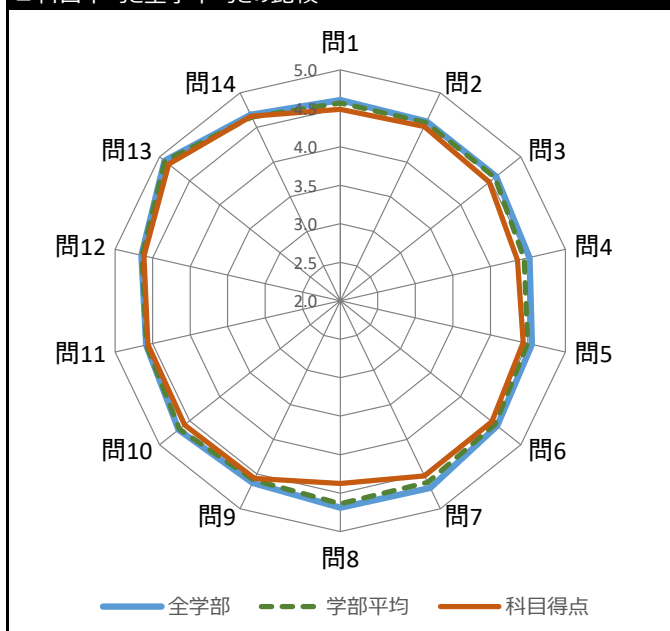


科目名	発達看護学(成人期の看護)	[2N0020]	履修者数	88	回答率	
教員名	奥原 秀盛		紙	80	90.9%	90.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.49	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.51	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.48	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.36	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.44	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.52	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.53	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.38	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。							4.56	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.59	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.56	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。							4.62	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.85	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.66	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.54	4.61	4.64

■ 科目平均と全学平均との比較

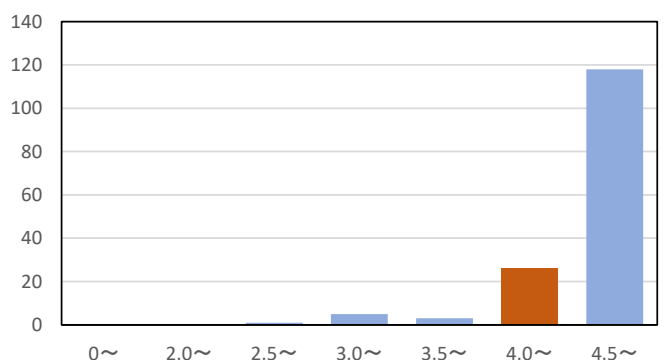


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

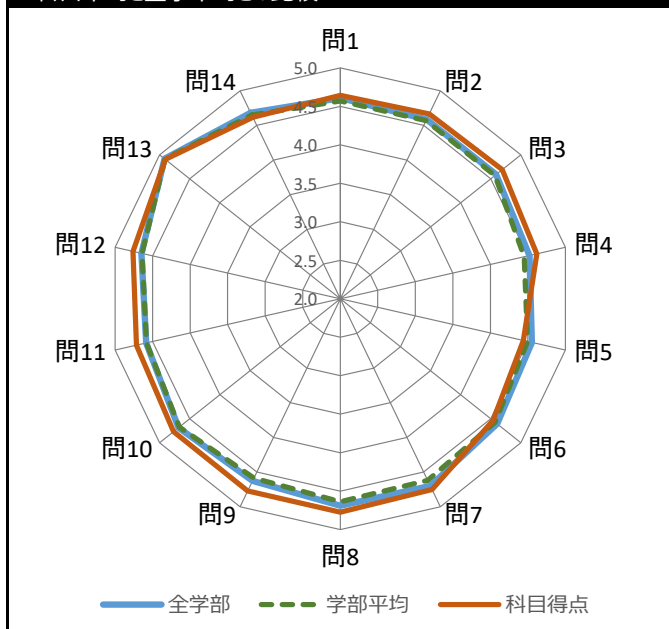


科目名	国際看護学(異文化とケア含)	[2P0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	織方 愛		回 紙	84	95.5%	95.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.64	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ(DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。							4.67	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。							4.69	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。							4.62	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。							4.44	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。							4.54	4.57	4.61
7	対面: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom: 授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa: 教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。							4.75	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。							4.77	4.64	4.69
9	対面: 授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom: 授業の進行速度は適切だった。 Glexa: 授業の構成及び内容量は適切だった。							4.77	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.77	4.68	4.69
11	対面: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom: 教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa: 教員は学生の質問に答える状況を整えていた。							4.71	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.76	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。							4.90	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。							4.62	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.69	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

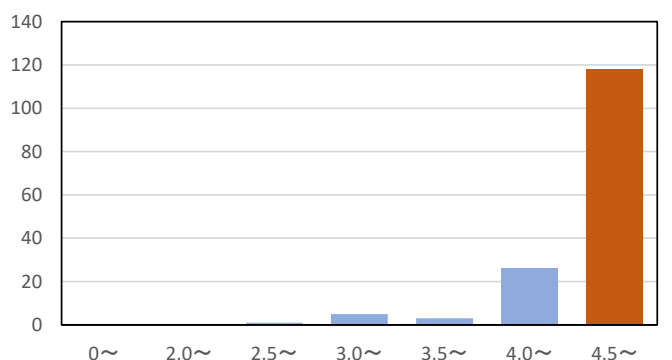


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
	5	強く思う
	4	思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

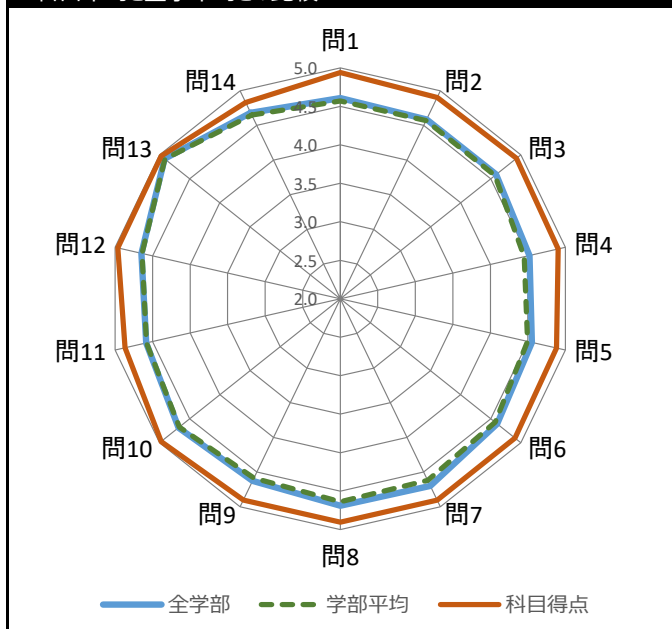


科目名	災害看護論	[2P0030]	履修者数	88	回答率	
教員名	内木 美恵		回 紙	83	94.3%	94.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	78						5	4.94	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	75						8	4.90	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	77						6	4.93	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	75						8	4.90	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	74						8	4.88	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	76						6	4.90	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	76						6	4.90	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	75						8	4.90	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	75						8	4.90	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	81							4.98	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	73						9	4.87	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	80						3	4.96	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	81							4.98	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	71						10	4.83	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.91	4.61	4.64	

■ 科目平均と全学部平均との比較

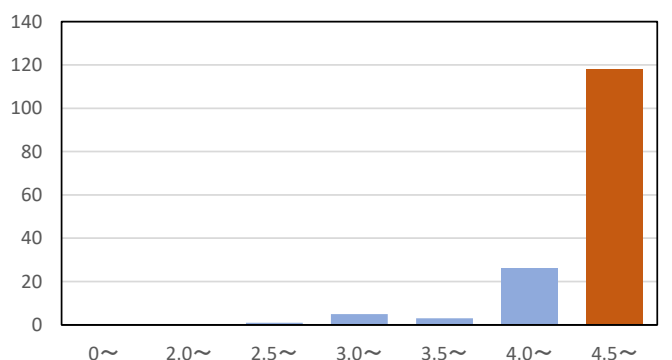


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
Blue	5	強く思う
Green	4	思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Red	1	全くそうは思わない
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

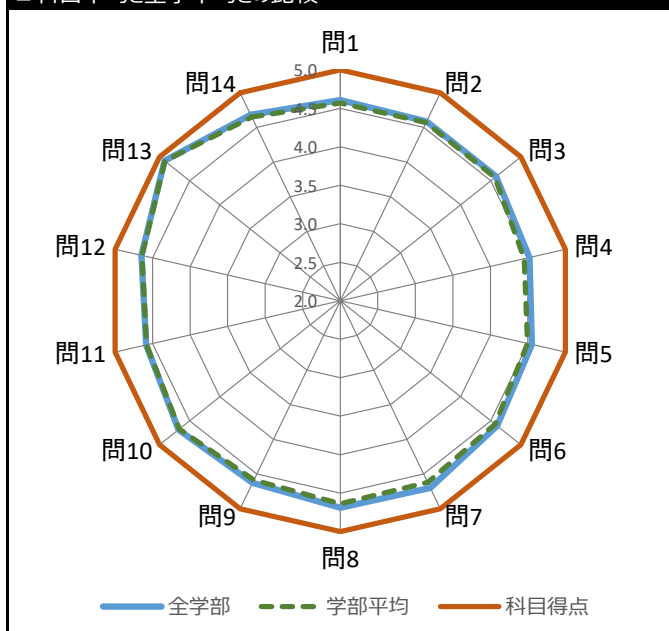


科目名	応用看護学特論 I	[2Q0030]	履修者数	3	回答率	
教員名	小宮 敬子		回答数	紙	3	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
						100.0%

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	3						5.00	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	3						5.00	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	3						5.00	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	3						5.00	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	3						5.00	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	3						5.00	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	3						5.00	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	3						5.00	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	3						5.00	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	3						5.00	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	3						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	3						5.00	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8~7割程度、3:6~5割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	3						5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	3						5.00	4.65	4.68
問1~14全問平均								5.00	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

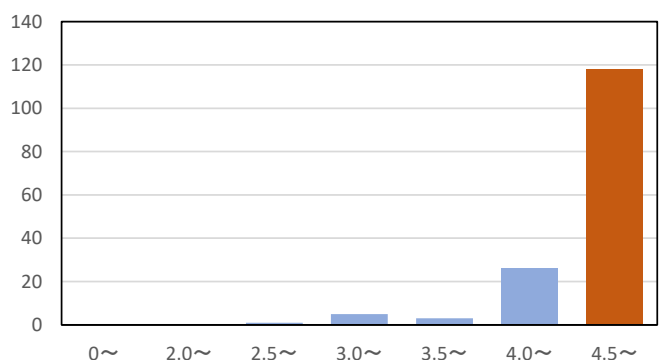


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

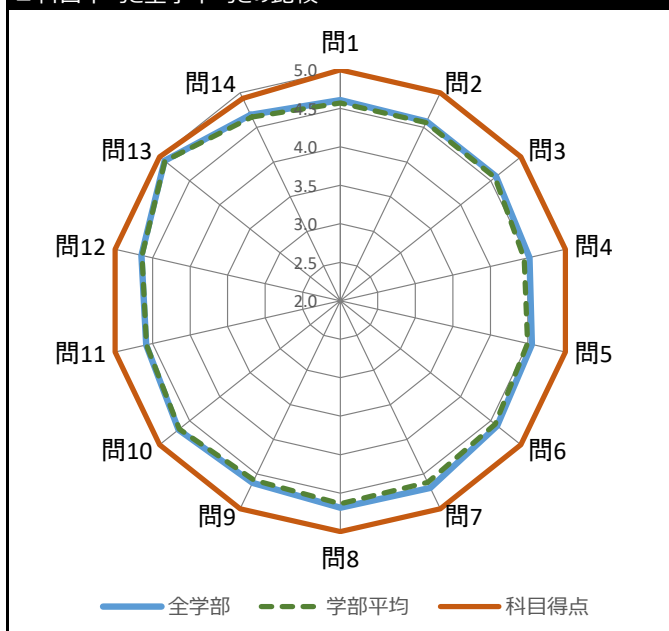


科目名	応用看護学特論Ⅱ	[2Q0040]	履修者数	12	回答率	
教員名	喜多 里己		回答数	紙	12	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態		講義	WEB	0
100.0%						

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	12						5.00	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	12						5.00	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	12						5.00	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	12						5.00	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	12						5.00	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	12						5.00	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	12						5.00	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	12						5.00	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	12						5.00	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	12						5.00	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	12						5.00	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に応答した。	12						5.00	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	12						5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	11					1	4.92	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.99	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

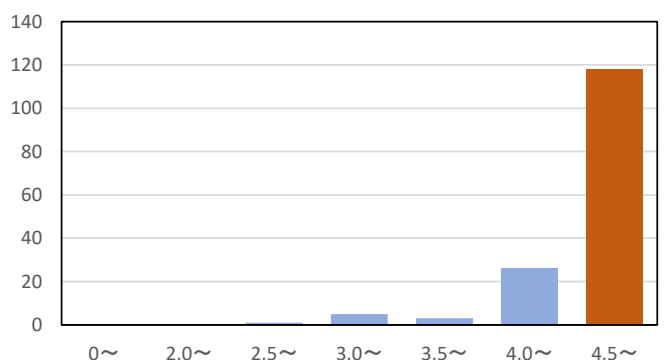


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
■	5	強く思う
■	4	思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
■	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

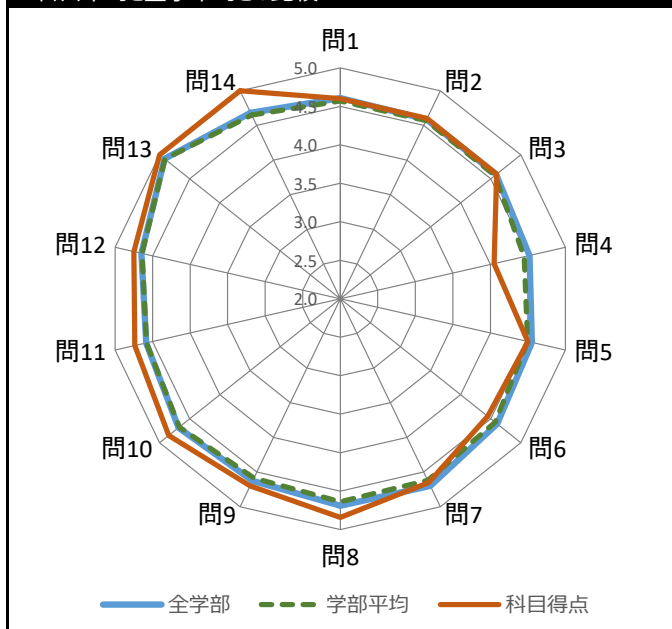


科目名	公衆衛生看護活動展開論	[2T0010]	履修者数	20	回答率	
教員名	成木 弘子		紙	20	100.0%	100.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	講義	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	授業で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar: 14 (Blue), 5 (Green), 1 (Orange)]						4.60	4.57	4.61
2	授業では、板書、書画カメラ、ビデオ (DVD)、パワーポイントなどの使い方が効果的だった。	[Stacked Bar: 13 (Blue), 6 (Green), 1 (Orange)]						4.60	4.57	4.59
3	教員の話し方(声量、スピード、マイクの使い方など)は適切だった。	[Stacked Bar: 14 (Blue), 4 (Green), 2 (Orange)]						4.60	4.57	4.59
4	授業の内容はわかりやすかった。	[Stacked Bar: 10 (Blue), 4 (Green), 3 (Yellow), 3 (Orange)]						4.05	4.45	4.52
5	授業の内容は興味のあるものだった。	[Stacked Bar: 14 (Blue), 3 (Green), 2 (Yellow), 1 (Orange)]						4.50	4.50	4.55
6	この授業は自分にとって価値があった。	[Stacked Bar: 14 (Blue), 2 (Green), 3 (Yellow), 1 (Orange)]						4.45	4.57	4.61
7	対面:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Teams/Zoom:授業は、正規の時間に始まり、終わった。 Glexa:教員は指定の時間に資料や動画をアップロードした。	[Stacked Bar: 16 (Blue), 2 (Green), 1 (Yellow), 1 (Orange)]						4.65	4.62	4.70
8	シラバス(または講義予定表)に沿った授業が行われていた。	[Stacked Bar: 16 (Blue), 3 (Green), 1 (Orange)]						4.84	4.64	4.69
9	対面:授業の進行速度は適切だった。 Teams/Zoom:授業の進行速度は適切だった。 Glexa:授業の構成及び内容量は適切だった。	[Stacked Bar: 16 (Blue), 2 (Green), 2 (Yellow)]						4.70	4.59	4.63
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar: 17 (Blue), 3 (Green)]						4.85	4.68	4.69
11	対面:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Teams/Zoom:教員は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。 Glexa:教員は学生の質問に答える状況を整えていた。	[Stacked Bar: 15 (Blue), 3 (Green), 1 (Yellow), 1 (Orange)]						4.74	4.58	4.58
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked Bar: 16 (Blue), 3 (Green), 1 (Orange)]						4.75	4.64	4.65
13	私の授業への出席率は、(5:9割以上、4:8割程度、3:6割程度、2:4割程度、1:3割以下)だった。	[Stacked Bar: 20 (Blue)]						5.00	4.91	4.92
14	私は授業に意欲的・積極的に取り組んだ。	[Stacked Bar: 20 (Blue)]						5.00	4.65	4.68
問1~14全問平均								4.67	4.61	4.64

■ 科目平均と全学部平均との比較

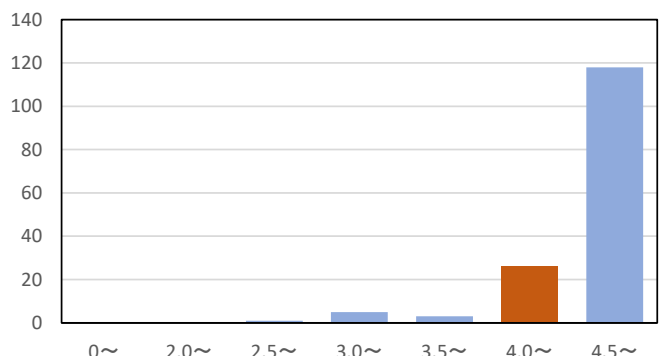


グラフ凡例	配点	問1~12, 14
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Orange]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問4 (授業の内容) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2A0010	赤十字概論	角田敦彦	赤十字の看護大学の特徴的な科目でもある赤十字概論ですが、学生の興味関心は様々です。その意味で、アンケートの評価は概ね肯定的でありましたが、一部課題も残る結果でした。次年度以降、看護と赤十字とが有機的につながっていることを伝え、学生がさらに興味をもって受講できるよう伝える内容にも工夫していきたいと思います。
2A0020	赤十字国際活動論	角田敦彦	今年度の受講生は6名とかなり少なかったのが残念ですが、受講された学生には概ね肯定的な評価がいただけたようです。少人数ながら、その分学生との距離が近くディスカッションにも積極的に発言してくれました。また、ゲストスピーカーからのプレゼンテーションにも積極的に質問をするなど、学生の主体的な取り組みが印象的です。来年度以降も双方向性を大切にしながら、楽しく学びを深めていただけるよう、展開を工夫していきます。
2B0030	心理学概論	遠藤公久	概ね好評な授業評価をいただきました。ありがとうございます。コメントのフィードバックは、Glexa上でアップしようと努めましたが、タイミングもあまりよくなかったかと思えます。次回、質問コーナーを別途設けたいと思います。
2C0030	社会保障論	森山幹夫	受講お疲れ様でした。不合格の者が出なかったのがほっとしています。アンケートを拝読しました。協力し正直に書いてくれたあなたに感謝します。アンケートは予想通りの反応なので皆さんに合わせて授業内容を更に組み立て直しましょう。難しかったとの意見がありましたが、コロナ禍だからあなたの負担を考えて事前課題を課すのを止めたことも一因ではないか、課しておけば良かったと反省しています。大学の講義は1コマに対して3コマ分の時間を使ってあなたが予習していることを前提に進めます。シラバスでも書いています。授業で教科書通りのことつまり予習で済ませておくべきことをやっていたのでは授業の意味がありません。しかも社会保障論の講義は学際的であり、これまで及びこれから受ける授業を総合したものになります。範囲が広い上に社会自体の理解とあなた方が体験したことがない世の中も理解しなければなりません。そして教師自身の考えも批判的に受け止めてください。でも詰め込みすぎたかもしれないと反省をしています。工夫しましょう。教科書などに絞ってメモを取りやすくし後で振り返りができるように工夫します。資料の余白も多くしましょう。私の講義は直ちに役に立つというよりも、あなたが社会に出た時に思い返して理解が深まるように考えています。何年後かには必ず納得していただけるでしょう。授業の方法は試験に出るところにアンダーラインを引けとか、ここを覚えろと言うことはしませんでした。多くの資料や事実の中から自分に必要なものを探す力をつけてもらうことを主眼にしていました。ポイントについては別にチェックリストを渡しており、それを自主的に勉強してもらう方法です。同リストは社会保障に関連する他の分野の内容も多く、既に勉強している内容の復習が半分以上を占めているので授業での説明は省きました。リスト項目はいちいち説明することはしませんでしたので授業終了後も自主勉強で使ってください。出席のとりかたについて意見がありましたが、確実・正確な方法であり情報は秘匿され身体は隠してもよいのでプライバシーの侵害にはなりません。出欠で時間を取られたくないし、どうしたものかと出欠はどこでも昔から問題ですね。社会保障の授業は出席しなければ本人の不利益だからほっとくという意見もありますが、さぼり癖がつくと実習などの他の大事な授業に影響しますので厳しく出席を取らざるを得ません。
2D0020	生物学	有賀早苗	初めての担当年度で、学生さんたちの反応を見ながら進めましたが、概ね好評だったようで一安心です。学生さんたちからのコメントを踏まえて、来年度の授業をよりよいものにしていきたいと思います。
2D0030	化学	三好 洋	化学を学んだことのある人にとっては、少し物足りない講義ではなかったかと考えたりしていましたが、理解度に応じて講義ができたのであれば、良かったと思います。
2E0030	保健統計学	川崎 洋平	講義内容は興味を持っていたいただける題材を取り入れていきたいと思います。スライドがとまってしまう事が頻繁に起こったので、次年度はPCの設定にも気を付けたいと思います。
2F0021	英語 RW I	川崎 修一	過分評価をありがとうございました。頂いたコメントを基に授業改善に取り組みたいと思います。
2F0040	英語 RWIII	川崎 修一	過分評価をありがとうございました。頂いたコメントを基に授業改善に取り組みたいと思います。

2G0011	基礎ゼミⅠ	遠藤公久	全体として、学部平均より少し下まったことについて反省したいと思います。とくにコメントがなかったのが残念ですが、わかりやすく、また自由に質問しやすい雰囲気づくりに心掛けたいと思います。
2G0012	基礎ゼミⅠ	鷹田佳典	特にコメントはありませんでしたが、おおむね高い評価をいただき、ほっとしています。基礎ゼミⅠはこれから大学で学んでいくために必要な基礎的知識やスキルを習得するための重要な科目ですので、次年度以降もその目的に向けてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。
2G0013	基礎ゼミⅠ	白井美穂	とても良い評価をありがとうございました。引き続き、皆さんの意見を取り入れながら、しっかりと基礎的な情報を習得できるよう、授業研究を行っていききたいと思います。
2G0014	基礎ゼミⅠ	角田敦彦	大学での学びの中で、レポートの作成や研究はとても重要な位置を占めます。これらを円滑に進めるための知識や技術の習得を目的とする本科目に、すべての学生が積極的に取り組んでくれました。今後も学生と一緒に学びが深められるよう、展開を工夫していきたいと思っています。
2G0015	基礎ゼミⅠ	渋谷 真樹	「授業の内容は興味のあるものだった」の得点がやや低く、アカデミックスキルの基礎を学ぶ本授業の意義が十分伝わってなかったかもしれません。今後はパワーポイントなどをより効果的に使いながら、興味をもって学べる環境を作っていきたいと思っています。
2G0016	基礎ゼミⅠ	井上明宏	・遠隔授業と対面授業が混在するなど、戸惑いもあったかと思います。他にもいろいろ科目を受講する中で、負担も感じたかもしれませんが、基礎ゼミは1年次の科目の中でも最も大学の授業らしい科目でもあると考えます。辛抱して学修していただいただけの実力はついていると思います。 ・レポートは、皆さんがんばって書いていただきましたが、形式を踏襲することが一つの大きな目的でもありますので、その部分が不十分だと評価に影響したと思います。 ・当科目での学びを活かして、引き続き学びを積み重ねていってください。
2G0017	基礎ゼミⅠ	有賀早苗	初めての担当年度で不安いっぱいスタートでしたが、お取りまとめの鷹田佳典先生のご教示のもと、受講学生とも話し合いながら手探りで進めました。概ね好評だったようで安堵しましたが、自身の反省点も踏まえ、来年度に向けて準備したいと思います。
2G0018	基礎ゼミⅠ	越後敬子	ゼミ全体の学習と個別の調査研究という二本立てで行ったが、各自が設定したテーマに沿って、適切な調査ができたと思う。
2H0010	人体の構造と機能Ⅰ	白井美穂	貴重なご意見をありがとうございます。ミニテストの自己採点評価は、レポートに変更し、平等に評価できるよう変更します。課題や授業内でのテストの日程の公表は早めに致します。また、プリントの鮮明度を上げ、両面印刷から片面印刷とし、見やすい資料を配布できるようにしていきたいと思っています。
2H0020	人体の構造と機能Ⅱ	白井美穂	貴重なご意見をありがとうございます。授業後のDVDの確認は復習になるとの事で、今後も継続していきたいと思っています。改善点として、レポート提出連絡をできる限り早くし、資料の解析度を上げたいと思います。授業内容が多く、多くの情報をできる限り要点を絞って分かりやすく講義しているつもりですが、毎年、授業のスピードが速いといった感想を頂きます。課題として、さらに内容を精査し、皆さんの理解がより進む講義を検討していきたいと思っています。
2H0050	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ（疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器）	岡田彩子	授業改善アンケートへのご協力、有難うございました。本授業では、各専門分野の医師から実臨床の内容を講義することで理解を深めることをねらいとしていますので、動画が参考になったとコメントがあり、うれしく思います。内容が多いこと、資料に関する点に関して、今後検討していきます。リアクションペーパーについては、授業を受けての感想や気づき、質問を受けるためのものです。方法についてはその目的からずれないように検討をしたいと思っています。神経系の内容は本授業には含まれません。
2H0060	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	奥原秀盛	授業改善アンケートへのご協力、有難うございました。医師からの写真や動画を使用している臨場感のある講義に興味をもって頂いた様で嬉しく思います。一方で、授業資料がない講義や1回の講義量が多すぎて要点が分かりづらい、声量が小さく聞こえなかった講義もあった等のご指摘がありました。資料の作成、ポイントを絞った講義、聞きやすい講義等へのご協力を依頼したいと思います。

2H0090	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ	林公輔	いろいろなコメントをいただき、どうもありがとうございました。評価していただき、励みになりました。また、スライドをアップするタイミングが遅いという指摘も受けました。来年度は長期研修で1年間ドイツに行く予定のため授業は担当しませんが、今後教員として働いていく上で、学生さんの準備の都合についても考えながら授業準備をしていきたいと思っています。ご指摘、どうもありがとうございました。
2H0120	リハビリテーション医学	荒尾敏弘	このたびは講師の急な退職により皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。アンケートにある通り、講義日程、試験内容に関しては時間に余裕のない発表となり、また講義も短期に集中してしまい、頂いたご意見の通りだと思えます。次年度はこれらの反省点を踏まえて対応させていただきます。
2H0150	ラボラトリー・プラクティス	天野雅子	実習をとりいれたことは学生にとって有意義であった。
2I0010	看護学概論Ⅰ	岡田彩子	授業改善アンケートへのご協力、有難うございました。本授業では看護学の基礎となることやケアの原理を学びます。抽象的な内容が多い中で、本質的な理解が進むように経験（現象）を基に説明するようにしたので、皆さんからのコメントを嬉しく思います。音量のこと、話し方やスピードについて、今後工夫していこうと思います。
2K0010	看護援助論Ⅰ（看護過程）	奥原秀盛	授業改善アンケートへのご協力、有難うございました。良い点として、GWで意見交換・共有ができたとのコメントがありました。本授業では、学生間で活発な意見交換を行い、理解や洞察を深めることをねらいとしていますので、嬉しく思います。一方で、改善点として以下のようなご意見をいただきました。1) 1事例目のGWの時間を増やして欲しい、2) リアクションペーパーへのコメントや講義時間が長い、聞くよりも実践した方が理解が深まる、3) 教員間での情報共有ができておらず指導内容が異なる。1) 2) については、講義スケジュールを検討して、特に1例目のGW時間を多くしたいと思っています。3) については、教員間での情報共有および共通認識を図りたいと思います。
2K0030	看護援助論Ⅲ（感染防御と清潔）	喜多 里己	・好評をいただき、ありがとうございました。入学されて最初の看護関連授業ですので、これまでの体験を授業内容に結びつけられるよう工夫をしています。グループでの学習が多く楽しく参加できた、わかりやすかった、など良かったと記述されたことは継続できるようにしていきます。・スライドを進めるのが早かったというご意見があったので、次年度は留意していきます。
2K0040	看護援助論Ⅳ（栄養と代謝／排泄）	楠田 智子	授業改善アンケートに回答くださりありがとうございました。概ね良い評価をいただき嬉しく思います。みなさんからの率直な声を聞かせていただき、感謝いたします。みなさんからの意見に、離乳食を試せたのが良かった、アセスメント方法や重要性が良く分かったとありました。今後も学生さん自身が体験したり、考えることのできる内容を授業に取り入れていきたいと思っています。
2K0050	看護援助論Ⅴ（活動と休息）	住谷ゆかり	授業に関するご意見をありがとうございました。アンケートの結果より、皆さんが講義やグループワークに意欲的に取り組みながら、対象者の状況に応じた活動と休息についての学びを深められたことがわかり、安心しております。アンケート結果は、次年度の授業内容・方法の洗練に活かしていきたいと思っております。援助論の授業を通して考えたこと、学んだことを、今後の実習などで出会う人々へのケアにつなげていってください。
2K0070	看護援助論Ⅶ（心・身体・人間関係）	松本佳子	授業に関して、コメントをよせていただきまして、ありがとうございます。いただいたコメントに基づきまして、来年度からの授業運営に反映させていきたいと思っております。具体的には以下のことに配慮したいと考えます。授業資料につきまして、少し分かりにくいというコメントがありました。来年度からの授業では、授業資料の作成に、より配慮しながら授業をすすめていきたいと思っています。リアクションペーパーについては、授業を最後まで聞いた直後、授業全体を振り返り、皆さんお一人お一人が自分の考えをまとめることで、さらに学びを深めて欲しいという意図がありますので、授業最後の配布になることを、ご承知下さい。授業をうけてから精神領域に興味をもったというご意見や、リラクゼーションや映画、依存症当事者の生の声が聴けてよかったというご意見の一方、他の映画のほうがよいのではないかとといった声や、当事者の授業に関する段取りについて疑問を呈するご意見もございました。来年度も引き続き、学生の皆さんの学びを深めることのできる環境を作ることを念頭におきつつ、皆さんの興味関心がさらに深まるような教材や授業内容、授業の進め方について検討していきたいと考えております。このたびは、率直なご意見をありがとうございました。

2L0010	コミュニティ論Ⅰ	鷹田佳典	話すスピードや具体例を多く取り上げた点を評価してもらえたので、次年度も継続していきたいと思います。一方、「授業の内容はわかりやすかった」「授業の内容は興味のあるものだった」「この授業は自分にとって価値があった」の項目については、全体の平均を下回る結果になってしまいました。より分かりやすく、興味を持ってもらえるような授業に改善していきたいと思います。また、他のコミュニティ関連科目とのつながりなども意識した授業を行うことで、コミュニティ論Ⅰを学ぶことの意義をより感じてもらえるようにしていきたいと思います。
2L0020	コミュニティ論Ⅱ	成木弘子	アンケートの回答はすべての項目で「強くそう思う」「そう思う」が8割となっており、好評をしていただきありがとうございます。一方、「どちらともいえない」「そうは思わない」を合わせて1割程を超える項目が、7項目に渡っています。自由記載でも資料が分かりにくいという意見が複数ありました。具体的な改善部分をご記入いただいておりますが、5名の教員が担当しているので、具体的な改善をすることが困難ですが、配布資料に関してはより分かりやすい資料作りを心掛けるようにいたします。また、「学習内容が分かりにくかった」「試験が難しかった」という意見も複数ありました。この科目は、単独で存在している科目ではなく、コミュニティ論Ⅰ、コミュニティケアⅠの科目の上に成り立っている科目です。既修得の知識を基盤にしていますので、講義でその旨を説明したり、復習したりしましたが、コミュニティケアを学んでいく上での科目の位置づけを、さらに明確に説明するように努力いたします。各自の既修得科目の復習も十分にした上で履修して下さるよう、ご協力をお願いいたします。
2L0060	コミュニティケアⅢ (在宅看護学)	藤川あや	「課題が多い」、「課題の評価が低い」とのご意見をいただきました。どれも学修の上で必要な課題ですが、量が多く負担が大きかったとのことから、今後は課題の内容を検討していきます。また、評価に関しては課題の難易度やグループで課題に取り組む際の個人の貢献度に応じて評価を検討していきます。加えて、ポイントを明確にした講義に努めていきます。
2M0010	慢性期ケア	仁昌寺貴子	授業改善アンケートへのご協力、ありがとうございました。全体として高い評価をいただき、成人看護学教員一同、嬉しく思います。資料について、大事なところは穴埋めにしてほしいとコメントをいただきました。今後は、みなさんが能動的に学修を進められるように、資料や講義中の説明で大事なポイントを伝えていきたいと思います。
2M0020	急性期ケア	奥原秀盛	授業改善アンケートへのご協力、有難うございました。全体として高い評価をいただき、成人看護学教員一同、嬉しく思います。ポートフォリオを紹介しながらの授業が良かったとのコメントも頂き、本講義をきっかけに皆さんのポートフォリオ作成が拡充していくことを願っています。参考資料画像の画質向上を求めるご意見もありましたので、今後は配布資料を含め、画質向上に努めたいと思います。
2M0030	緩和・終末期ケア	奥原秀盛	授業改善アンケートへのご協力、有難うございました。人間が死ぬことの意味や自分の死生観を考える機会になった、大切な内容なので2単位にして欲しいとのご意見をいただき、大変嬉しく思います。また教員の臨床での経験談にも興味をもてただけたようなので、今後も程良く入れ込みたいと思います。一方、図の資料が見にくいとご指摘もありましたので、今後は配布資料を含め、画質向上に努めたいと思います。
2N0010	発達看護学概論	喜多 里己	アンケートへのご回答ありがとうございました。・グループワークがそれまでの授業のまとめになって良かったなどのご意見をいただき、ありがとうございました。・古い理論を学ぶことへのご意見がありました。クリティカルに考えることは大切です。しかし古い理論は役立たないではなく、先駆者の理論が現代にどのように通じているか否か両面があることと、その時代に理論を説いた偉大さも理解するようにして下さるとうれしいです。・ご指摘のあったことについて、次年度、改善していきたいと思います。
2N0020	発達看護学（成人期の看護）	奥原秀盛	授業改善アンケートへのご協力、有難うございました。学んだ理論について学生同士説明し合う方法が面白く、ずっと聞いているよりも理解が深まることのご意見を頂きました。今後も学生同士話し合う、あるいは説明しあう時間を多く取り入れていきたいと思っております。授業変更が多く混乱したので、オンデマンド授業も検討して欲しいとの貴重なご意見を頂きました。今後は、体調管理に留意すると共に、オンデマンドの活用も検討致します。

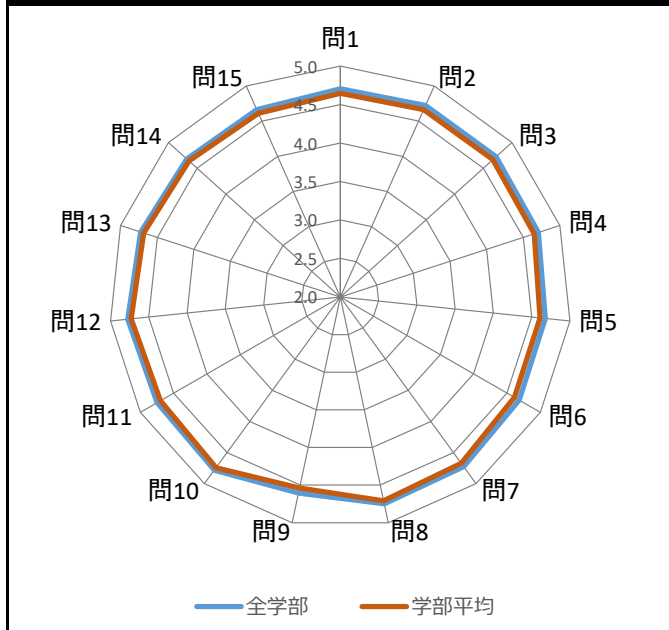
2P0010	国際看護学（異文化とケア含）	織方 愛	アンケートへの回答とコメントをありがとうございました。良かった点として、コメントスクリーンの活用についてコメントがすぐ反映され質問しやすかったこと、資料のわかりやすさ、図や写真の活用、驚くような価値観に触れたこと、実務経験のある教員の話で興味がわいたことなどを記載いただき、教員一同工夫したところを評価して頂けてうれしく思います。改善点について、コメントスクリーンでふざける人がいて効果的ではないという意見、資料に文字が多いところ、2・3回目はどこが重要なかわからなかったという意見がありました。文字の大きさや重要な点を強調する等は改善を進めていきます。コメントスクリーンについては、ご指摘の通り、学生の善意に基づいて運営しています。効果的な活用ができるよう、協力していけたらと思います。
2P0030	災害看護論	内木美恵	授業改善アンケートから、皆さんが主体的に学修を進めておられたことがわかりました。ペアワークで学びの共有できた、教員の体験談が学習内容の理解に役立った、わかりやすかった、2コマ続きの授業だったが手遊びや脳の活性化を促す体操などの実施があり集中できたことなどたくさんのご意見をいただきました。今後も継続していきたいと思います。また、2コマ連続は集中力が切れてしまうこと、少し難しい内容があったことなどについてご意見を頂きましたので、改善していきます。貴重な意見をありがとうございました。次年度の授業に活かしていきたいと思います。
2Q0030	応用看護学特論Ⅰ	小宮敬子	この科目を選択した学生は少数でしたが、皆さんのコメントにあるように、少人数だからこそ、いろいろなプログラムを行うことができ、充実した授業になったと思います。学生の皆さんも、ご自身の関心に即して学びを深めることができていました。ここで学んだことを、ぜひ、今後の経験に活かしてってください。
2Q0040	応用看護学特論Ⅱ	喜多 里己	アンケートへのご回答ありがとうございました。・学生さんが関心を持って選択された科目でしたので、正直、ドキドキしていました。皆さんと活気のあるディスカッションができて本当に嬉しかったです。ご意見にはなかったのですが、みなさんの最終発表とディスカッションの時間にもっと時間を取れなかったのが反省です。次回に活かしていきます。
2T0010	公衆衛生看護活動展開論	成木弘子	アンケートの回答14項目の内、12項目は学部平均以上という高い評価をいただきありがとうございます。保健師の専門科目として最初の講義で病院でのベッドサイドケアから思考の転換が必要な科目だったにもかかわらず、真剣に取り組んでくださった皆様の学修姿勢に感心しております。学部平均以下だった項目の一つが「授業の内容のわかりやすさ」でした。この科目の内容として設定されている箇所では修正できない部分もあり、試行錯誤をしておりますが、皆様にはご迷惑をおかけする部分が残ります。また、地域看護診断に関して基礎教育の中でのどの程度深めるかという教員の迷いもあり、講義内容が分かりにくくなってしまった可能性があり、今後はさらに改善の努力をいたします。また、平均以下だった項目のもう一つは「この授業は自分にとって価値があるか」に関してです。保健師国家試験に重要な講義だったので、このように感じた場合は、オフィスアワーなどを活用して個別に相談して下さるようお願いいたします。

学部名	さいたま看護学部		履修者数	1364	回答率	
			紙	1270	93%	93%
			WEB	0	0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。							4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。							4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。							4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。							4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。							4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。							4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。							4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。							4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。							4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。							4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。							4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。							4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。							4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。							4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。							4.61	4.66
問1～15全問平均								4.66	4.71

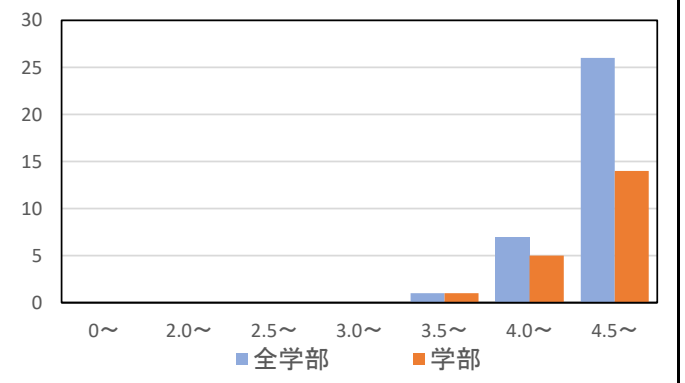
■ 質問別得点



グラフ凡例	配点	問1～15
	5	強く思う
	4	そう思う
	3	どちらともいえない
	2	そうは思わない
	1	全くそうは思わない
	-	該当なし
	-	無回答/不明

<質問別回答内訳>
・グラフ内数字は回答数
(3%未満は非表示)

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布

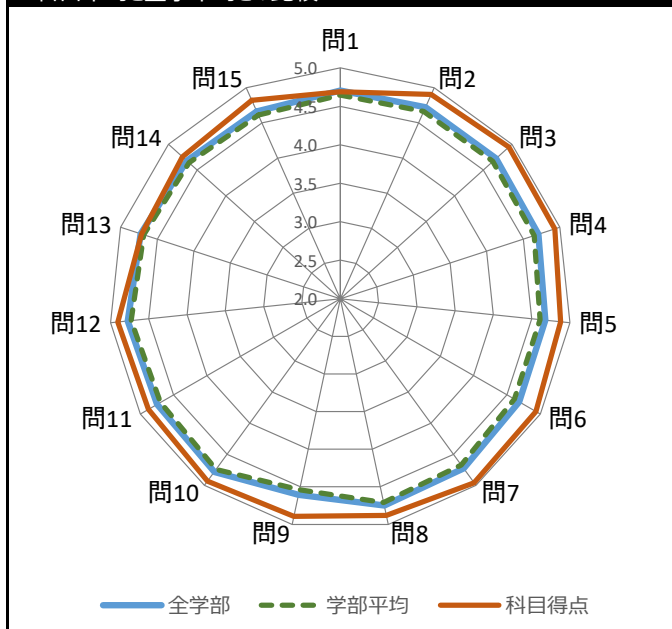


科目名	身体運動実技	[2B0080]	履修者数	83	回答率	
教員名	白井 美穂		紙	74	89.2%	89.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 3% 'Disagree', 26% 'No opinion']						4.69	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree', 7% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.91	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree', 4% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.95	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree', 5% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.93	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 9% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.88	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree', 5% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.93	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree', 3% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.96	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 9% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.88	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree', 8% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.89	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree', 5% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.93	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 9% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.88	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree', 5% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.91	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 29% 'No opinion']						4.72	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree', 9% 'Agree', 3% 'Disagree', 27% 'No opinion']						4.76	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 26% 'No opinion']						4.82	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.87	4.66	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

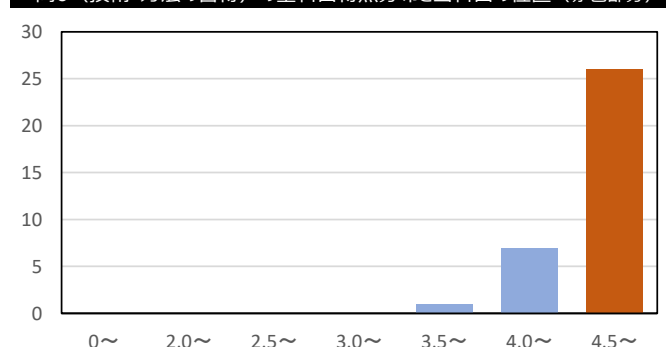


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Grey]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

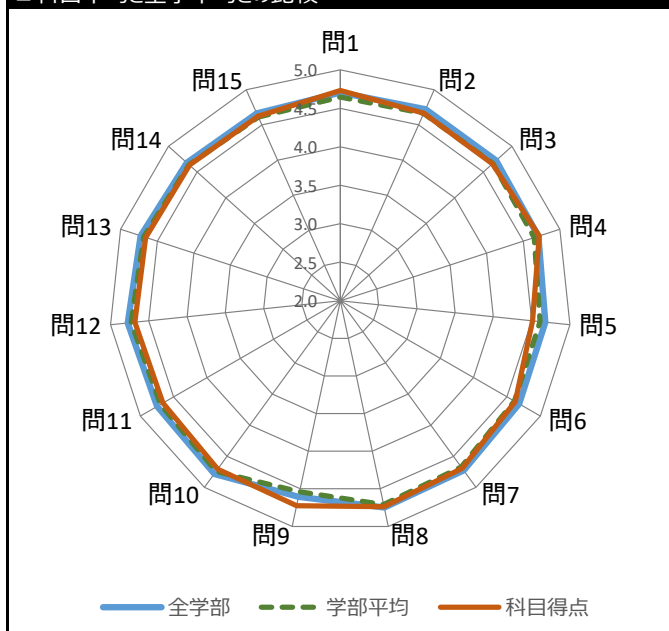


科目名	英語RW I	[2F0022]	履修者数	47	回答率	
教員名	遠藤 花子		回 紙	41	87.2%	87.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 32 blue, 7 green, 2 orange]						4.73	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 27 blue, 11 green, 2 orange]						4.67	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 30 blue, 9 green, 2 orange]						4.66	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 29 blue, 9 green, 2 orange]						4.72	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 27 blue, 10 green, 3 orange]						4.51	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 28 blue, 10 green, 2 orange]						4.63	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 29 blue, 8 green, 2 orange]						4.69	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 29 blue, 8 green, 3 orange]						4.74	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 30 blue, 9 green, 2 orange]						4.73	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 31 blue, 8 green, 2 orange]						4.71	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 30 blue, 9 green, 2 orange]						4.66	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 31 blue, 8 green, 2 orange]						4.68	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 30 blue, 8 green, 3 orange]						4.66	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 31 blue, 7 green, 2 orange]						4.63	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 30 blue, 7 green, 2 orange]						4.63	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.67	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

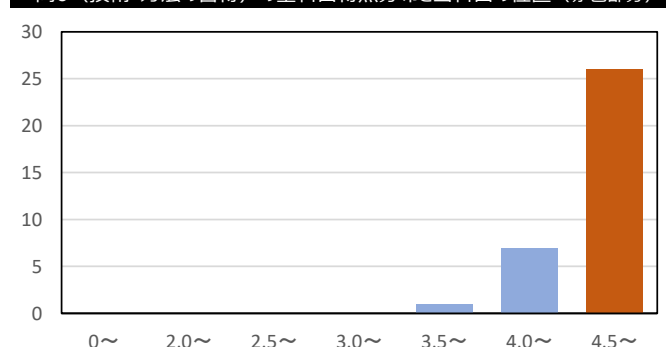


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

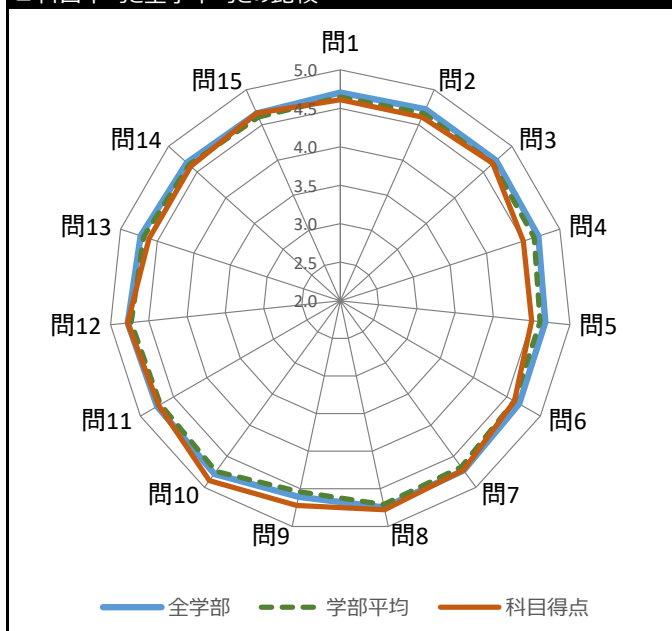


科目名	英語LS	[2F0051]	履修者数	22	回答率	
教員名	Edwards Wurzinger Adriana Edith		回 答 数	紙 18	81.8%	81.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB 0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 12 blue, 5 green, 1 orange]						4.61	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 12 blue, 5 green, 1 orange]						4.61	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 12 blue, 6 green, 1 orange]						4.67	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 10 blue, 7 green, 1 orange]						4.50	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 10 blue, 7 green, 1 orange]						4.50	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 12 blue, 5 green, 1 orange]						4.61	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 14 blue, 3 green, 1 orange]						4.72	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 14 blue, 4 green, 1 orange]						4.78	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 13 blue, 5 green, 1 orange]						4.72	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 16 blue, 2 green, 1 orange]						4.89	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 13 blue, 5 green, 1 orange]						4.72	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 14 blue, 4 green, 1 orange]						4.78	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 13 blue, 3 green, 2 orange]						4.61	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 13 blue, 3 green, 2 orange]						4.61	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 13 blue, 4 green, 1 orange]						4.67	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.67	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

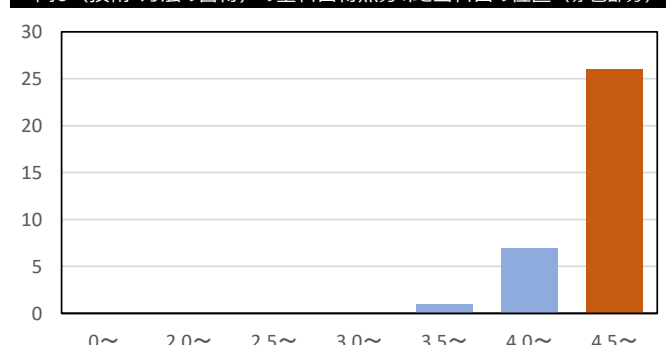


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

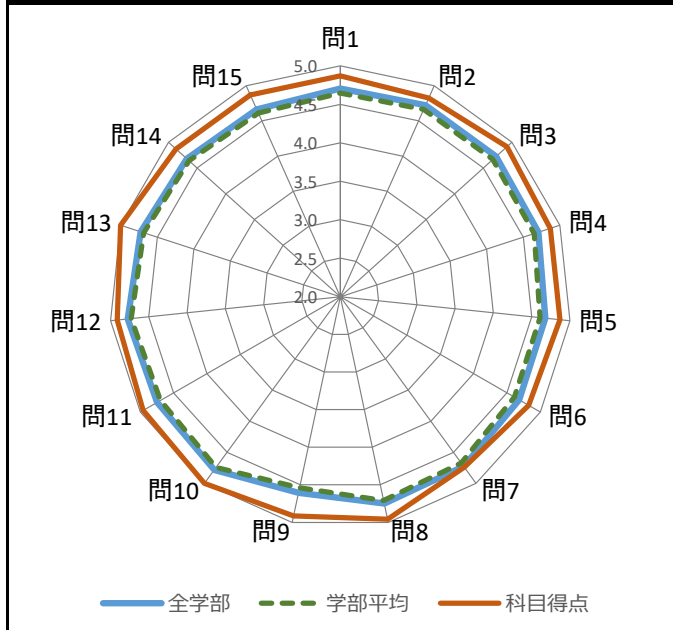


科目名	英語LS	[2F0052]	履修者数	26	回答率	
教員名	David Brokema		回答数	紙	23	88.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
					88.5%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart: 20 blue, 3 green]						4.87	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart: 19 blue, 4 green]						4.83	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart: 21 blue, 2 green]						4.91	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart: 20 blue, 3 green]						4.87	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart: 20 blue, 3 green]						4.87	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart: 19 blue, 4 green]						4.83	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart: 21 blue, 1 orange, 1 red]						4.74	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart: 22 blue, 1 green]						4.96	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart: 21 blue, 2 green]						4.91	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart: 23 blue]						5.00	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart: 22 blue, 1 green]						4.96	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart: 21 blue, 2 green]						4.91	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart: 23 blue]						5.00	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart: 20 blue, 3 green]						4.87	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart: 20 blue, 3 green]						4.87	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.89	4.66	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

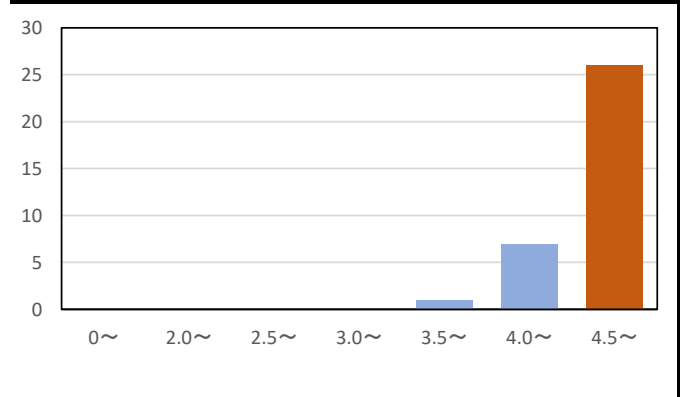


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

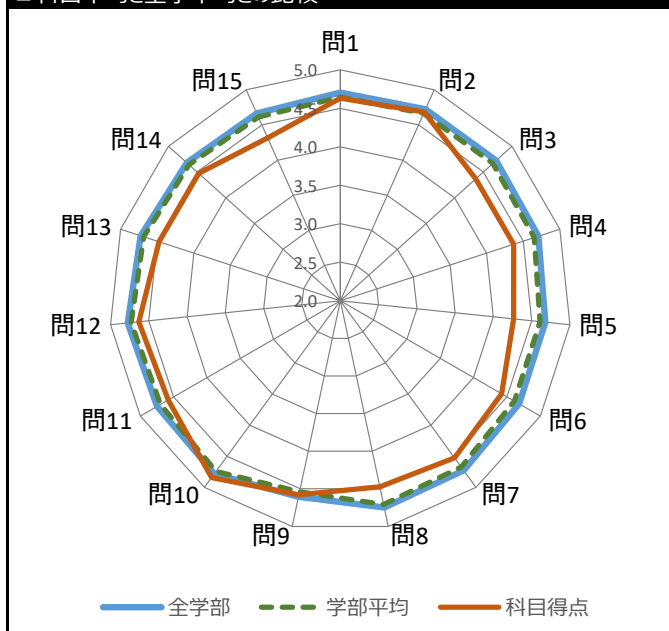


科目名	英語LS	[2F0053]	履修者数	20	回答率	
教員名	Edwards Wurzinger Adriana Edith		回答数	紙	19	95.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
					95.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 13 (blue), 5 (green), 1 (yellow), 1 (orange)]						4.63	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Stacked bar chart showing 14 (blue), 4 (green), 1 (yellow), 1 (orange)]						4.68	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Stacked bar chart showing 11 (blue), 5 (green), 2 (yellow), 1 (orange)]						4.37	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Stacked bar chart showing 12 (blue), 3 (green), 3 (yellow), 1 (orange)]						4.37	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Stacked bar chart showing 12 (blue), 3 (green), 2 (yellow), 1 (orange), 1 (red)]						4.26	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Stacked bar chart showing 12 (blue), 4 (green), 2 (yellow), 1 (orange)]						4.42	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Stacked bar chart showing 12 (blue), 5 (green), 2 (yellow), 1 (orange)]						4.53	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Stacked bar chart showing 13 (blue), 3 (green), 2 (yellow), 1 (orange)]						4.47	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Stacked bar chart showing 14 (blue), 3 (green), 1 (yellow), 1 (orange), 1 (red)]						4.58	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 16 (blue), 3 (green)]						4.84	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Stacked bar chart showing 14 (blue), 3 (green), 1 (yellow), 1 (orange), 1 (red)]						4.58	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart showing 14 (blue), 3 (green), 2 (yellow), 1 (orange)]						4.63	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Stacked bar chart showing 14 (blue), 2 (green), 2 (yellow), 1 (orange), 1 (red)]						4.47	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Stacked bar chart showing 12 (blue), 4 (green), 3 (yellow), 1 (orange)]						4.47	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Stacked bar chart showing 12 (blue), 2 (green), 4 (yellow), 1 (orange), 1 (red)]						4.32	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.51	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

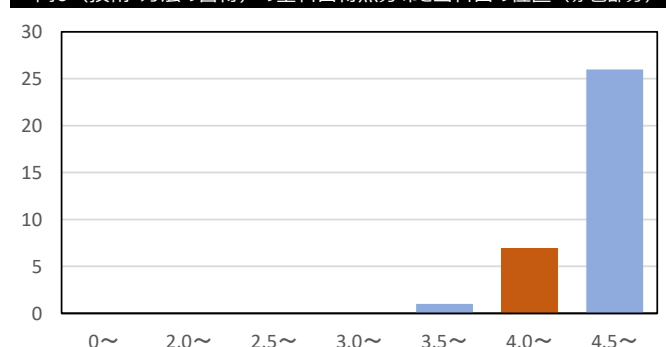


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Red]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

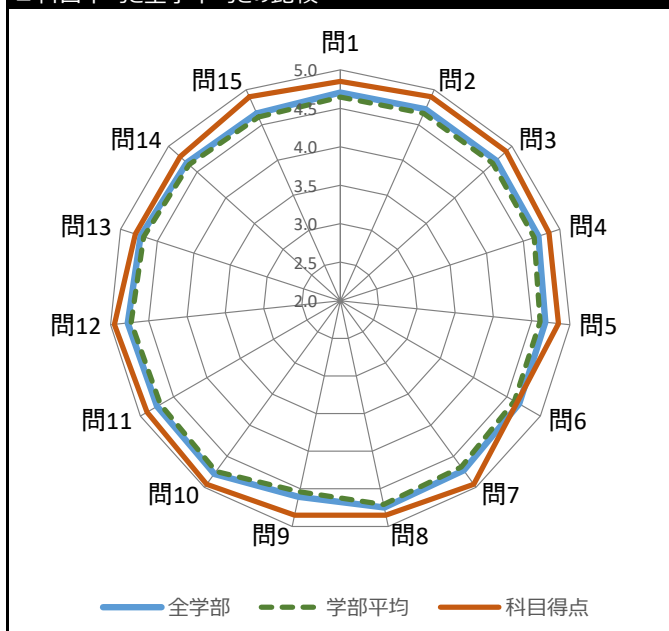


科目名	英語LS	[2F0054]	履修者数	21	回答率	
教員名	David Brokema		回答数	紙	20	95.2%
学部	さいたま看護学部	授業形態		WEB	0	0.0%
					95.2%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 17 blue and 3 green segments]						4.85	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 18 blue and 2 green segments]						4.90	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 18 blue and 2 green segments]						4.90	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 17 blue and 3 green segments]						4.85	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 17 blue and 3 green segments]						4.85	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 15 blue, 3 green, and 2 yellow segments]						4.65	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 19 blue and 1 green segment]						4.95	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 18 blue, 1 green, and 1 yellow segment]						4.85	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 18 blue, 1 green, and 1 yellow segment]						4.85	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 19 blue and 1 green segment]						4.95	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 18 blue and 2 green segments]						4.90	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 19 blue and 1 green segment]						4.95	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 17 blue, 2 green, and 1 yellow segment]						4.80	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 17 blue, 2 green, and 1 yellow segment]						4.80	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 18 blue and 2 green segments]						4.90	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.86	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

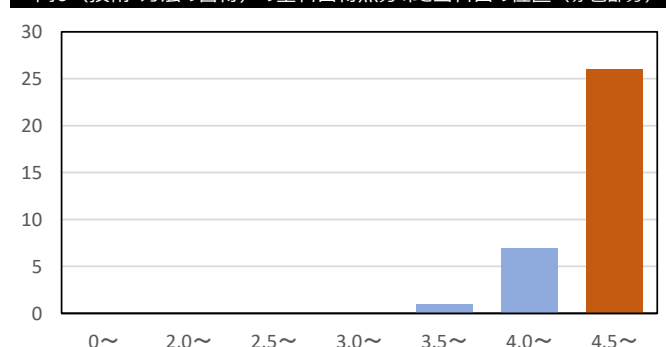


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Grey]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

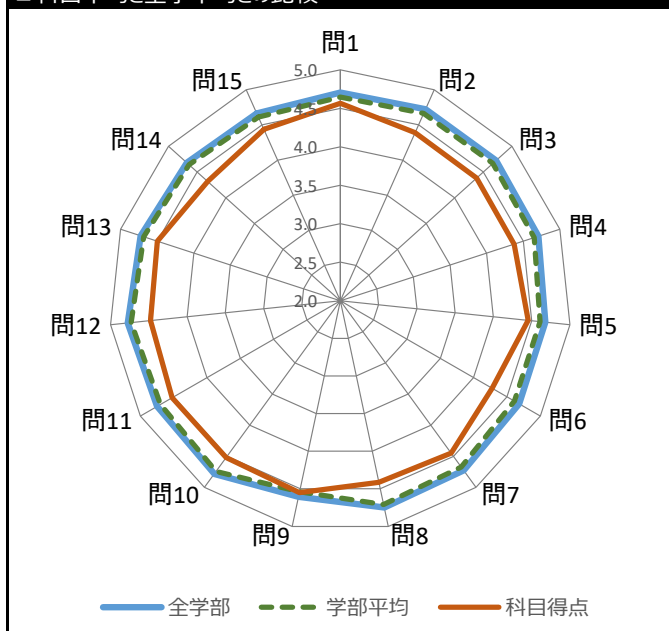


科目名	英語文献を読む	[2F0060]	履修者数	26	回答率	
教員名	遠藤 花子		回 紙	23	88.5%	88.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	
			回数			

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar Chart: 13 (Blue), 10 (Green)]						4.57	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 9 (Blue), 7 (Green), 2 (Yellow), 4 (White), 1 (Grey)]						4.39	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Stacked Bar Chart: 11 (Blue), 7 (Green), 3 (Yellow), 2 (White), 1 (Grey)]						4.38	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Stacked Bar Chart: 8 (Blue), 6 (Green), 2 (Yellow), 5 (White), 2 (Grey)]						4.38	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Stacked Bar Chart: 11 (Blue), 10 (Green), 1 (Yellow), 1 (White), 1 (Grey)]						4.45	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Stacked Bar Chart: 8 (Blue), 8 (Green), 1 (Yellow), 1 (White), 1 (Grey), 3 (White), 2 (Grey)]						4.28	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 11 (Blue), 7 (Green), 2 (Yellow), 2 (White), 1 (Grey)]						4.45	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 9 (Blue), 6 (Green), 2 (Yellow), 5 (White), 1 (Grey)]						4.41	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Stacked Bar Chart: 11 (Blue), 9 (Green), 3 (White)]						4.55	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar Chart: 13 (Blue), 9 (Green), 1 (Yellow), 1 (White), 1 (Grey)]						4.52	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Stacked Bar Chart: 12 (Blue), 8 (Green), 1 (Yellow), 1 (White), 1 (Grey), 1 (White), 1 (Grey)]						4.52	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked Bar Chart: 12 (Blue), 10 (Green), 1 (Yellow), 1 (White), 1 (Grey)]						4.48	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Stacked Bar Chart: 12 (Blue), 9 (Green), 1 (Yellow), 1 (White), 1 (Grey)]						4.50	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Stacked Bar Chart: 10 (Blue), 9 (Green), 3 (Yellow), 1 (White), 1 (Grey)]						4.32	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Stacked Bar Chart: 8 (Blue), 7 (Green), 1 (Yellow), 5 (White), 2 (Grey)]						4.44	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.44	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

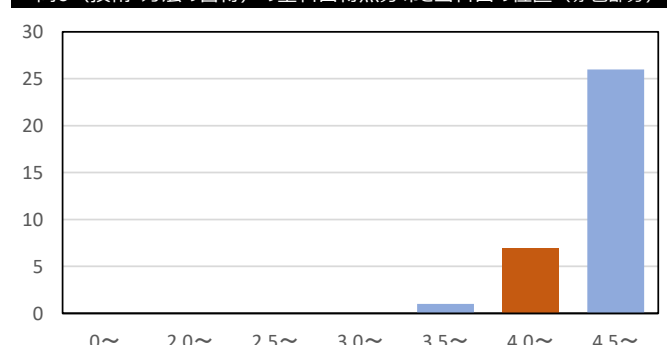


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

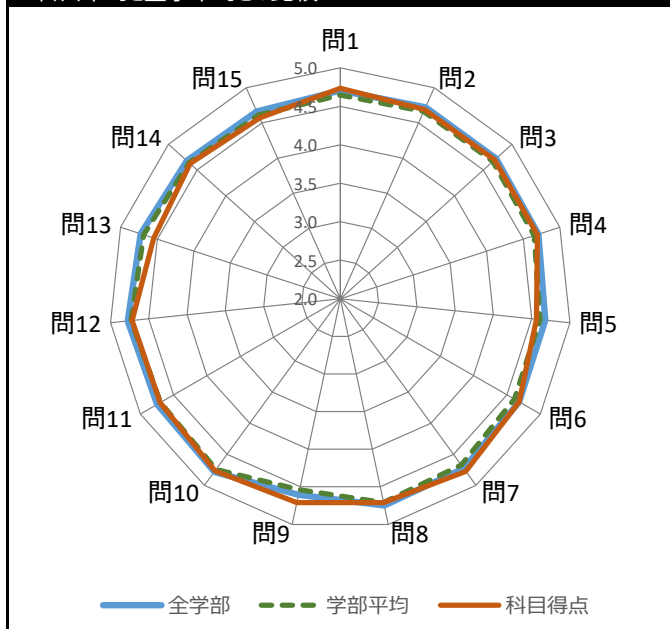


科目名	中国語 I	[2F0070]	履修者数	70	回答率	
教員名	王 牧		回 紙	64	91.4%	91.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked Bar: 50 (Blue), 11 (Green), 3 (Yellow)]						4.73	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Stacked Bar: 47 (Blue), 11 (Green), 4 (Yellow), 2 (Orange)]						4.69	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Stacked Bar: 48 (Blue), 11 (Green), 4 (Yellow), 2 (Orange)]						4.70	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Stacked Bar: 48 (Blue), 9 (Green), 5 (Yellow), 2 (Orange)]						4.69	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Stacked Bar: 46 (Blue), 10 (Green), 6 (Yellow), 2 (Orange)]						4.56	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Stacked Bar: 48 (Blue), 10 (Green), 5 (Yellow)]						4.68	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Stacked Bar: 52 (Blue), 6 (Green), 4 (Yellow), 2 (Orange)]						4.77	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Stacked Bar: 49 (Blue), 8 (Green), 5 (Yellow), 2 (Orange)]						4.71	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Stacked Bar: 50 (Blue), 7 (Green), 4 (Yellow), 2 (Orange)]						4.71	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked Bar: 53 (Blue), 7 (Green), 4 (Yellow)]						4.77	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Stacked Bar: 50 (Blue), 9 (Green), 5 (Yellow)]						4.70	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked Bar: 51 (Blue), 8 (Green), 5 (Yellow)]						4.72	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Stacked Bar: 47 (Blue), 6 (Green), 10 (Yellow)]						4.55	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Stacked Bar: 46 (Blue), 12 (Green), 6 (Yellow)]						4.63	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Stacked Bar: 46 (Blue), 10 (Green), 5 (Yellow), 1 (Orange)]						4.57	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.68	4.66	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

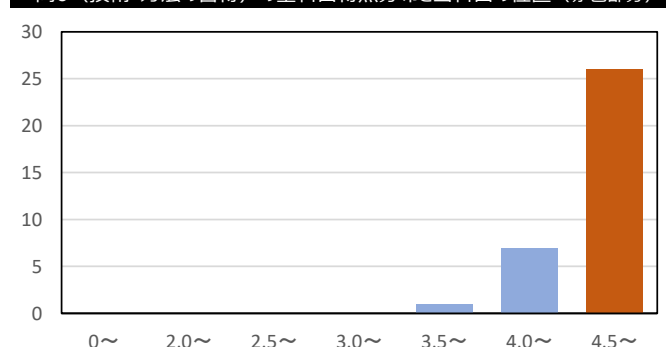


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Grey]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

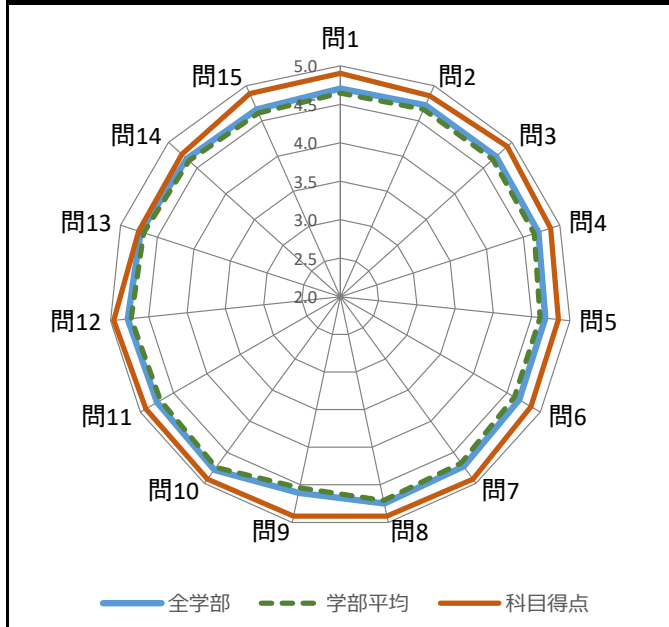


科目名	韓国語 I	[2F0090]	履修者数	87	回答率	
教員名	高 昌弘		回 紙	73	83.9%	83.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 65% blue, 7% green]						4.90	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 61% blue, 10% green]						4.86	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 66% blue, 6% green]						4.92	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 63% blue, 7% green]						4.87	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 63% blue, 9% green]						4.85	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 62% blue, 10% green]						4.86	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 67% blue, 5% green]						4.93	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 65% blue, 6% green]						4.92	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 65% blue, 6% green]						4.92	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 68% blue, 5% green]						4.93	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 66% blue, 6% green]						4.92	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 70% blue, 3% green]						4.96	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 60% blue, 10% green]						4.75	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 60% blue, 11% green]						4.77	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 64% blue, 8% green]						4.89	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.88	4.66	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

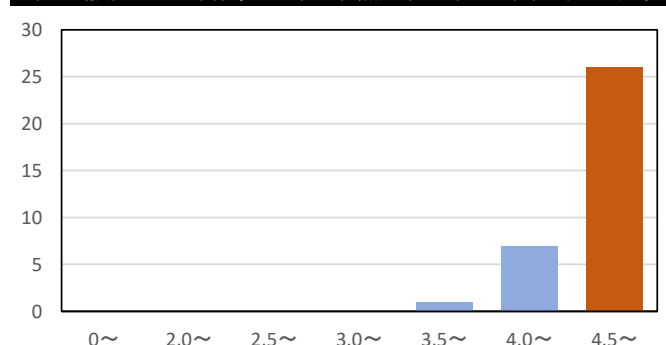


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	そう思う
[Yellow]	3	どちらでもない
[Orange]	2	そうは思わない
[Grey]	1	全くそうは思わない
[White]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

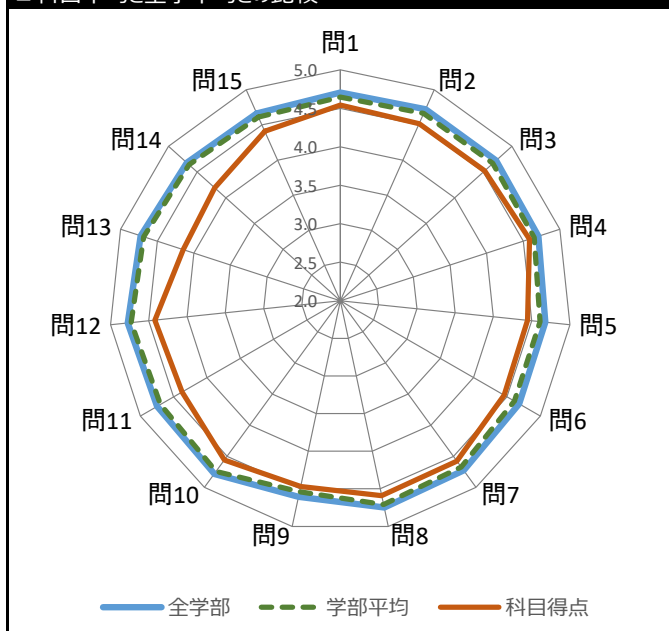


科目名	看護技術論 I	[2J0010]	履修者数	88	回答率	
教員名	松本 佳子		回 紙	83	94.3%	94.3%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Stacked bar chart showing 49% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 4% 'Disagree', 17% 'Strongly disagree']						4.54	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Stacked bar chart showing 50% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 5% 'Disagree', 18% 'Strongly disagree']						4.52	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Stacked bar chart showing 52% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 5% 'Disagree', 20% 'Strongly disagree']						4.52	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Stacked bar chart showing 56% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 3% 'Disagree', 20% 'Strongly disagree']						4.59	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Stacked bar chart showing 52% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 4% 'Disagree', 22% 'Strongly disagree']						4.45	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Stacked bar chart showing 51% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 6% 'Disagree', 20% 'Strongly disagree']						4.46	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Stacked bar chart showing 57% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 5% 'Disagree', 19% 'Strongly disagree']						4.58	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Stacked bar chart showing 57% 'Strongly agree', 22% 'Agree', 1% 'Disagree', 20% 'Strongly disagree']						4.59	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Stacked bar chart showing 53% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 5% 'Disagree', 21% 'Strongly disagree']						4.47	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Stacked bar chart showing 51% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 5% 'Disagree', 18% 'Strongly disagree']						4.56	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Stacked bar chart showing 45% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 9% 'Disagree', 19% 'Strongly disagree']						4.37	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Stacked bar chart showing 50% 'Strongly agree', 21% 'Agree', 9% 'Disagree', 20% 'Strongly disagree']						4.42	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Stacked bar chart showing 49% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 11% 'Disagree', 27% 'Strongly disagree']						4.14	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Stacked bar chart showing 48% 'Strongly agree', 12% 'Agree', 17% 'Disagree', 23% 'Strongly disagree']						4.19	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Stacked bar chart showing 47% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 8% 'Disagree', 19% 'Strongly disagree']						4.41	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.45	4.66	4.71

■ 科目平均と全学平均との比較

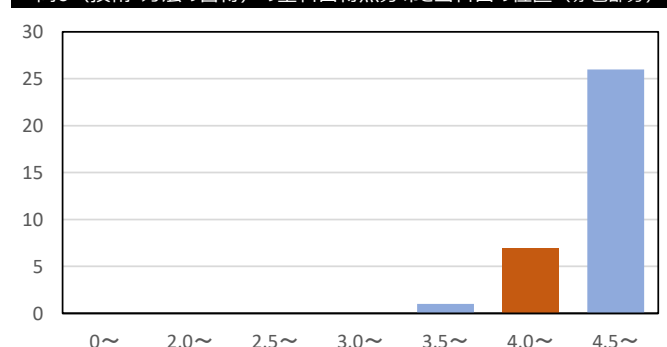


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

< 質問別回答内訳と得点 >

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

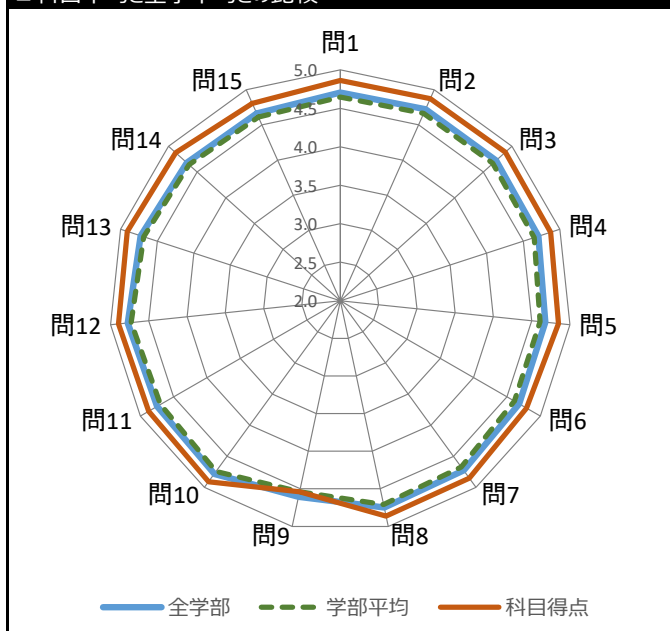


科目名	看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)	[2J0030]	履修者数	88	回答率	
教員名	中村 滋子		回 紙	87	98.9%	98.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■ 質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部			
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	75						12	4.86	4.65	4.70		
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	76						11	4.87	4.66	4.72		
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	77						10	4.89	4.67	4.72		
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	76						11	4.87	4.65	4.71		
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	74						13	4.85	4.61	4.68		
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	71						14	4.79	4.61	4.68		
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	75						11	4.85	4.67	4.73		
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	75						12	4.86	4.71	4.75		
9	演習の時間配分は適切だった。	61						17	4	5	4.54	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	80						6	4.91	4.74	4.78		
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	76						11	4.87	4.70	4.75		
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	78						9	4.90	4.73	4.78		
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	79						8	4.91	4.68	4.73		
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	76						11	4.87	4.64	4.68		
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	71						15	4.80	4.61	4.66		
問1~15全問平均								4.84	4.66	4.71			

■ 科目平均と全学平均との比較

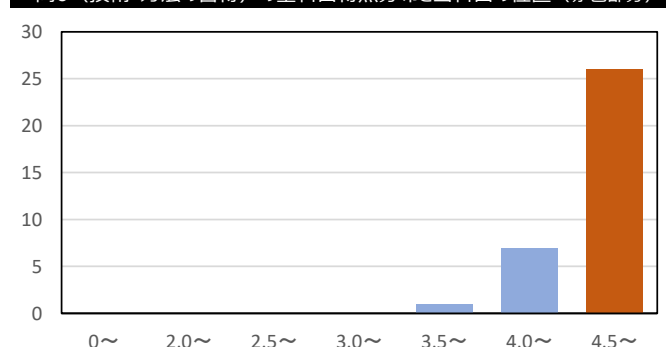


グラフ凡例	配点	問1~15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■ 問6 (技術・方法の習得) の全科目得点分布と当科目の位置 (赤色部分)

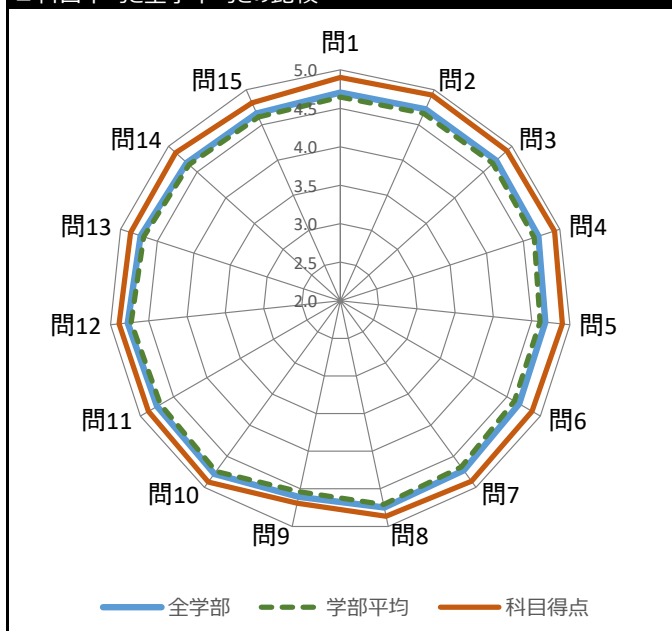


科目名	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)	[2J0040]	履修者数	88	回答率	
教員名	殿城 友紀		回 紙	81	92.0%	92.0%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部	
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	73						8	4.90	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	75						6	4.93	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	74						7	4.91	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	75						6	4.93	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	73						8	4.90	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	72						8	4.88	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	73						8	4.90	4.67	4.73
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	71						9	4.86	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	61						17	4.69	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	74						7	4.91	4.74	4.78
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	72						8	4.88	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	73						7	4.89	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	72						8	4.86	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	72						8	4.88	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	68						12	4.81	4.61	4.66
問1~15全問平均								4.88	4.66	4.71	

■科目平均と全学平均との比較

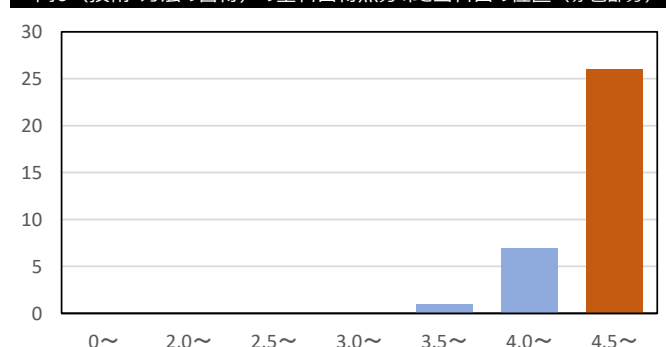


グラフ凡例	配点	問1~15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数(3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

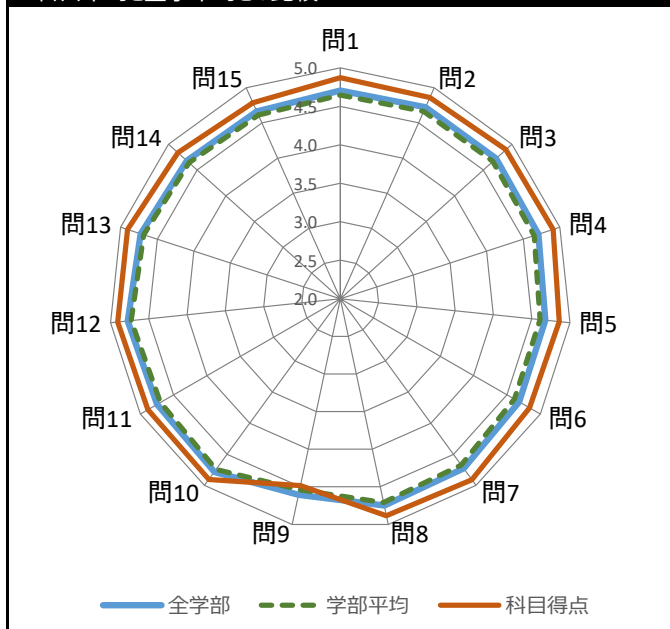


科目名	看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)	[2J0060]	履修者数	88	回答率	
教員名	殿城 友紀		回 紙	86	97.7%	97.7%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部			
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	75						11	4.87	4.65	4.70		
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	74						12	4.86	4.66	4.72		
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	78						7	4.90	4.67	4.72		
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	78						8	4.91	4.65	4.71		
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	74						12	4.86	4.61	4.68		
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	74						10	4.84	4.61	4.68		
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	78						8	4.91	4.67	4.73		
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	76						10	4.88	4.71	4.75		
9	演習の時間配分は適切だった。	55						20	6	4	4.48	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	77						8	4.91	4.74	4.78		
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	76						10	4.88	4.70	4.75		
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	78						8	4.91	4.73	4.78		
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	78						8	4.91	4.68	4.73		
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	73						12	4.84	4.64	4.68		
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	67						18	4.79	4.61	4.66		
問1~15全問平均								4.85	4.66	4.71			

■科目平均と全学平均との比較

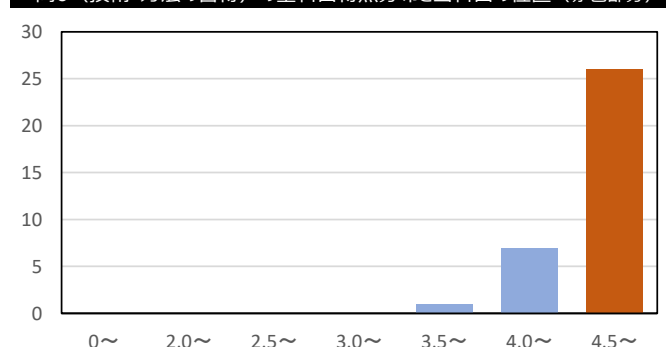


グラフ凡例	配点	問1~15
5	強く思う	
4	そう思う	
3	どちらともいえない	
2	そうは思わない	
1	全くそうは思わない	
-	該当なし	
-	無回答/不明	

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

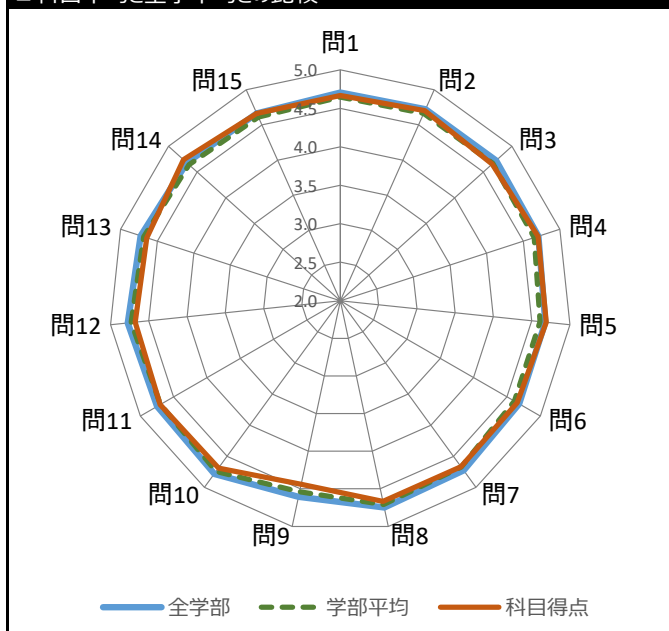


科目名	健康レベル別看護学演習Ⅰ(急性期・慢性期)	[2M0040]	履修者数	88	回答率	
教員名	仁昌寺 貴子		回 紙	84	95.5%	95.5%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.67	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						4.70	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 22% 'Agree']						4.65	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						4.70	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 24% 'Agree']						4.69	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree' and 25% 'Agree']						4.65	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.67	4.67	4.73
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 24% 'Agree']						4.67	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 6% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.44	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 24% 'Agree']						4.69	4.74	4.78
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree' and 23% 'Agree']						4.70	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree' and 25% 'Agree']						4.68	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 56% 'Strongly agree' and 26% 'Agree']						4.64	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.74	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree' and 24% 'Agree']						4.66	4.61	4.66
問1~15全問平均								4.66	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

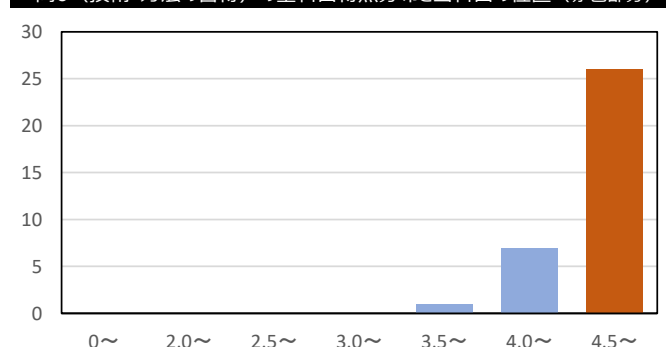


グラフ凡例	配点	問1~15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[White]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

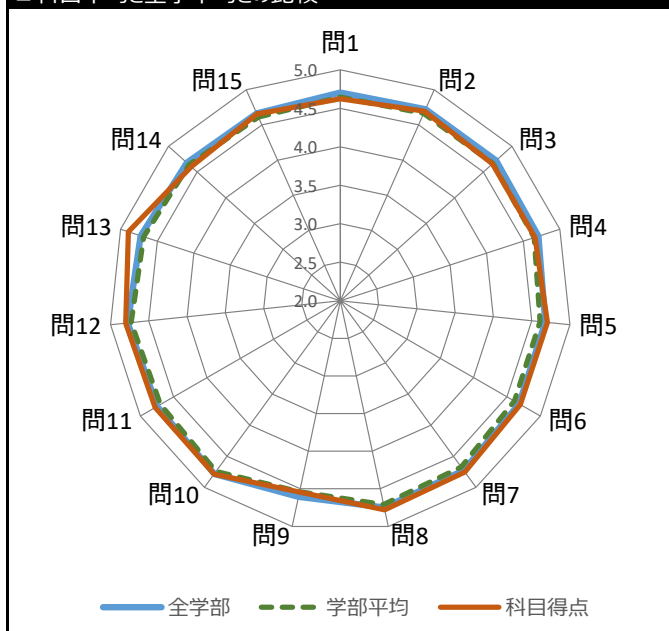


科目名	健康レベル別看護学演習Ⅱ	[2M0050]	履修者数	87	回答率	
教員名	喜多 里己		回 紙	86	98.9%	98.9%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 22% 'Agree']						4.62	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 20% 'Agree']						4.69	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree' and 18% 'Agree']						4.66	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']						4.66	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.71	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree' and 16% 'Agree']						4.70	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']						4.75	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.78	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 5% 'Disagree']						4.54	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 69% 'Strongly agree' and 14% 'Agree']						4.79	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree' and 15% 'Agree']						4.78	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 71% 'Strongly agree' and 13% 'Agree']						4.80	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 78% 'Strongly agree' and 7% 'Agree']						4.90	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 6% 'Disagree']						4.60	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 7% 'Disagree']						4.65	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.71	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

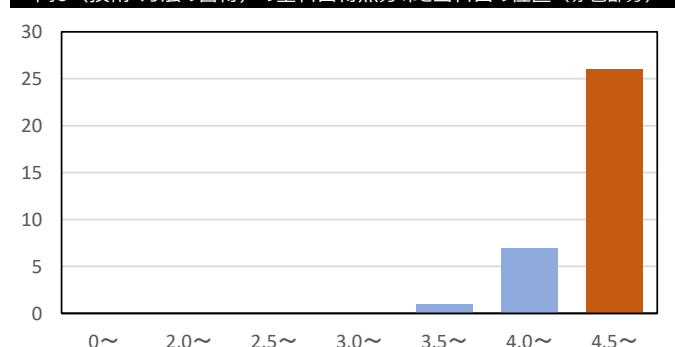


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

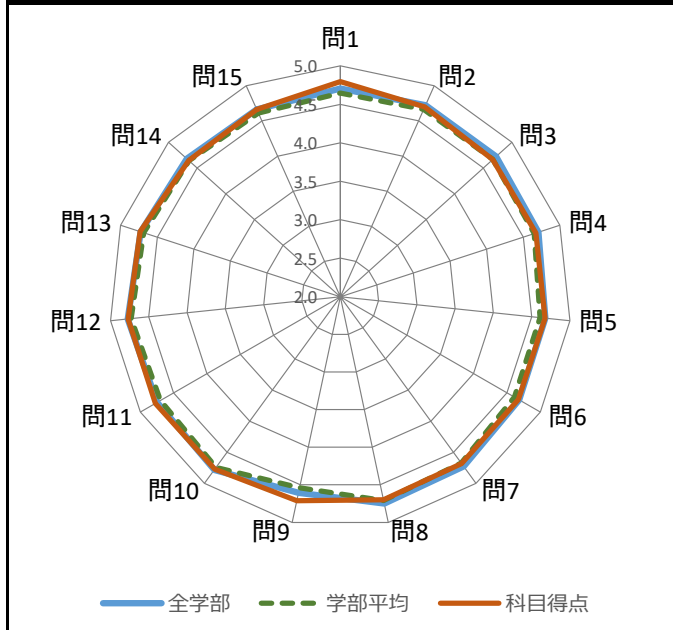


科目名	発達看護学Ⅰ②	[2N0040]	履修者数	87	回答率	
教員名	喜多 里己		回 紙	83	95.4%	95.4%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 66% 'Strongly agree' and 17% 'Agree']						4.80	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.70	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 61% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 4% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.66	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 5% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.67	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 5% 'Disagree', 5% 'Strongly disagree']						4.67	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.67	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.68	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.70	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.71	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.77	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.77	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree', 14% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.77	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.73	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree', 20% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.65	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 19% 'Agree', 4% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.66	4.61	4.66
問1～15全問平均								4.71	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

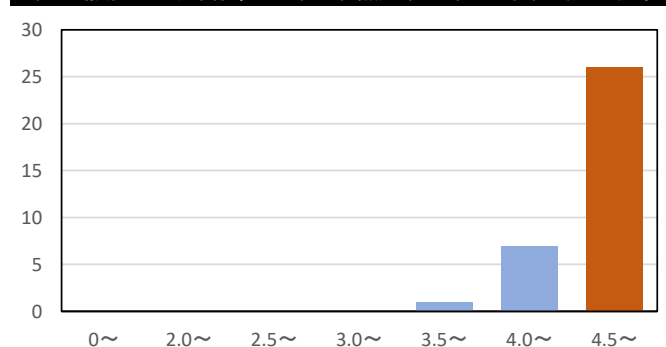


グラフ凡例	配点	問1～15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）

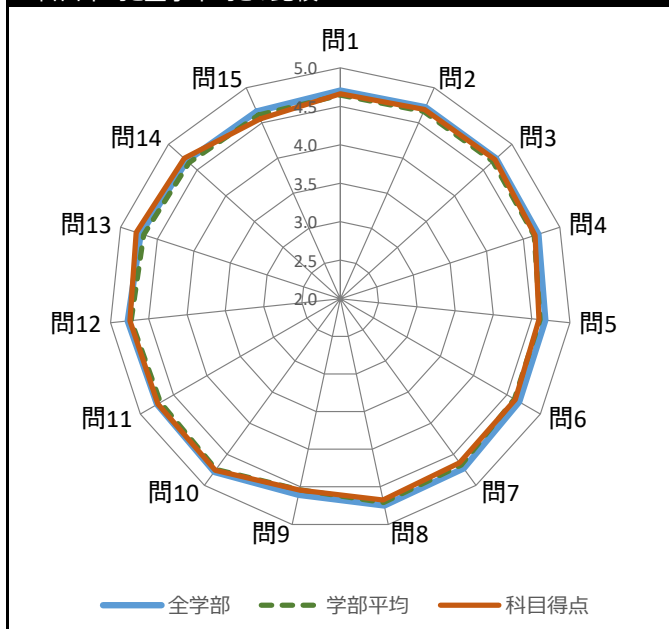


科目名	発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)	[2N0060]	履修者数	87	回答率	
教員名	楠田 智子		回 紙	84	96.6%	96.6%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree' and 21% 'Agree']						4.66	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.69	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 63% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 4% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.70	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 59% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 6% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.66	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 4% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.60	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.63	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 60% 'Strongly agree', 17% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.63	4.67	4.73
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	[Bar chart showing 62% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 4% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.67	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 58% 'Strongly agree', 18% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.54	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 65% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.76	4.74	4.78
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 64% 'Strongly agree', 16% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.73	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 67% 'Strongly agree', 13% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.75	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 70% 'Strongly agree', 11% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.79	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	[Bar chart showing 68% 'Strongly agree', 11% 'Agree', 4% 'Disagree', 4% 'Strongly disagree']						4.73	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 57% 'Strongly agree', 15% 'Agree', 7% 'Disagree', 7% 'Strongly disagree']						4.56	4.61	4.66
問1~15全問平均								4.67	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

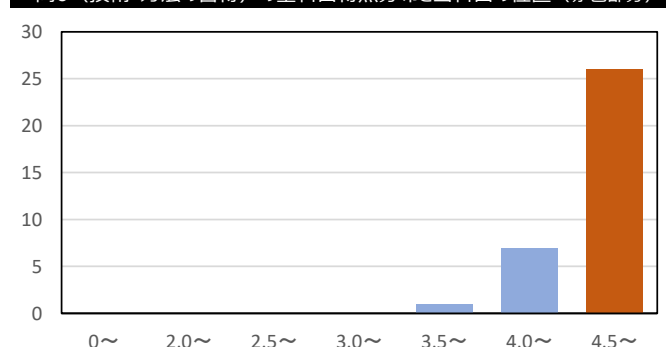


グラフ凡例	配点	問1~15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

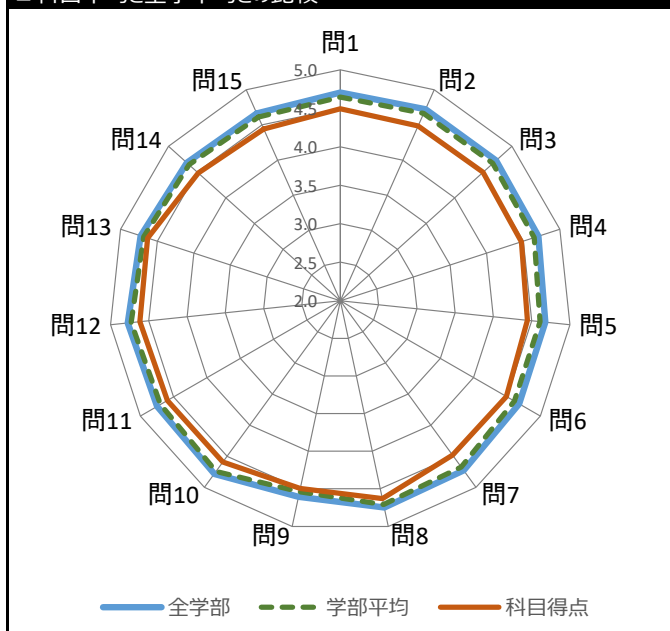


科目名	発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)	[2N0080]	履修者数	87	回答率	
教員名	住谷 ゆかり		回 紙	81	93.1%	93.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree', 29% 'Agree', 6% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.49	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	[Bar chart showing 44% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 6% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.49	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.49	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.47	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 30% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.44	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	[Bar chart showing 46% 'Strongly agree', 26% 'Agree', 7% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.49	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 5% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.48	4.67	4.73
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree', 28% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.63	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 32% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.49	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	[Bar chart showing 51% 'Strongly agree', 27% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.59	4.74	4.78
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	[Bar chart showing 52% 'Strongly agree', 25% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.59	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree', 23% 'Agree', 4% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.62	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	[Bar chart showing 54% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 3% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.63	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスアワーを含む)。	[Bar chart showing 49% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 6% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.48	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	[Bar chart showing 45% 'Strongly agree', 24% 'Agree', 10% 'Disagree', 3% 'Strongly disagree']						4.44	4.61	4.66
問1~15全問平均								4.52	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

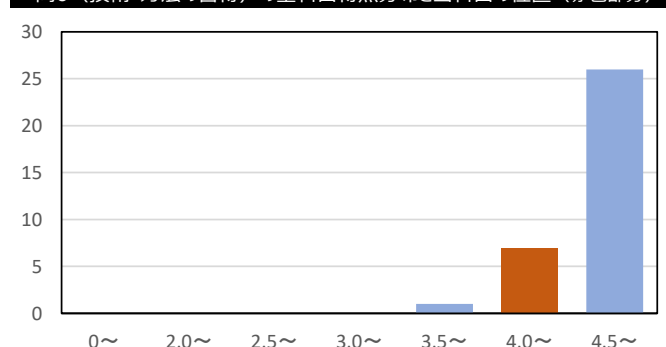


グラフ凡例	配点	問1~15
[Blue]	5	強く思う
[Green]	4	思う
[Yellow]	3	どちらともいえない
[Orange]	2	そうは思わない
[Light Blue]	1	全くそうは思わない
[Grey]	-	該当なし
[Grey]	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

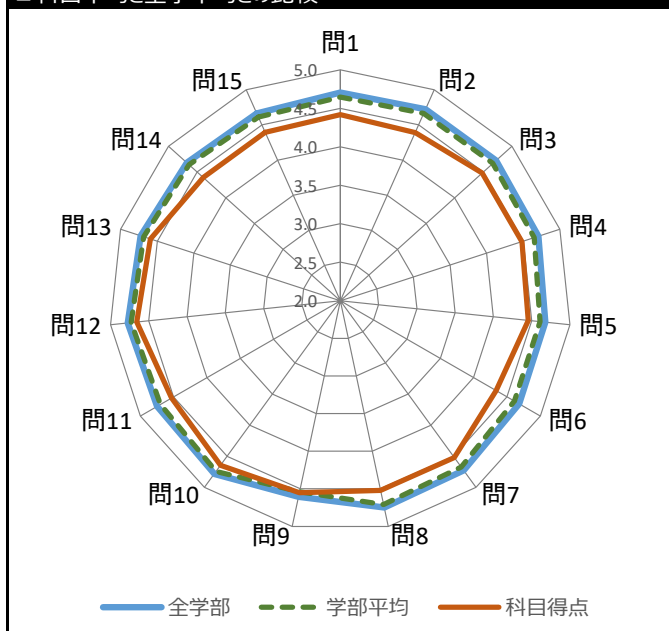


科目名	精神保健看護学Ⅱ(技法)	[200020]	履修者数	87	回答率	
教員名	松本 佳子		回 紙	79	90.8%	90.8%
学部	さいたま看護学部	授業形態	演習	WEB	0	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	44	25	9				4.42	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	41	22	10	4			4.39	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	48	20	7				4.48	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	45	22	7	4			4.48	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	44	28	6				4.46	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	42	23	9				4.34	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	47	25	3				4.52	4.67	4.73
8	演習時の(グループ等の)人数は適切だった。	49	21	5				4.52	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	51	21	4				4.55	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	56	19	3				4.65	4.74	4.78
11	教員(ティーチングアシスタント含む)は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	53	19	4				4.53	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	57	18	3				4.66	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	55	17	6				4.59	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した(オフィスパワーを含む)。	46	21	10				4.39	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	46	15	14	3			4.39	4.61	4.66
問1~15全問平均								4.49	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

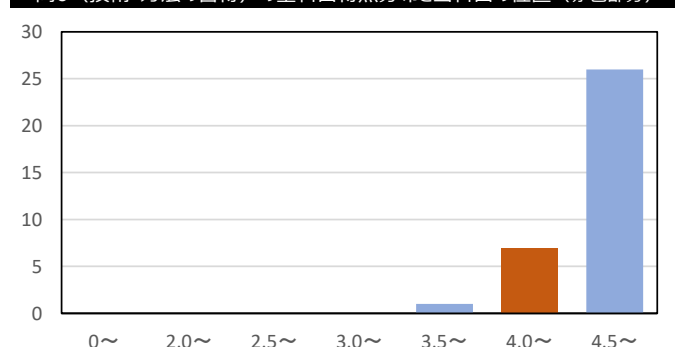


グラフ凡例	配点	問1~15
Blue	5	強く思う
Green	4	そう思う
Yellow	3	どちらともいえない
Orange	2	そうは思わない
Light Blue	1	全くそうは思わない
White	-	該当なし
Grey	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数 (3%未満は非表示)
- ・科目得点アミガケは 科目得点 ≤ 3.5

■問6(技術・方法の習得)の全科目得点分布と当科目の位置(赤色部分)

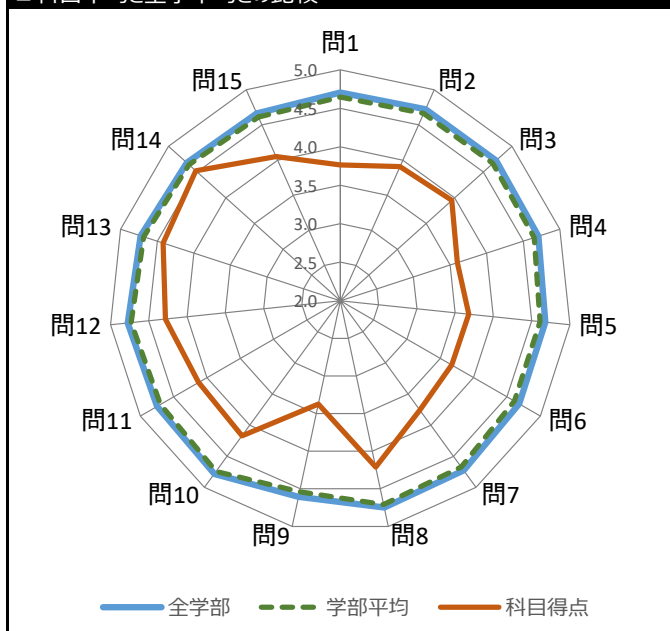


科目名	研究方法論 I	[2S0010]	履修者数	87	回答率	
教員名	吉野 純		紙	81	93.1%	93.1%
学部	さいたま看護学部	授業形態	WEB	0	0.0%	

■質問別回答内訳と得点

番号	内容	0%	20%	40%	60%	80%	100%	科目得点	学部平均	全学部
1	演習で使われたテキスト、配布資料などは授業の理解に役立った。	29	22	18	6	6		3.77	4.65	4.70
2	演習で使用した物品・モデル等は適切だった。	32	17	18	6	3	5	3.91	4.66	4.72
3	教員の話し方やデモンストレーションは適切だった。	35	20	16	7	3		3.95	4.67	4.72
4	技術の説明と、実施する実技の組み合わせは適切だった。	29	15	16	7	10	4	3.60	4.65	4.71
5	演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた。	29	21	15	8	8		3.68	4.61	4.68
6	実践的なレベルで技術および方法を学ぶことができた。	29	18	14	13	5		3.67	4.61	4.68
7	学生への指示・安全への配慮は適切だった。	35	14	12	12	6		3.76	4.67	4.73
8	演習時の（グループ等の）人数は適切だった。	43	15	12	3	3	5	4.21	4.71	4.75
9	演習の時間配分は適切だった。	31	14	8	8	19		3.38	4.54	4.61
10	教員の熱意が伝わってきた。	40	21	15	4			4.17	4.74	4.78
11	教員（ティーチングアシスタント含む）は学生の理解や反応を見ながら進め、質問しやすい状況があった。	43	20	8	5	5		4.12	4.70	4.75
12	教員は学生の質問や発言に適切に回答した。	44	21	12	3			4.28	4.73	4.78
13	私は事前学習をして演習に臨んだ。	49	21	7	4			4.42	4.68	4.73
14	私は授業後に演習内容を復習した（オフィスアワーを含む）。	54	17	7				4.53	4.64	4.68
15	私は技術のプロセスを理解し、原則に基づいて技術を行なえるようになった。	39	18	14	6	3		4.05	4.61	4.66
問1～15全問平均								3.97	4.66	4.71

■科目平均と全学平均との比較

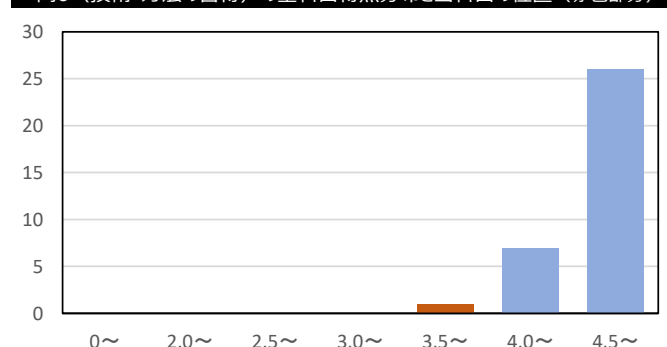


グラフ凡例	配点	問1～15
■	5	強く思う
■	4	そう思う
■	3	どちらともいえない
■	2	そうは思わない
■	1	全くそうは思わない
-	-	該当なし
-	-	無回答/不明

<質問別回答内訳と得点>

- ・グラフ内数字は回答数（3%未満は非表示）
- ・科目得点アミガケは科目得点 ≤ 3.5

■問6（技術・方法の習得）の全科目得点分布と当科目の位置（赤色部分）



科目コード	科目名	教員名	コメント（1000文字以内）
2B0080	身体運動実技	白井美穂	貴重な意見をありがとうございました。腰痛やまき肩の改善やリラックス、リフレッシュできた、学生の声を聞きながら進めてくれるところが良かったなど、嬉しい感想をありがとうございました。今後の改善として、家でもヨガを行いたいのので、ビデオ公開をしてほしいという要望があり、こちらは、グレクサでオンデマンドで配信期間を長く設定できるように対応したいと思います。また、ヨガマットの収納場所については、他の授業との関係上、少し移動距離が長くなってしまいますが、今後の課題として、検討課題として行きます。
2F0022	英語RW I	遠藤花子	アンケート用紙の中で該当しない項目があり、申し訳ございませんでした。今後みなさんに満足頂ける授業を目指したいと思います。
2F0051	英語 L S	Edwards Wurzinger, Adriana Edith	I truly appreciate the feedback and will continue making the necessary adjustments to make these lectures a more focused and productive learning experience for all. I believe I need to provide more support to lower level students, so I will definitely work on that aspect.
2F0052	英語 L S	Broekema, David	First, I would like to thank my students for their hard work in the spring semester of 2022, their dedication and enthusiasm made it a joy to work with them. I am thrilled that, according to the results of the student survey, my students were happy with my performance as their teacher. I am very much looking forward to teaching a new group of Japanese Red Cross nursing students in the spring of 2023. Since students were very satisfied with my instruction in 2022 I will not be making any radical changes to my approach in 2023: I will continue to center the instruction around midterm and final group presentations as goal assessments, focussing on active learning (through pair and group work) in each classroom meeting, while using the same textbook and homework assessments to supplement our in-class activities. However, I will be adding new methods to help the students stay engaged with the material in 2023: I have discovered new ways of integrating smart phone practice into conversation, reading and writing activities that I will implement from 2023, and I have been experimenting with new methods for alternating pair and group team members so that all students have an equal opportunity to participate as well as increased opportunities to work with a wider range of partners thus improving the sense of classroom community. I thank the staff and faculty for their support in 2022 and for the opportunity to continue working with these excellent students.
2F0053	英語 L S	Edwards Wurzinger, Adriana Edith	I truly appreciate the feedback and will continue making the necessary adjustments to make these lectures a more focused and productive learning experience for all. I believe I need to provide more support to lower level students, so I will definitely work on that aspect.
2F0054	英語 L S	Broekema, David	First, I would like to thank my students for their hard work in the spring semester of 2022, their dedication and enthusiasm made it a joy to work with them. I am thrilled that, according to the results of the student survey, my students were happy with my performance as their teacher. I am very much looking forward to teaching a new group of Japanese Red Cross nursing students in the spring of 2023. Since students were very satisfied with my instruction in 2022 I will not be making any radical changes to my approach in 2023: I will continue to center the instruction around midterm and final group presentations as goal assessments, focussing on active learning (through pair and group work) in each classroom meeting, while using the same textbook and homework assessments to supplement our in-class activities. However, I will be adding new methods to help the students stay engaged with the material in 2023: I have discovered new ways of integrating smart phone practice into conversation, reading and writing activities that I will implement from 2023, and I have been experimenting with new methods for alternating pair and group team members so that all students have an equal opportunity to participate as well as increased opportunities to work with a wider range of partners thus improving the sense of classroom community. I thank the staff and faculty for their support in 2022 and for the opportunity to continue working with these excellent students.
2F0060	英語文献を読む	遠藤花子	アンケート用紙の中で該当しない項目があり、申し訳ございませんでした。授業のやり方を工夫しながら、今後もみなさんに満足頂ける授業を目指したいと思います。

2F0070	中国語Ⅰ	王 牧	<p>集計結果につきまして、担当教員よりコメントを述べたいと思います。今年はじめで「中国語Ⅰ」の授業をご担当させて頂き、語学の授業としては大変多い1クラス70名という履修者数ではありましたが、皆様のご協力と熱心な取り組みに心より感謝申し上げます。今回のアンケートは64名の方（91.4%）が回答されております。結果は15項目中11項目が全学平均を下回るという情けない評価となり、本当に申し訳ございませんでした。それに対して深く反省したいと思います。以下、頂きました回答とコメントに対して、反省点や改善点を述べたいと思います。前任者（神谷先生）の授業方針に従い、医療従事者になった際、知っておいて頂きたい中国語・中国文化を紹介しつつ、「他者」への関心を深めてもらえるよう授業を運営いたしました。今回のアンケートには、「技術の説明と実施する実技の組み合わせは適切だった」「演習を通して、より興味を持ち、深く学びたいと感ずることができた」「実践的なレベルで技術及び方法を学ぶことができた」という授業の根幹に関わる部分の得点が悪かったという問題が最も強く反映されています。特に、受講して「深く学びたいと感ずることができた」と思えなかった2名、それについて「どちらともいえない」と思った6名の方も出てしまったことは大変不本意であり、謝りたいと思います。今後授業の魅力を高める工夫を講じて、そのような学生が出ないよう改善いたします。また、「この授業で良いと思った点」として、「中国語を少し理解できる、話せるようになって良かった」というコメントを書き寄せていますが、「単語が多く説明が速くて理解が大変だ」というご意見もありました。春学期の履修者数が比較的多かったので、学生ひとりひとりの練習時間が足りなくて、それは理解度が下がってしまった原因のひとつでもありと考えております。学期中「アンケート」調査などを駆使しながら、授業の内容や進み方などにつきまして、調整していましたが、全員とうまく意思疎通ができていなかったということで、今後は学生ひとりひとりのご意見がきちんと届くよう伺い方を工夫したいと思います。さらに、「私は事前学習をして演習に臨んだ」「私は授業後に演習内容を復習した」という2項目の得点も比較的悪かった。今学期の授業形態は「すべて対面授業」でありましたが、きちんと授業内容が伝わるよう毎回授業の前にオンライン教材を作ってGlexaにアップしていましたが、それは学生の予習・復習にどれぐらい役立つのかに関して見直して調整などをしたいと思います。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。</p>
2F0090	韓国語Ⅰ	高昌弘	<p>【授業で良いと思った点】・話が面白く楽しく学べた。・授業本当に楽しかったです。・韓国語に興味があったので単語や発音など色々学ぶことができてよかったです。 【授業で改善した方が良くと思う点】なし （高）：皆さんが楽しく韓国語を学習することができ、少しハングルが読めるようになったようで非常に嬉しいです。教え甲斐があります。語学の勉強って教科書以外でも学べる材料がたくさんあります。教科書だと教えるために作られた物なので自然ではない内容や表現が使われることもあるのですが、映画やドラマを見ることで生の韓国語が聴ける、なかなか教科書では学べない表現を身に付けることができるのでK-POPや韓国ドラマなど、皆さんの好きな韓国語の材料を見つけ、もっと韓国語の勉強を楽しんでください。</p>
2J0010	看護技術論Ⅰ（援助的 人間関係）	松本佳子	<p>授業に関して、コメントをよせていただきまして、ありがとうございます。いただいたコメントに基づきまして、来年度からの授業運営に反映させていきたいと思っております。具体的には以下のことに配慮したいと考えます。グループワークについては、「自分について知るとても良い機会になった」といったコメントを複数いただいた一方で、「何故グループワークをするのか、今後にどう生かしていけるのかももう少し具体的に説明してほしい」というご意見もありました。来年度からの授業では、グループワークを通して学んでほしいこと（学生同士・学生と教員が知り合い、人間関係を学ぶ場であること）について、より皆さんに伝わるような配慮をしながら授業をすすめていきたいと思っております。また、教員によってグループワーク演習にバラつきがあったのではないかとこの声を複数いただきました。提出物等のアナウンスの統一を図るといった基本的なことを共有することはもちろん、改めて、皆さん方の学びが深まることを第一に、教員間で連携をとりながら進めていきたいと思っております。来年度も引き続き、学生の皆さんの学習環境を作ることを念頭におきつつ、興味関心がさらに深まるような教材や授業内容、授業の進め方について検討していきたいと考えております。このたびは、率直なご意見をありがとうございました。</p>

2J0030	看護技術論Ⅱ（フィジカルアセスメント②）	中村滋子	貴重なご意見をありがとうございます。デモンストレーションから演習等流れがわかりやすかったとご意見をいただきました。これからもわかりやすい授業展開を工夫していきます。一方で、アセスメントの時間がもっと欲しい、演習の時間がもっと欲しい内容のものがあるなど、時間配分についてのご意見を受け、今後、全体のスケジュール調整をしていきたいと思っています。
2J0040	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術①）	殿城友紀	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後も、分かりやすいデモンストレーション、質問しやすい教員配置と雰囲気大切に演習を展開していきたいと思っています。デモンストレーションを見ながら書くことが難しいとのこと意見、見逃した場面にも振り返り中にも書けるようにします。時間配分に留意し演習時間が長くとれるよう工夫を重ねていきます。持ち物などは1週間前には連絡するようにします。
2J0060	看護技術論Ⅲ（基礎看護技術③）	殿城友紀	授業改善アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後も、分かりやすいデモンストレーション、質問しやすい教員配置と雰囲気大切に演習を展開していきたいと思っています。時間配分に留意し演習時間が長くとれるよう工夫を重ねていきます。自主練について、実習室が空いている時はいつでも可能ですのでご活用ください。
2M0040	健康レベル別看護学演習Ⅰ（急性期・慢性期）	仁昌寺貴子	授業改善アンケートへのご協力、ありがとうございました。全体として高い評価をいただき、担当教員一同、嬉しく思います。演習の時間配分の項目で、得点がやや低めでしたので、今後はゆとりのある時間配分で実施できるように努めたいと思います。一方で、演習を通して、より興味をもち、深く学びたいと感じることができた項目では、得点が高かったことから、皆さんがこの演習に関心をもって取り組み、複合的で応用的な看護技術の習得を実感できたのではないかと推察し嬉しく思います。消毒液についてコメントがありました。ゆとりをもって使用できるよう準備していきたいと思っています。
2M0050	健康レベル別看護学演習Ⅱ	喜多 里己	アンケートへのご回答ありがとうございます。・実習に向けた準備につながったなどのご意見をいただき、ありがとうございます。・改善点については、事前学修課題の量、演習の時間配分、記録用紙（手書き部分）、演習グループ分けの方法についてご提案をいただきました。学修課題の出し方や量、時間配分は、ポイントを絞る等工夫し、改善をしていきます。・演習を男女別グループにしてほしいとのこと意見がありました。臨床では性別を問わずに担当します。男女混合であることでどのような配慮が必要かを考える機会にしたいと思っています。・実習を終えた後、演習で役立ったこと、あったら良かったと思うことなどありましたら、ぜひ、声をかけてください。よりよい演習を目指して工夫していきます。
2N0040	発達看護学Ⅰ②	喜多 里己	アンケートへのご回答ありがとうございます。・TBLについて発達①①に引き続き、熱心に取り組んでくださいました。頭に知識が入りやすい、母性が苦手だったけど楽しかった、などの感想がありとても嬉しかったです。・講義の説明について早口すぎて理解が追いつかなかったというご意見がありました。説明のスピードに留意していきます。・事例学修ノート・看護過程については、取り組み方をもっと早く教えてほしかった、TBLと同じグループが良かった、人数がばらばらだった、などご意見をいただきました。一つの学年からは、2年次後期から事例の進め方を説明し、取り組みを始めることといたしました。
2N0060	発達看護学Ⅱ（子どもと家族の看護②）	楠田 智子	授業改善アンケートに回答くださりありがとうございました。概ね良い評価をいただき嬉しく思います。また、皆さんが主体的に本科目の学修を進めておられたことが伝わりました。みなさんからの意見に、看護過程の演習（GW）の時間が短い、事前に例などを使って必要な視点を説明してほしかったとありました。看護過程は基礎・成人で学んだものを基本に、小児の特徴を踏まえた視点が必要になりますので、分かりやすい説明の工夫やGWの時間配分について検討していきたいと思っています。また、事後学修の課題の出し方についても、復習に役立った、目的が分からないなどの意見をいただきました。事後学修を行うことが皆さんの学修の積み重ねとなるよう、明確な課題を提示するなど工夫していきたいと思っています。
2N0080	発達看護学Ⅲ（老年期の看護②）	住谷ゆかり	授業に関するご意見をありがとうございました。アンケートの結果より、皆さんが講義やグループワークに意欲的に取り組みながら、老年期の看護について学びを深められたことがわかり安心しております。事例検討の方法などに関する率直なご意見もいただき、次年度の授業内容・方法、演習科目との連動などの検討に活かしていきたいと思っています。授業を通しての気づきや学びを、今後の実習につなげていってください。

2O0020	精神保健看護学Ⅱ（技法）	松本佳子	<p>授業に関して、多くのコメントをよせていただきまして、ありがとうございます。いただいたコメントに基づきまして、来年度からの授業運営に反映させていきたいと思っております。具体的には以下のことに配慮したいと考えます。授業資料につきまして、もう少し分かりやすいと良いなと思うというコメントがありました。来年度からの授業では、授業資料の作成に、より配慮しながら授業をすすめていきたいと思っております。映画鑑賞やDVD視聴、ロールプレイとディスカッション、当事者からの体験の授業、訪問看護師の授業、教員の寸劇に関しましては、興味関心が深まるというご意見を多数いただきました。引き続き、効果的な教材使用やゲストを交えての授業等に関して、検討を重ね、継続していきたいと考えます。今後も、学びやすい学習環境を作ることを念頭におきつつ、学生の皆さんの興味関心がさらに深まるような授業内容を構成していきたいと考えております。このたびは、率直なご意見をありがとうございました。</p>
2S0010	研究方法論Ⅰ	吉野 純	<p>アンケートへの回答ありがとうございました。多くのご意見をいただきましたが、まとめると以下の3点でした。・授業の進め方、課題内容について、もっと早く具体的に提示してほしい。・指導内容が教員により異なるので、統一してほしい。・レポート提出期限が定期試験の直前になっていて負担が大きい。授業内容の組み方や指導のばらつきについては混乱をきたしていたようです。実習が控えているため、タイトな時間割にならざるを得ないことを考慮し、授業内容により時期を再編成し、早期に課題に取り組みるように計画したいと思います。教員による指導の違いについては、細かな部分でルールの共有が徹底されていない点がありましたが、解消するように教員間で連絡を密に取っながら進めていきました。一見違うことを言っているようでも意図するところは同じということもありますので、その点を理解してもらえるように教員は十分な説明を行い、また学生からも意見・指摘してもらえるとより相互の理解が深まると思います。研究はディスカッションにより思考が深まっていきますので、大いに教員を活用してください。</p>